第65回 国民体育大会

ゆめ半島 千葉国体 2010

バドミントン競技会プログラム



（日体協マーク）

期日 平成22年10月1日（金）～4日（月）

会場 野田市関宿総合公園体育館・野田市総合公園体育館

主催 （財）日本体育協会・文部科学省・千葉県・（財）日本バドミントン協会・野田市

国民体育大会マーク

昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第２回大会から使用されることになった。30度右傾斜の赤色の火炎の直径10分の１幅の紺青色の円帯で囲んである。

総合開会式・閉会式会場



総合開会式会場　千葉マリンスタジアム



総合閉会式会場　千葉県総合スポーツセンター

愛　称

四方を海と川に囲まれた水と緑の豊な千葉県。未来へ向かって「ゆめ半島千葉」から夢と感動をあなたに。620万県民の笑顔で、全ての人が主役となる舞台を演出します。

ゆめ半島
千葉国体

スローガン

今 房総の風となり この一瞬に輝きを

今、房総のさわやかな風に吹かれながら。一人ひとりがその夢を実現するために。この輝いた瞬間を刻みつけよう。

マスコットキャラクター

千葉県に住む不思議ないきもの。
好奇心旺盛で、いろいろなことに挑戦するのが大好き。
未知のものに立ち向かうときほど勇気と情熱がわき、からだが赤く輝く。
食いしん坊でいたずら好きな面も。



横から見た姿が千葉県の形をしています。

チーバくん

イメージソング

CARNAVAL　～ すべての戦う人たちへ ～
DREAMS　COME　TRUE
作詩　吉田美和　作曲・編曲　中村正人

千葉県ゆかりのアーティスト中村正人さんがメンバーであるDREAMS　COME　TRUE（ドリームズ　カム　トゥルー）が両大会のために制作してくれました。踊りだしたくなるようなアップテンポの曲です。
「CARNAVAL」とはスペイン語でカーニバルを意味してします。中村さんは、「２０１０年の両大会をまるでカーニバルに参加するかのように楽しんでほしい！という思いをこめて制作しました」というメッセージを寄せてくれています。

目　　次

あいさつ	第６５回国民体育大会会長　財団法人 日本体育協会会長	森　　喜朗	1
あいさつ	文部科学大臣	川端　達夫	2
あいさつ	財団法人 日本バドミントン協会会長	綿貫　民輔	3
歓迎のことば	ゆめ半島千葉国体実行委員会会長　千葉県知事	森田　健作	4
歓迎のことば	ゆめ半島千葉国体野田市実行委員会会長　野田市長	根本　　崇	5
歓迎のことば	千葉県バドミントン協会会長	田中　康二	6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程 ・・・・・ 7
国民体育大会会長トロフィー授与規程 ・・・・・ 8
大会役員 ・・・・・ 9
競技会役員 ・・・・・ 13
競技役員 ・・・・・ 15
競技補助員 ・・・・・ 18
実施本部員 ・・・・・ 19
競技会補助員・・・・・・ 21
式典補助員、協力団体・協力者 ・・・・・ 22
総　則 ・・・・・ 23
第６５回国民体育大会バドミントン競技実施要項・・・・・ 36
表彰式次第 ・・・・・ 39
表彰式選手団入退場行進図 ・・・・・ 40
競技日程 ・・・・・ 41
タイムテーブル ・・・・・ 42
成年男子組合せ表 ・・・・・ 43
少年女子組合せ表 ・・・・・ 44
成年女子・少年男子組合せ表 ・・・・・ 45
バドミントンを楽しく見るために ・・・・・ 46
都道府県別参加人員一覧表 ・・・・・ 48
都道府県別出場監督・選手一覧表 ・・・・・ 49
競技成績決定方法 ・・・・・ 63
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表 ・・・・・ 64
過去の成績一覧表 ・・・・・ 65
競技記録 ・・・・・ 86
競技会場・練習会場等案内図 ・・・・・ 87
競技会場周辺配置図 ・・・・・ 88
競技会場配置図 ・・・・・ 90
練習会場の使用について ・・・・・ 94
練習会場使用日程表 ・・・・・ 97
第１～第５練習会場概要図・配置図 ・・・・・ 98
競技上の注意 ・・・・・ 105
審判上の注意 ・・・・・ 107
昼食弁当斡旋のご案内 ・・・・・ 109
医療救護のご案内 ・・・・・ 110
輸送のご案内 ・・・・・ 111
競技会関係電話番号一覧表 ・・・・・ 112
(財)日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧 114
会場地マップ ・・・・・ 115

あ　い　さ　つ



第65回国民体育大会大会会長
財団法人日本体育協会
会　長　　森　　喜朗

九十九里浜をはじめとする優美な景観や、麻の栽培に由来する「総（ふさ）の国」の古称が示すとおり、温暖な気候が自然の恵みを豊かに育むここ千葉県において、天皇陛下・皇后陛下のご臨席を仰ぎ、第65回国民体育大会が盛大に開催されますことは誠に喜ばしい限りであります。

現在、スポーツは世代や国境を越えて大きな広がりを見せているとともに、私たちが豊かに生きていくための不可欠な文化として生活の中に深く根差したものとなっております。

スポーツを通して広く国民に夢と希望を与え、明るく豊かな国づくりを目指してスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として充実、発展を遂げてまいりました。

日本体育協会では、さらなるスポーツの普及・発展の一助となるよう、国民体育大会をより時代に即した魅力ある大会とするための取り組みに鋭意まい進しているところです。

このような中、「ゆめ半島千葉国体」のテーマのもとに開催される本大会は、昭和48年に開催された第28回大会以来、37年ぶりの千葉県での開催であり、620万県民の皆さんが「今　房総の風となり　この一瞬に輝きを」のスローガンのもと、心のこもった千葉ならではの国体を体現するため、その準備に万全を尽くされた大会であります。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さんは、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し悔いのない競技をされるとともに、人情味あふれる千葉県の皆さんと心温かな交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

終わりに、「ゆめ半島千葉国体」の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただきました地元千葉県をはじめ、ご関係の皆様方のご支援、ご協力に対し、心から感謝の意を表し、併せて大会の成功をお祈り申し上げます。

あ　い　さ　つ



文部科学大臣　**川　端　達　夫**

首都圏にありながら、広大な九十九里浜など三方を海に囲まれ、豊かな自然の中で四季折々の色彩豊かな花、新鮮で豊富な海の幸・山の幸などたくさんの魅力溢れるここ千葉県において、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

スポーツは、人格の形成、体力の向上、健康長寿の礎であるとともに、地域の活性化や、スポーツ産業の広がりによる経済的効果など、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできないものであります。

そうした中、65回の歴史を数える国民体育大会は、我が国のスポーツ振興に寄与するだけでなく、開催を通じて地域の連帯感や、社会関係資本の形成にも大きく貢献して参りました。

国民体育大会については、今後もジュニア期からトップアスリートまで、国際レベルを目指すアスリートが競う国内トップレベルの競技大会として、一層の充実・発展を目指すところであります。

「今　房総の風となり　この一瞬に輝きを」のスローガンの下、昭和48年に開催された第28回大会以来、37年ぶりに千葉県で開催される「ゆめ半島千葉国体」は、620万県民が一つになり、時代にあった新しい国民体育大会の実現を目指して、簡素な中にも心のこもった、千葉県の多様な魅力を集結した「夢と感動」に溢れる大会となるよう鋭意努力されたと伺っています。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、この機会に全国の仲間や千葉県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となるよう期待しております。

結びに、「ゆめ半島千葉国体」の開催に当たり、県民総参加で諸準備に当たられた地元千葉県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、ごあいさつといたします。

（平成22年7月12日）

あ　い　さ　つ



財団法人 日本バドミントン協会
会　長　　**綿 貫 民 輔**

「今　房総の風となり　この一瞬に輝きを」のスローガンのもと、千葉県野田市において「ゆめ半島千葉国体」バドミントン競技が開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであり、心よりお祝い申し上げます。

今年３月に行われた全英オープン選手権大会男子シングルスにおいて田児賢一選手が準優勝の栄誉に輝いたことや、５月にマレーシアで行われた世界選手権大会・男女国別対抗戦でのトマス杯３位・ユーバー杯３位の好成績など日本選手が世界で活躍する姿が見られ、国民の皆様からのバドミントンへの注目度も益々高まっていることは大変喜ばしい限りであります。

過去多くのオリンピック選手がこの国民体育大会をステップとして世界へ挑戦し大きく羽ばたいていきました。本会においても「国民体育大会は、国内最大のスポーツの祭典」として最も重要な大会の一つと位置付け、ロンドンオリンピックで活躍できる選手の育成への足がかりとなるよう取り組んでおります。

全国各都道府県の代表として参加される選手の皆様には、日頃鍛えられた技量を存分に発揮され、郷土の栄誉と栄光を目指して全力で戦っていただき、観戦された皆様に思い出として残るプレーを見せていただけることを期待しているとともに、この千葉の地において友情・交流の輪を広げていただくよう願っております。

終わりになりましたが、「第65回国民体育大会」開催にあたり、誠心誠意ご尽力を賜りました千葉県並びに野田市の関係者、地元協会の各位に対し心より感謝を申し上げ、開催にあたってのご挨拶といたします。

歓迎のことば



ゆめ半島千葉国体実行委員会会長
千葉県知事　森田健作

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から多くの選手及び役員の皆様をお迎えして、第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」を盛大に開催できます喜びを620万千葉県民と分かち合うとともに、県民を代表して皆様方を心から歓迎申し上げます。

「ゆめ半島千葉国体」は、全国から訪れる方々を、県民一人ひとりが“最高の笑顔”と“心のこもったおもてなし”でお迎えし、これまでの開催地に負けないような夢と感動にあふれる素晴らしい大会を目指して、県民総参加で準備を進めてまいりました。

特に、総合開会式においては、国体の歴史上、実質的に初めての開催となる野球場という特性を活かし、「千葉ならでは」の見応えのある式典を御覧いただきます。

郷土の代表として参加いただく選手の皆様には、「今　房総の風となり　この一瞬に輝きを」のスローガンのもと、ここ千葉の地で思いっきり青春の汗を流していただき、日ごろ鍛えた力と技を存分に発揮されるよう期待いたします。

また、大会運営に携わる役員及びボランティアの皆様、来場される皆様お一人おひとりにおかれましても、いつまでも皆様の思い出に残る素晴らしい大会になることを心から願っております。

そして、御来県の皆様には、この機会に、本県の観光地、特産物、歴史･文化、産業などの多様な魅力に接していただくとともに、県民とのふれあいを通して、「千葉に来て良かった」「また千葉に行ってみたい」と感じていただければ幸いでございます。

終わりに、本大会の開催に当たり、多くの御支援と御協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



ゆめ半島千葉国体 野田市実行委員会会長
野田市長　　根本　崇

全国各地から大勢の選手・監督並びに大会関係者の皆様をお迎えし、第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」バドミントン競技会が、ここ野田市で開催できますことは誠に光栄であり、市民とともに心から歓迎申し上げます。

本市は、昭和25年に県内８番目の市として誕生し、平成15年６月に関宿町との合併を経て、今年の５月３日で60年になりました。

当地域は、千葉県の北西部、関東平野のほぼ中央に位置し、利根川・江戸川・利根運河と周囲を河川に囲まれた、水と緑に恵まれた地域で、北部は江戸への関所が設けられた関宿藩の城下として、南部は醤油醸造の地として、歴史豊かな地として発展してきました。

現在は、将来都市像である「市民が創るふれあいのまち野田―活力とみどり豊かな文化福祉都市」の実現を目指して、市民が自ら、人、心、文化、環境、未来との様々なふれあいの中で喜びを創りだすまちづくりを進めています。

このような本市において、全国各地から選りすぐられた多くの精鋭の皆様をお迎えし、トップレベルの熱戦を実際に観覧できることは、市民に大きな感動を与えるものと確信しております。

栄えある郷土の代表として出場する選手の皆様には、日ごろ鍛えた力と技を十分に発揮され、すばらしい活躍が展開されることをご期待いたします。

また、大会期間中、本市の緑豊かな自然に触れるとともに、市民との交流を深めていただき、思い出深い大会となりますよう願っております。

終わりに、本大会の開催にご尽力を賜りました日本バドミントン協会をはじめ、大会関係者の皆様に深く感謝の意を表しますとともに、本大会の成功とバドミントン競技のますますの発展を祈念申し上げまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



千葉県バドミントン協会
会　長　　田中康二

第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」バドミントン競技が全国からの精鋭を迎え、ここ千葉県野田市で盛大に開催されますことは誠に喜びに堪えないところであります。千葉県バドミントン協会を代表して心から歓迎申し上げます。

振り返るに、若潮国体バドミントン競技が茂原市で開催されましたのは昭和48年10月でした。あれから37年、本県で再び熱戦が繰り広げられるかと思いますと感慨無量であります。野田市は醤油生産で名高いだけでなく、平成17年全国高等学校総合体育大会においてバドミントン競技を開催し、以後、バドミントンの盛んな地として有力選手を全国の実業団や社会人へと輩出しております。その野田市で今回国民体育大会が行われますことは私にとっても喜ばしい限りであります。

選手の皆様におかれましては、日ごろの厳しい練習で培われた高い技術力と精神力を存分に発揮し、各地区の代表として熱戦を繰り広げられることを期待しております。

終わりに、本大会の開催にあたりまして千葉県ならびに野田市、さらに全国からご支援とご協力を賜りました役員、関係各位に深く感謝申し上げるとともに、選手、監督の皆様のご活躍、ならびに本大会を機にバドミントン競技がますますの発展を遂げることができますよう心より祈念いたします。



天皇杯　　皇后杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

（１）信託会社又は確実な金庫に保管する。

（２）破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

（３）財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　本規程は昭和41年４月１日制定

昭和45年１月22日一部改訂

昭和48年７月10日一部改訂

昭和54年５月９日一部改訂

平成17年６月16日一部改訂

平成22年３月17日一部改訂



大会会長トロフィー

国民体育大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

（１）責任をもって保管する。

（２）破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

（３）優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

（４）財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　本規程は昭和41年４月１日制定

昭和45年１月22日一部改訂

昭和48年７月10日一部改訂

昭和54年５月９日一部改訂

平成17年６月16日一部改訂

大会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長　川端達夫

会長　森喜朗

副会長　佐治信忠　布村幸彦　安西孝之　尾崎宏　神尾芳昭　相良哲朗　竹田恆和　不老浩二　片岡康子　田嶋幸三　永井東一　木内貴史　岡本実　前原正浩　山本秀雄　吉本清信　真下昇　栗原茂夫　小澤多喜子　東敏昭　竹田恆正　永田敏雄　蝦名武　佐藤通隆　野田伸　望月三千雄　柱山嗣廣　田中敏夫　岩崎清彦　田渕康允　佐竹博　刈谷好孝　城長眞治　富田弘　高橋眞琴　下重暁子　中川正春　清水潔　田嶋要　村越祐民　奥野総一郎　若井康彦　石田三示　富田茂之

顧問　森正博　森田健作　猪谷千春　板屋越麟一　小林隆　篠宮稔　田中道博　山本巖　中村正彦　林辰男　寺崎誠　堀内光一郎　市原則之　渡邉起祐　小野沢弘史　來栖行正　田中文男　君塚晋　相澤隆也　萩原俊次　佐藤厚　片桐勝一　佐々木正春　国井裕一　三戸一嘉　棚橋進　丹羽治夫　石榑詔之　吉井和明　安井守　五ノ坪和彦　松永和生　渚洋行　吉田秀博　三田清一　日枝久　鈴木寛　金森越哉　黒田雄　生方幸夫　谷田川元　金子健一　林幹雄　長浜博行

監物永三　帖佐寛章　岩名秀樹　斉藤斗志二　霜鰐寛　樋口久子　米倉弘昌　山本征悦　飯田藍　萩原秀雄　大島大和　鈴木孝幸　田中英壽　宇津木妙子　福本修二　藤田二郎　川井武彦　高波謙二　遠藤容弘　村越真　衣笠剛　佐藤博俊　柳田昌秀　中野英則　島田徳一　山梨幹郎　橋本俊和　柴田秀治　松井守　中山昌作　杉町誠二郎　坂口和隆　塩田壽久夫　小野清子　福山信義　後藤斎　森口泰孝　岡島一正　内山晃　森英介　中後淳　齋藤健　石井準一

岡崎助一　日比野弘　上田清司　坂本祐之輔　竹下隆信　福島修　渡邊康二　青木剛　浅見榮一　二木英徳　前田彰一　笠井達夫　山内英樹　関根義雄　木本由孝　島田晴男　渡辺幹也　後勝　村岡久平　園山和夫　島貫啓　鈴木洋一　安納守一　石原春男　横嶋信生　臼井秀明　橋詰澄雄　日比野幹生　久保田文也　大亀孝裕　高谷信　末永皓久　黒川光隆　梅村清弘　松本好雄　高井美穂　土屋定之　野田佳彦　松崎公昭　浜田靖一　水野智彦　松野博一　加賀谷健

参与

一七平明夫光樹室二尭平博正弘一一仁明伸成幸貞
賢孝洋正正達俊玄剛　恭俊尚義英隆　義吉関憲勝　譲　次丈登操紀衛つ正子喜司人孝昭祐俊覚夫子明隆男彦美渡
野代野田木崎部　本川木階谷森田井井岡坂井田瀬　元藤倉中野木江野浅藤瀬　俊　は光和英捷幹清俊万昌　郁宏泰宗和哲明
水藤河盛立山海千坂笹赤二釣金横石村桝仁二上広　坂伊宍山河鈴堀矢湯遠木林石阿斉鈴岩亀石井岡伊石鈴高
子勇美郎郎昭一吾輔三子弘英浩一郎明次吾郎哉多敏也夫雄立明一浩史和美五郎積衛則毅章郎幸登豊郎
邦蠹秀義五富昭新民晋祥庸光嘉富潤正善正義桂光弘　伸秀行幸正信尚　貴裕政三健穂　友広寛堅敏　大
口藤村伊川福岩松綿安宮新岩村福馬横國荒加中永仲山阿吉天川赤石田高秋磯成西布浜高服花川矢瀧宇山白小
猪安中伊川福岩松綿安宮新岩村福馬横國荒加中永仲山阿吉天川赤石田高秋磯成西布浜高服花川矢瀧宇山白小
夫紀雄夫武郎一樹光一生郎也平郎慎憲壽彦衛門夫誠眞夫実行行子一章美茂郎美和洋治子譲範充克勲男宏
和良利和尚太秀剛春義研紀哲達雄太郎正嘉兵　勇　澄　信之幸慎光由　喜一博重　良清　史　吉　勝森芳
位木田野保生田林村安塚野西　藤原本口田口泉本藤勇　藤原野藤松中毛田山山輪上堀野松川定宮田崎本澤藤部本口
志鈴岩佐大麻飛大上武遅市山堀佐石谷田町溝飯井佐
笠谷飼田本邊部崎田原山山下田戸井多田野子藤松井野部内田島中辺井清岡藤松田田井川田本下下田澤
西天池ヶ犬吉橋渡岡山福藤秋杉達角山吉神井石二一育茂　紘圭光武　芳弘秀宏昌正健守　輝悦義敬浩純佳
小富士基大聖佳英男拓夫將肇利也夫裕也秋三弘榮郎郎子祐子　之雄祥弘己郎康光勝夫嗣一二明子弘
博之茂夫昭士子英男拓夫將肇利也夫裕也秋三弘榮郎郎子祐子　之雄祥弘己郎康光勝夫嗣一二明子弘

戸谷久子　森満　長妻能成　重田雅行
橋場克司　黒澤道秀　本橋誠　黒岩博明
平井正久　松本秀夫　荒井克政　淺岡隆
名輪淑行　高梨国雄　小田清一　五十嵐邦雄
熊谷俊人　早川恒雄　菊地通雅　今井幸雄
鈴木智　小宮英雄　野平匡邦　大久保博
金丸謙一　水越勇雄　本郷谷健次　根本崇
田中豊彦　小泉一成　蕨和雄　志賀直温
明智忠直　荒木勇　秋山浩保　藤平輝夫
佐久間隆義　豊田俊郎　星野順一郎　片桐有而
鈴木洋邦　佐久間清治　松崎秀樹　佐渡斉
出口清　山崎山洋　石井裕　太田安規
宇井成一　太田洋　堀内慶三　林和雄
篠田哲彦　青柳正吾　萩原出　千葉滋胤
末吉一夫　藤森宗徳　安田敬一　平野勝之
小田征一　椿浩　廣橋義敬　安藤勇
明石要一　花崎幸一　大木康司　青木克己
藤森寿男　柏崎旭　三枝清一　関本克己
佐野暢俊　菅野捷壽　風間勝也　上野正裕
中村三男　伊井正美　磯村豊司　霜禮次郎
歌川敏二　須藤武　山口宏　吉田巌
伊藤包　川名義夫　新堀道夫　畑山明
臼井一世　小澤健二　櫻井盛正　尾上吉之
本城一隆　織田毅　石毛英一　川上賢爾
朝比奈正行　伊集院光慶　八木正弘　臼井日出男
橋本甲四郎　佐川幸男　石川八十吉　篠宮ヨシエ
青木寛　野村和　亀田隆明　中谷勝
重村旦　楠武徳　大澤光彦　吉成儀
三橋秋義　筒井榮信　高見澤裕吉　江波戸三好
中村克几　梶原義實　石井勝之　細川祐吉
牧勇次郎　谷田川元　西村幸吉　田中康二
倉田寛之　宇野仁章　渡辺忍　山本勝
渡邉義男　千葉春季　関亮　松崎優子
高島健一　伊藤喜之　澤田武男　岡野勝城
中西二二男　若鍋尚志　佐粧良二　黒川浩
大崎保司　土屋善弥　塩田俊一　佐々木勝
藤田明男　岩田利雄　清宮利行　川島伸也
山澤治明　林昭　神子功　市原重光
齊藤太嘉志　花山藤太郎　太田耕正　星野榮
金谷重明　榎本正義　鈴木勇　野崎実
甲斐剛良　御代川泰久　米本利雄　中川政春
清野裕三　臼井正人　金城庸夫

委員長　泉正文

副委員長　岡崎助一　芦立訓　井上卓己　長登健
星正三

総務委員　荒川昇　不老浩二　安部喜方　石榑詔之
市原則之　岡野進　金子正子　木内貴史
菊幸一　小林隆　三戸一嘉　篠宮稔
霜觸寛　菅原哲朗　杉山茂　豊島吉博

	福林 徹	山口 香	ヨーコ ゼッターランド	相原 繁博
	大野 敬三	太田 光宣	竹下 隆信	新井 忠
	近藤 登	川島 雄二	西田 晴之	木原 稔
	佐久間 嘉宏	中野 英則	皆川 重次	飯坂 尚登
	橋本 精二			
委員	森 泰夫	鈴木 浩二	植田 昌利	林 辰夫
	森 清吉	長井 俊蔵	瀧上 正志	荒木 健
	小泉 芳孝	佐久間 裕司	有本 功	山崎 弘雄
	大矢 豊治	昇 隆夫	菊地 俊美	江成 元伸
	岡田 行雄	藤原 伸二	若尾 輝夫	渡邉 起祐
	安井 和男	山内 英樹	末松 英司	二宮 和弘
	豊島 芳紀	今井 茂満	鹿野 茂満	來栖 行正
	長尾 英宏	岡本 武勝	高山 雅夫	山口 徹正
	宮崎 利帳	生沼 剛	谷田 順一	藤田 廣大
	小野 恭子	佐藤 直亮	関根 宏一	関 敏博
	小森 年展	鈴木 貴里代	栗原 洋和	添谷 大輔
	土屋 耕亮	松村 広大	小田 聖子	平山 直子
	森岡 裕策	三上 有丈	久保田 学	森脇 渉
	星 香里	田口 雅紀	瀬倉 信康	佐藤 雄一
	菅原 武芳	清野 千春	高田 彬成	森 文哉
	遠藤 誉之	田中 佑一郎	野津 麻衣	岩波 永
	松浦 孝和	石井 利夫	藤田 隆久	竹下 正男
	大山 治二	岡野 勝城	加藤 俊文	久保 浩二
	小嶋 冨義	斉藤 雅文	佐藤 喜美子	佐藤 玉和
	土屋 善弥	中川 政春	中臺 由紀夫	松井 勝
	三橋 秋義	守屋 秀繁	由利 聡	岡村 眞規子
	増田 あけみ	平藤 淳	山内 憲幸	茂木 秀悦
	齋藤 隆	国井 裕一	根本 聡	橋本 健一
	金子 博	渋澤 重雄	篠 祐次	中川 芳樹
	茂木 暢雄	伊東 与二	向田 和義	北 慶一
	相原 繁博	飛沢 文人	鈴木 賢治	松井 和子
	新井 忠	村木 輝行	西村 利夫	渡邉 孝
	北川 憲一郎	永井 邦治	吉田 晴行	日比野 幹生
	後藤 弥	細田 敬二	長尾 隆史	森嶋 勝也
	塚田 拓司	岡 興司	丸岡 俊司	大川 晃平
	刈谷 好孝	梅田 保人	澤山 忠澄	遠藤 雅己
	城長 眞治	渚 洋行	川崎 重雄	鵜木 親志
	渡嘉敷 道之	白髭 俊穂	武田 哲郎	佐々木 正春
	千葉 伸洋	木村 充	神尾 芳昭	柳田 昌秀
	安納 守一	野田 伸	三戸 一嘉	中野 英則
	石原 春男	棚橋 進	横嶋 信生	柱山 嗣廣
	丹羽 治夫	望月 三千雄	島田 徳一	石榑 詔之
	山梨 幹朗	田中 敏夫	橋本 俊和	大西 孝
	小林 隆	川口 一彦	有澤 寛	松井 守
	久保田 文也	竹下 隆信	五ノ坪 和彦	宇山 孝人
	山本 巌	松永 和生	相良 哲朗	高谷 信
	坂口 和隆	末永 皓久	富田 弘	

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	千葉県野田市長			根本　崇
会長	財団法人日本バドミントン協会会長			綿貫民輔
副会長	財団法人日本バドミントン協会副会長			三宅祐司
	財団法人日本バドミントン協会副会長			籾井勝人
	千葉県バドミントン協会会長			田中康二
	千葉県野田市体育協会会長			黒川　浩
	ゆめ半島千葉国体野田市実行委員会事務局長			石渡　勇
顧問	森喜朗	関谷勝嗣	森田一	林芳正
	市川一朗	加藤三夫	村上忠治	八木橋伸夫
	佐藤保	塩川甫	橋本角市	相場清一
	権田正一	丸山嘉久	植田博宣	原二三雄
	清水規矩雄	平田登志郎	青木昭二	毛利清志
	中島寿禧	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一
	牧野武	村山幸雄	戸田清一	濱中誠
	福岡幸一	伊豆晃	岡本武利	本郷節生
	今北基夫	菊地利明	野村嘉明	日高壯
	渡辺成雄	里見光徳	山根怜	佐藤芳朗
	竹林克彦	油井秀男	木村寛	遠井稔男
	岡村英男	川島一郎	富田善明	板垣隆房
	星野忠男	栗原進	中村弘	菅原周一
	斉藤永吉	金森義弘	吉田邦男	手塚克彦
	日野昇	磯井貞夫	杉田博	保坂和也
	宮川忠和	山田一六	高澤基	中嶋光司
	上野忠	末岡熙章	金森正	神谷哲郎
	澤長壽	田中田鶴子	瀬川鉄也	藤田庸右
	石田真敏	加藤博司	成相安信	岡﨑彬
	深山英樹	松浦稔明	西野昌明	瀧山一甫
	西森潮三	本田正寛	野口良治	里脇清隆
	冨田浩	近藤稔	相澤潔	池田徹
	金城芳雄	堀江繁	秋草直之	関場武
	藤田庸右	小野理	中村利久	高橋保
参与	藤本滋	藤原和文	加藤寛治	原紀征
	鈴木勝之	藤原航	有瀬浩一	米持克彦
	小野田芳美	倉田寛之	小林總介	宮路誠
	戸谷芳雄	鈴木孝則	河野俊紀	茂木七郎治

茂木　佐平治	野口　義雄	遠藤　達也	古橋　敏夫
織田　真理	吉岡　美雪	小室　美枝子	山口　克己
深津　憲一	染谷　信一	平井　正一	岡田　早和子
西村　福也	鶴岡　潔	内田　陽一	竹内　美穂
小倉　良夫	舩橋　繁雄	木村　たか子	植竹　健夫
千久田　祐子	小俣　文宣	石原　義雄	高梨　守
鈴木　有	松本　睦男	野口　義雄	小倉　妙子
長南　博邦	伊藤　稔	山口　仁美	飯田　芳彦
齊藤　隆昌	宮内　好雄	向井　正大	勝田　信行
今村　繁	金子　茂夫	齊藤　清春	斉藤　弘美
勝田　寛行	西山　寿夫	大上　敏夫	柳　保雄
佐藤　裕	佐賀　悦男	所　卓秀	駒崎　文男
青木　茂男	栗原　一郎	山崎　一衛	髙梨兵左衛門
富澤　昇	佐川　幸男	斎藤　吉己	谷澤　義光
國馬　隆史	中村　一治	八木下　徹	平井　忠
松坂　千恵子	中川　哲好	黒川　茂	椎名　啓一
大野　功	岡田　一芳	林　亨二	秋田　茂
小櫃　誠	新　玲子	天野　克美	

競技会委員長　財団法人日本バドミントン協会専務理事　関根　義雄

競技会副委員長　財団法人日本バドミントン協会総務本部　本部長　千葉　健夫

千葉県バドミントン協会理事長　遠藤　隆

千葉県野田市バドミントン協会会長　阿部川　晃一

ゆめ半島千葉国体野田市実行委員会事務局次長　古川　浩

競技会委員

阿部　秀夫	今井　茂満	河崎　正紀	神戸　照
木戸　純一	銭谷　欽治	高橋　英夫	築地　孝彦
中山　紀子	能登　則男	野村　安忠	濵中　勉
真壁　幹雄	三井　裕	山田　順一郎	福田　武
浅岡　武	上原　信彦	大熊　喜章	石橋　康幸
土井　健一郎	山本　清二	中村　新一	平野　安男
渡辺　嘉治	佐倉　和明	市原　康史	吉田　千代子
田辺　隆江	金井　敏男	浜野　一男	中野　富夫
丸山　秀之	本澤　孝博	飯田　武司	寺田　惣一郎
山崎　吉夫	髙瀬　秀雄		

競技役員

競技役員長	濱中　勉			
総務部長	遠藤　隆			
競技審判部長	丸山　秀之			
総合成績計算委員長	今井　茂満			
総合成績計算委員	金井　敏男	土井　健一郎		
総務副部長	千葉　健夫	石橋　康幸	小野　理	中村　新一
総務主任	宮川　明		林　功	
総務委員	戸張　正樹	中田　勲	岩田　勲	遠藤　えり子
	市原　康史	長見　佑子	小山　素子	久留　純子
	山田　喜美子	小番　初枝	片桐　澄江	佐藤　ひろみ
	楠部　美代子	中里　美佐江	岡田　千代子	赤津　祐子
	目黒　ますみ	鈴木　啓子	松本　弘子	小林　美保
	大塚　智枝子	岡野　節江	菅名　恵美子	横井　隆子
	山本　清二	関田　春代	川上　由美子	藤田　操
	野口　加代子	野口　教子	坂田　陽美	栗原　直子
	片桐　幸子	平井　明子	塩澤　真理子	田口　義光
	遠藤　直美	平井　貞男	板垣　竜太	園田　謙二
	片倉　正晴	須賀田たか子	滝本　恵一	工藤　達
	山田　直幸	佐藤　駿介	野澤　孝一	山本　さとみ
	斉藤　渉	山﨑　三成	金山　孝	金山　妙子
	新里　憲市	川鍋　綾子	逆井　靖司	山田　仁
	佐藤　学	竹村　重成	鳥居　由美	辻岡　佳子
	杉﨑　洋子	石井　晶子	山崎　有利枝	中村　小織
競技主任	佐倉　和明		飯田　武司	
競技委員	山方　了平	柏村　高史	石川　友治	積田　享
	戸邉　尚彰	藤野　和則	宮本　英明	岩嶋　司
進行主任	遠山　成一		田辺　隆江	
進行委員	夏目　久仁俊	髙橋　誠一	瀧川　理	中村　奈津子
			竹原　由紀	
記録主任	花房　淳		佐々木　眞人	
記録委員	瀬能　和枝	宇野　典男	串戸　広弥	石川　正英
	只野　英樹	藤野　富美江	渡辺　直美	吉良　孝一
	香取　歩		関　隆允	
シャトル主任	関　弘志		町田　洋	
シャトル委員	原　ノブ子		飯田　かおる	
点示主任	八十島ひとみ		渡辺　信子	
点示委員	城戸　悦子		寺田　敏子	須田　啓子
掲示主任	平戸　順子		福田　恭子	

掲示委員	大石　利子		山田　千英	
報道主任	周東　和之		染谷　百合子	
報道委員	寺西　啓子		海老沼　容子	
放送主任	小野田　芳美		田中　静子	
放送委員	北沢　佳乃子	松木　周子	飯田　美代子	安河内　敏子
招集主任	稲田　聡		宮川　隆司	
招集委員	望月　宏一	伴　克己	渡邊　嘉治	荒岡　正彦
			木ノ下　亮治	
得点表示主任	奈良﨑　敏夫		逆井　健一	
得点表示委員	弓能家　健		川井　益雄	
競技審判副部長	吉田　千代子		平野　安男	
審判主任	中野　富夫		宮原　芳之	
審判員	中川　憲昭	鈴木　満弥	田中　淳一	矢代　譲
	多田　達矢	宮本　眞代	沖　貞雄	沖原　光明
	関　辰夫	高橋　和也	伊藤　寿美子	飯島　春奈
	上假屋　淳一	那須　洋子	草刈　学	鈴木　英昭
	柴田　シズ江	野村　太一	大谷　恵美子	小野　雄一
	芳賀　一真	慶野　誠	大河原　淳一	六本木　歩
	高島　藤子	居城　真裕美	古城　周子	岡本　幸
	重村　泉	堀口　節子	古澤　千世	多田　智美
	古賀　広行	大塚　省一	廣崎　貴雄	百鬼　剛
	鈴木　敏充	本間　明信	本澤　孝博	佐々木　健
	伊能　昌邦	田中　光明	吉川　陽子	井原　清美
	斉藤　裕二	浅原　慎介	井部　健	矢田部　広宣
	北島　正尋	白鳥　卓	後藤　勉	福田　京子
	石井　泰子	山口　聖子	村田　真弓	大竹　真弓
	宇京　由紀子	米沢　千江美	井出　洋子	小林　洋子
線審主任	植竹　純平		田辺　照子	
線審員	岩佐　弘美	長嶋　隆一	後藤　千夏	井上　雅晴
	岡根　康裕	板倉　恵一	長澤　洋一	川島　康行
	本多　和宏	菊地　豊	大河原　徹也	畑中　薫
	最上　大三	島村　勝己	荒武　亜美	飯嶋　弘之
	鈴木　高弘	元野　照吉	土屋　博之	津島　みなと
	津野　早織	佐藤　和美	高柳　弘	関谷　紀子
	松本　直子	宮本　裕子	田中　光枝	齋藤　元亮
	田口　佐知子	野村　純子	岡本　聡司	荒　絵里
	細川　照美	小島　恒世	藤田　景子	赤津　成美
	浦井　玲子	円藤　正子	井戸　弘美	伊藤　まゆみ
	鈴木　和代	奥田　正美	小山　由美子	住谷　晶子
	小松　いずみ	並木　玲子	佐久間　和子	畑川　春枝

高木　さつき　今野　育江　小畑　美枝子　山﨑　節子
久保　知佳子　高橋　加代子　柿本　幸子　市ノ渡日出子
伊藤　晴美　金子　文代　野口　祐輔　二ノ宮　康介
秋谷　華恵　高井田　亘　松田　将斗　梅田　有沙
青木　雅彦　荒川　進　飯高　香菜　栗原　明日香
村瀬　撃　浦井　唯行　坂田　美沙紀　榎田　瞳
山﨑　吉夫　三浦　結樹子　藤野　和樹　飯泉　綾乃
吉田　裕子　中村　紗也佳　得永　悠伎　須山　和俊
大島　唯　柳　麻美　渡部　悠　矢野　翔
福田　光生　植田　隼治　森田　恭平　石原　隼人
手塚　芳人　三上　昌俊　伊藤　遼祐　小池　翔
田中　一平　間宮　亮　高澤　ふみな　三瓶　恵美
木村　岳也　齋藤　亮太　進藤　勇紀　木内　健登
黒田　裕太

競 技 補 助 員

（順不動・敬称略）

西武台千葉高等学校

古橋 俊彦　唐戸嶋 浩一　田那村 正志　現王園 琢磨　大島 彰悟
折原 唯人　上村 聡　佐藤 美咲　柳 郁美　小松 鮎実
岡部 陽

中央学院高等学校

岡田 義雅　田中 竜人　岩佐 誠　市来 偲依奈　北見 瑠衣
市原 知美　村越 左千枝　鈴木 柚花　小林 明音　瀬上 ゆうき
大村 琴音

県立松戸六実高等学校

蝦原 美代乃　高橋 朝香里　阿部 麻由美　紙谷 槙子　渡邉 千佳
政木 怜美　村井 果穂　後藤 絵理　楠田 麻友　前原 千智
井手尾 麻衣　二ノ宮ひとみ　松本 菜美　望月 百香　後給 百華
神門 梢　池田 有莉　天津 春菜

県立東葛飾高等学校

神田 啓太郎　吉浦 叡　森 一幹　笠村 成志　村瀬 拳
高野 渉　鴻野 菜々子　西山 絵美子　水島 藍　木本 祐香
香嶋 郁美　大滝 まなみ　上沖 千佳子　新生 実穂　笹野 友理子
高橋 朝実　高木 玲　金子 真理

県立柏陵高等学校

加来 心聖　萩野谷 祥　湯浅 大輔　吉野 良平　菅 由里子
石井 梨々香　渡邊 優奈　山中 栞　岩崎 杏香　阿保 菜摘
山口 佳織　榎本 優美　石橋 千笑美　米田 日菜子　森田 麻衣子
橋本 実波　生繁 美咲　大島 真梨奈　小沼 桃子　高尾 理沙
吉江 裕美　鈴木 晴干　井戸 綾乃　菊地 梓　服部 瞳

県立柏高等学校

森 友輔　長谷部 佑亮　井手 秀人　丸山 柊平　小山 健太
佐々木 誠　太田 裕紀　藪本 浩太　蘇武 まどか　柏木 あかね
矢作 千夏　川口 彩野　芝田 茜音　川口 美咲　鈴木 彩香
川田 紗奈江　土屋 美紅　砂﨑 有里

県立柏中央高等学校

榎本 隆太郎　大西 広海　境 由希也　原田 和将　萩原 啓太
立原 修祐　鎌田 歩美　小川 恵梨　中川 美乃里　岡野 那津美
梶田 真帆　草壁 美香　中嶋 彩香　川村 彩乃　針生 芙月
横山 遥香　渡部 典子　有路 優紀　宮本 洋子

県立我孫子高等学校

伊藤 論　北沢 尚也　浅野 翔太　畑中 勇人　青木 豪
小林 亮介　白井 貴大　篠原 隆宏　小川 詩織　菅原 麻紀
寺川 沙月　西澤 里穂　野村 樹里　三橋 麻里　吉村 春香
吉本 実沙　小澤 徳見子　川島 夏美　野口 優香　麻生 千紘
山崎 甲奈

実施本部員

（順不同・敬称略）

本部長	齊藤 隆昌			
副本部長	宮内 好雄	所 卓秀	向井 正大	
大会総括部長	勝田 信行			
国体推進班長	石渡 勇			
国体推進係	古川 浩	倉持 浩	伊東 和宏	木村 智幸
	金剛寺 弘之	中村 剛志	宮本 武志	
行幸啓担当	藤井 順一	小川 平	上原 正夫	中澤 茂
	鳩貝 祐二	遠藤 日出文	島村 隆弘	山本 勲
	佐藤 邦夫	矢作 克彦	岡田 明美	高山 真理
大会総務部長	柳保 雄			
式典班長	大石 俊昭			
式典係	矢部 雅彦	岡田 宏之	川﨑 和夫	杉﨑 哲実
	松浦 正典	草刈 俊晴	梅平 真理	村田 弘信
	小川 恵美	縄田 浩子	小沼 綾子	船橋 高志
	中居 章	塩入 千裕	水沢 栄光	田中 裕
	宮澤 一弥	小倉 貞一郎	張替 隆彰	岡本 武士
式典会場係	浅野 幸男	安藤 剛行	福島 慎士	澤田 恵一
	秋山 麻紀	富永 豪	金子 寿一	榎本 由香梨
記録映像班長	北野 浩之			
記録映像係	渡邉 宏治	齋藤 豊	浅野 隆弘	
関宿競技会場部長	今村 繁			
総務班長	遠山 康雄			
総務係	富山 芳則	渡邉 奈穂子	佐藤 嘉洋	倉持 利子
	小沼 京治	佐藤 信江		
会場連絡係	大久保 貞則	花里 圭一郎	宮山 誠	
練習会場係	石原 典男	平野 裕	金子 隆	竹澤 誠
	中條 誠	福井 博康	藤田 和宏	
歓迎案内・装飾・弁当班長	鈴木 孝			
歓迎案内・装飾係	倉持 博俊	西山 一男	小島 修次	千葉 真琴
	小島 晴実	松本 英行	田口 紘美	町田 藤夫
	後藤 和久	小亀 秀則		
弁当係	秋山 敦哉	上原 美由紀	細井 芳美	西村 和芳
	植竹 晃	竹田 敏也	筑井 正	岡安 智彦
消防警備班長	須賀田 静			
消防警備係	森 春行	相澤 敏雄	平尾 章悟	菊地 大輔
	山﨑 治	寺田 貞夫	畑山 次郎	内海 望
	高木 勝	山田 義光	青木 洋	関根 雅一
	藤井 秀樹	小林 穂高	工藤 隆利	中田 祐子
	北島 隆之	竹内 建一	荘司 晃章	戸邉 哲

	飯塚　一雄	赤塚　守	木塚　幸雄	染谷　義明
	濱野　薫	岡田　一裕		
衛生班長	大塚　義明			
医療救護係	渡邉　敏子	荒井　美由紀	小嶋　広美	清水　信輔
環境美化係	松崎　一行	川上　和裕	柿沼　博明	門田　幸
輸送交通班長	木村　安雄			
輸送係	池澤　和也	小林　豊	木村　孝	染谷　英之
	山崎　竜一	山中　巌	茂木　嘉則	杉下　正実
	阿部　貴之	赤津　佑樹	戸塚　進	
駐車場係	増田　和広	荒井　明夫	斉藤　雅彦	福田　真吾
	高橋　康仁	成田　守良	新津　翔	古矢　純一
	松井　秀樹	内山　忠則	髙梨　健	知久　友行
	沖田　真弥	富沢　賢一	伊東　英樹	飯村　孝則
	荒井　哲也	池澤　孝之	石塚　武雄	
野田競技会場部長	勝田　寛行			
総務班長	安部　磯雄			
総務係	小島　信明	佐田　徹	加藤　健一	新井　栄子
	渡邉　豪男			
会場連絡係	生嶋　浩幸	岩田　耕平	澁谷　幸俊	豊田　英雄
	鈴木　佑治			
練習会場係	清治　一雄	勝田　弘之	青木　充	坂田　守利
	赤石　俊介	寺田　力	長濱　俊雄	
歓迎案内･装飾･弁当班長	小林　幸男			
歓迎案内・装飾係	柳　正幸	森下　亜希	須田　光浩	小澤　映典
	宮﨑　英雄	鈴木　茂夫	後藤　憲一	山本　かおり
弁当係	清水　勉	渡邊　哲男	安部　美津江	濵田　智法
	中村　清	大塚　和彦	戸塚　康之	
消防警備班長	島村　誠			
消防警備係	関根　和弘	太田　義則	鈴木　達也	田村　彰
	内藤　浩幸	柳　厚志	柳田　卓哉	上原　誠次
	中水　隆之	中村　友哉	張能　勝人	南　利男
	寺田　一雄	小林　利行	北島　隆之	中村　正則
	竹内　建一			
衛生班長	千久田　晃一			
医療救護係	永島　徳子	金剛寺　晴美	中山　理恵	
環境美化係	菅野　透	中村　光弘	代田　明洋	
輸送交通班長	金子　利一			
輸送係	上原　睦	塚越　貴浩	杉谷　健次	
駐車場係	早川　茂	鈴木　規宰	永野　洋	青木　宏茂
	田村　純一	千濱　大輔	河村　栄治	須賀　良平
	中山　高裕	松尾　尚幸	櫻井　智幸	木村　章宏

競技会補助員（ボランティア）

（順不動・敬称略）

明るい社会づくり推進協

齋藤　敬子　伏見　かよ子　粟田　つね子　鶴岡　宣子　岩本　幹子
増田　光枝　小森　久代　冨沢　扶美子　加羅田　智子　増田　典子
藤井　てるい　柏木　宏之　井上　桂子　山田　英子　眞中　澄子
張替　久子　小林　多加子　大橋　和子　木村　節子　金屋　直美
張替　久美子　栁　翠　藤澤　雅奈子　小崎　トキ子　今野　清美
藤宮　佳子　若林　ミヤ子

かたつむりの会

草野　富美子　草野　務

カンボジアに学校を贈る会

小川　好江

キャロット

佐藤　秀子　佐藤　喜美子

国際交流協会

村田　三枝　下川原　澄子　吉岡　廣明

つくしんぼ

加藤　満子

花あそび松清会

瀬能　千恵子

花の池くらぶ

髙橋　進　佐野　浩平　木村　洋子　石川　勇喜

朗読グループ　あいの会

田中　昭子　高橋　敦子　千田　恒子　佐藤　礼子　丸岡　愼子

野田市体育指導員

松坂　千恵子　内山　治代　秦野　よし江　農添　優子　川﨑　睦子
土生谷　洋子　飯塚　正夫　畑　和子　高橋　則夫　芝田　初江
逆井　幸代　吉岡　範子　大島　鈴代　石永　祥子　鈴木　とし子
稲葉　静江

野田市青少年相談員連絡協議会

木名瀬　訓光　村松　勝　大井　久幸　沢田　昇　西山　隆
相嶋　茂雄　近藤　和彦　市川　隆敬　小林　巖　坂斉　茂明
平峰　由里子　藤咲　順美　久保寺　淳子　工藤　明子　染谷　紀男
藤井　信夫　長谷川　由美　山﨑　憲一　高村　恵津子　石島　茂
髙倉　信和　内田　勝範　伊藤　正　平野　勝則　巴　伸浩
鳩貝　誠　小平　久　鈴木　正勝　澤田　和豊　増田　武士

【個人】

上野　隆司　加藤　昌男　鈴木　忠栄　東山　忠義　田中　通義
渡邉　潤　鈴木　正司　鈴木　修三　洞毛　愛　平賀　佐登子
黒澤　太水　吉野　恵子　内海　里佳　櫻庭　尚子　前田　俊男

式典補助員

（順不動・敬称略）

西武台千葉高等学校

菅澤　真紀　日野　麻紀子　（引率）
結城　楓　中村　百花　黒岩　美月　佐久間　葵　和泉　萌
藤田　紗季　秋山　知那実　白石　好　清水　里紗　森本　杏奈
山下　恵実　篠原　百香

協力団体・協力者

（順不同・敬称略）

協力団体

野田商工会議所
野田市商店街連合会
野田市スカウト連絡協議会
野田市社会福祉協議会
野田市青少年補導員連絡協議会
みどりのふるさとづくり実行委員会
千葉県野田警察署
社団法人野田市歯科医師会
社団法人千葉県看護協会東葛地区部会
野田市タクシー協会
朝日自動車株式会社
西武台千葉高等学校
千葉県立清水高等学校
千葉県立野田特別支援学校
野田市立第二中学校
野田市立南部中学校
野田市立川間中学校
野田市立岩名中学校
野田市立二川中学校
野田市立中央小学校
野田市立東部小学校
野田市立北部小学校
野田市立福田第一小学校
野田市立清水台小学校
野田市立山崎小学校
野田市立尾崎小学校
野田市立二ツ塚小学校
野田市立木間ケ瀬小学校
野田市立関宿小学校
野田市関宿商工会
野田商工会議所青年部
夏まつり躍り七夕実行委員会
野田市青少年相談員連絡協議会
ボランティアグループ「ほほえみ」
野田交通安全協会
社団法人野田市医師会
野田市薬剤師会
国体支援トレーナー
東武鉄道株式会社

千葉県立野田中央高等学校
千葉県立関宿高等学校
野田市立第一中学校
野田市立東部中学校
野田市立北部中学校
野田市立福田中学校
野田市立木間ケ瀬中学校
野田市立関宿中学校
野田市立宮崎小学校
野田市立南部小学校
野田市立川間小学校
野田市立福田第二小学校
野田市立柳沢小学校
野田市立岩木小学校
野田市立七光台小学校
野田市立みずき小学校
野田市立二川小学校
野田市立関宿中央小学校

協賛

フクダ電子南関東販売株式会社

総　則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

千葉県で開催する第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」は、「今　房総の風となり　この一瞬に輝きを」のスローガンのもと、簡素な中にも、心のこもった千葉ならではの国体となるよう、６２０万県民一人ひとりの参画と協働により、全国から訪れる方々をおもてなしするとともに、アスリートの能力を最大限に発揮できる大会を目指し、千葉県の多様な魅力を結集した「夢と感動」に溢れる大会を開催するものである。

実施方針

1　実施競技

正式競技	公開競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球 トライアスロン

2　会期及び会場地

会期	会場地	会場地数
平成22年9月25日(土) ～10月5日(火) 〔11日間〕	千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、柏市、勝浦市、市原市、八千代市、我孫子市、鴨川市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、印西市、南房総市、匝瑳市、香取市、いすみ市、大網白里町、白子町	29市2町
※水泳競技会は下記日程で実施 平成22年9月8日(水) ～17日(金)〔10日間〕	習志野市	1市
※ゴルフ競技会は下記日程で実施 平成22年9月21日(火) ～23日(木)〔3日間〕	成田市	1市

3　競技方法

正式競技は都道府県対抗とし、公開競技についてはそれぞれの実施要項に示す方法とする。

4　ドーピング検査の実施

検査は、日本ドーピング防止規程及び関連規則に基づき実施する。

5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

（1）参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、成年又は少年の種別に参加することができる。

(ｱ) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者（日本国との平和条約に基づく日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）

(ｲ) 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒

ただし、

a　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在（中学3年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については、参加できない。

(ｳ) 参加しようとする当該年以前に前号(ｲ)の規定に該当していた者。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第63回又は第64回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第63回又は第64回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ) 成年種別

a　平成21年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

(ｲ) 少年種別

a　平成21年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記2「一家転住等」に伴う特別措置の考え方による。）

d　JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」による。）

エ　選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ｲ) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｳ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

（２）所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 勤務地

(ｳ) ふるさと（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 学校教育法第１条に規定する学校の所在地

(ｳ) 勤務地

(ｴ)「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」（別記３）に定める小学校の所在地

※　上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成22年４月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合（「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む）

［少年種別］

a　「一家転住」した場合

b　「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受ける場合

（３）選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ) 成年種別に参加する者は、平成４年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ) 少年種別に参加する者は、平成７年４月１日以前に生まれた者から平成４年４月２日以後に生まれた者とする。

(ｳ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成22年４月１日を基準とする。

イ（財）日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生とする。

（４）前記の各事項に疑義のあるときは、(財)日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、(財)日本体育協会がその可否を決定する。

別記１【国民体育大会ふるさと選手制度】

（１）　成年種別に出場する選手は、開催基準要項細則第３項〔本則第８項第１号及び第10項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤務地

ウ　ふるさと

（2）「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

（3）「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

（4）「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

（5）ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

（6）参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、(財)日本体育協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置の考え方】

転校への特例

1　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③）に抵触しないものとする。

（1）この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

（2）本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。なお、「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

（3）転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記2（1）の場合は転居元、下記2（2）の場合は転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記2（1）の場合は転居先、下記2（2）の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

2　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下の通りとする。

（1）転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

（2）転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3【JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOCエリートアカデミー」に係る選手のうち、下記（1）に該当する者については、開催基準要項細則第3項及び「国民体育大会ふるさと選

手制度」に関し、下記（２）～（４）の特例を適用する。

（１）対象者

ア　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

イ　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

（２）少年種別年齢域の選手の所属都道府県

（１）アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「(ｱ)居住地を示す現住所」、「(ｲ)学校教育法第１条に規定する学校の所在地」、「(ｳ)勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

（３）成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

（１）イに定める成年種別年齢域の選手は、別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」（２）に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

（４）国内移動選手の制限に係る例外適用

（１）アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第３項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］（１）イに定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則第３項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

６　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

（１）次のア、イの得点を合計したものを都道府県ごとの男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次の２種類とする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	５点
	８人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	８点
種目	――――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は

与えない。

（2）各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

（3）参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表　　彰

（1）冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

（2）冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

（3）各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

（4）各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

（5）各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8　各競技の参加申込方法

（1）都道府県の体育協会会長及び各競技団体会長は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び(財)日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長あてに申込むものとする。

（2）参加申込みは、定められた締切日までに所定の手続きにより行う。

（3）参加申込締切日

締　切　日	競　　技
①平成22年8月18日（水）	水泳、ボート、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
②平成22年8月31日（火）	柔道
③平成22年9月1日（水）	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、高等学校野球

（4）参加申込様式は、(財)日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

（5）参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記あてに所定の様式にて届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　ゆめ半島千葉国体実行委員会事務局

ウ　ゆめ半島千葉国体各競技会場地市町実行委員会

なお、(財)日本体育協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより参加申込情報

を修正すること。

9　各競技会の棄権手続き

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

（1）本大会に選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	1,500 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2,000 円

（2）大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入締切日

平成 22 年 9 月 1 日（水）

イ　納入先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

財団法人日本体育協会

11　宿泊申込み

大会参加者は、ゆめ半島千葉国体実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　参加選手団本部役員編成及び視察員

（1）参加選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

（2）上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

（3）上記（1）及び（2）による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

（4）参加選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記（1）及び（2）による人数を上限とする。

（5）視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、平成 23 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している都県については、山口県 100 名以内、岐阜県及び東京都 60 名以内、長崎県及び和歌山県 40 名以内とする。

13　参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

（1）参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

（2）大会参加記念章
　デモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者
（3）視察員章
　視察員

14　参加上の注意

（1）大会期間中は、交付された参加章、大会参加記念章又は視察員章を着用しなければならない。
（2）参加章及び視察員章着用者は、開・閉会式を除くすべての競技会場に入場することができる。
（3）各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。
（1）都道府県の主催団体は、(財)日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議のうえ本要項に基づき実施要領を作成する。
（2）参加者は、実施要領に基づき当該都道府県主催団体に申込む。なお、参加は1人1競技に限る。
（3）申込みは、すべて各競技団体所定の参加申込用紙による。
（4）参加料を徴収する場合の金額は、主催団体が中央競技団体と協議のうえ定める。
（5）競技運営に差し支えない限り、千葉県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

16　国民体育大会参加者傷害補償制度

(財)日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。
（1）本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。
（2）大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、(財)日本体育協会に納入する。
（3）納入締切日及び納入先については別途(財)日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

17　文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、文化プログラム実施基準に基づくものとする。

（平成22年7月1日現在）

文化プログラム	会　場　地	会場地数
全国スポーツ写真展	千葉市	31市11町1村
手をつなぐスポーツのつどい絵画展		
企画展「江戸のエコ“もったいねえ”があたりまえ」		

アートコレクション「針生鎮郎」	千葉市	
アートコレクション「富取風堂」		
「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」		
水彩画の魅力		
「工芸の技と美」		
親子でクラフト		
モノレール・デコレーション		
きらびやかな世界の昆虫たち		
生態園トピックス展「まちのコウモリ」		
千葉県警察音楽隊金曜コンサート		
（社）千葉県鍼灸マッサージ師会県民公開講座		
第３９回ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ・ﾊﾞﾄﾝﾄﾜｰﾘﾝｸﾞ千葉県大会		
BAY SIDE JAZZ 2010 CHIBA（ベイサイド　ジャズ 2010 千葉）		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭総合文化祭「第４３回合同写真展」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭 「第４１回千葉演劇祭『座・劇列車』公演」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第３３回千葉県写真展」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第６０回記念千葉デザイン展 2010」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第５７回千葉県勤労者美術展」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第１５回食文化フォーラム」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第２１回千葉県教育芸術祭」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第６２回千葉県美術展覧会（県展）」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第７９回千葉県三曲協会演奏会」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第５２回千葉県俳句大会」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第４５回千葉県川柳大会」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第３２回ちば秋の詩祭」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「平成 22 年度千葉県民謡民舞祭」		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「千葉・県民芸術祭記念コンサート」		
篠笛のしらべ		
（財）千葉県文化振興財団設立 25 周年記念事業 佐藤しのぶソプラノ・リサイタル		
ヒゲタ醤油銚子工場・史料館	銚子市	
平成 22 年度千葉・県民芸術祭 「第４１回千葉演劇祭　劇団日曜会公演」		
企画展「みる！みえる？」～錯視から探る視覚のしくみ～	市川市	
オー・ド・シエル～障がいのある方たちの美術展～		
第１６回鬼高さんしゃ祭		
いちかわ時の記憶写真展		
グリーンシアター		
映文シネマズ		
市川市ゆかりのスポーツ選手グッズ展覧会		

第５回いちかわ市民ミュージカル公演　水木洋子生誕 100 周年記念「シネマ・ミュージカル～脚本家／水木洋子ワールド」	市川市	
第３３回船橋市いけばな展	船橋市	
「ゆめ半島千葉国体 2010 開催記念ふなばし青少年ふれあいコンサート」		
ベイパークフェスティバル		
館山市文化祭	館山市	
平成 22 年度出土遺物巡回展～房総発掘ものがたり～「北から西から海路から」房総３万年の交流～		
第２９回南総里見まつり		
～Music Forever～南総フェスティバル 2010		
「浮世絵～相撲絵の世界～」と「想い出の郷土力士」展	木更津市	
～宇宙（そら）まで届け！！松戸からのメッセージ～ゆめ半島千葉国体開催記念第３７回松戸まつり	松戸市	
学習資料展「昔のくらし探検」		
企画展「湯浅喜代治考古コレクション～夢を追った７０年～」		
庭からみよう！戸定邸		
菊で祝う七五三（戸定菊花祭）		
夏期展　徳川昭武のみた　明治のまつど		
企画展　徳川慶喜家　最後の家令		
利根運河通水 120 年記念合同企画事業～利根川舟運と利根運河～	野田市	
野田市鈴木貫太郎記念館		
利根運河通水 120 年記念合同企画事業 平成 22 年度特別展「利根運河の観光と自然」（仮）		
茂原市立美術館収蔵絵画展「房総の風景と人物画展」	茂原市	
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第２３回千葉県吹奏楽祭」	成田市	
佐倉・城下町 400 年記念　佐倉の秋祭り	佐倉市	
地域の歴史を探るゆっくり歩こう～東金歴史散策～	東金市	
第５７回東金市民体育祭		
野球の歴史～野球の誕生からワールド･ベースボール・クラシック優勝まで～	旭市	
企画展 「協同の源流を尋ねて～幽学の先祖株組合とその遺伝子～」		
（財）千葉県文化振興財団設立 25 周年記念事業「錦織健テノールリサイタル～オペラの貴公子魅惑のステージ～」		
若きゆめの舞	習志野市	
花と緑のフェスティバル２０１０in 柏の葉	柏市	
船上から手賀沼の環境を考えよう		
アートラインかしわ２０１０		
東京大学柏キャンパス一般公開		
あけぼの山農業公園まつり		
旧吉田家住宅歴史公園		
第５７回柏市文化祭		
柏市郷土資料展示室　第７回企画展		
地域交流事業「手賀の歴史を歩こう」		

わいわい工作教室①「竹鉄砲づくり＆的づくり」	柏市	
地域交流事業「そば打ち体験教室」		
サメ	勝浦市	
勝浦大漁まつり（勝浦の秋祭り）		
コスモスフェスタ in 勝浦		
史跡　上総国分尼寺跡	市原市	
鼓童 ONE EARTH TOUR 2010		
市原フィルハーモニー管弦楽団第２３回定期演奏会		
第 44 回市原市文化祭		
市原市生涯学習フェスティバル「LIVE・来舞・らいふ 2010」		
利根運河通水 120 年記念合同企画事業 「利根運河 120 年の記録～魅力ある土木遺産～」	流山市	
平成 22 年度第１回企画展 「八千代の遺跡～むらかみの土の中から～」	八千代市	
文化伝承館展示事業「八千代の年中行事」		
星襄一作品展Ⅱ～四季を巡る～　同時開催／八千代市収蔵美術品展		
星襄一作品展Ⅲ～前期作品を中心に～		
第１１回八千代川柳大会		
第５７回鳥の博物館　友の会展	我孫子市	
第２２回鴨川青年の家まつり	鴨川市	
「訪ねて語ろう自然と文化」 ～来て見て体験！鴨川アドベンチャー！！～		
秋を食べよう　アウトドアクッキング		
第４０回鴨川市文化祭		
きみかめ山のフェスティバル	君津市	
君津市漁業資料館常設展示		
平成２２年度企画展示事業「館収蔵資料展」		
久留里城戦国ロマンウォーク		
生きた水の久留里城祭り		
きみつの歴史・文化探訪ハイキング		
富津市民文化祭２０１０	富津市	
ふるさと浦安作品展	浦安市	
防犯ポスター展		
浦安文化芸術祭		
平成 22 年度千葉・県民芸術祭「第５９回千葉県吟剣詩舞道大会」	四街道市	
袖ケ浦学びフェスタ	袖ケ浦市	
印西市文化ホール主催事業　錦織健テノールコンサート	印西市	
印西市合併記念事業平成 22 年度第１回企画展示・NPO いんば共同 企画展示　印旛沼の水草～今と昔～		
第１回南房総市文化フェスタ	南房総市	
山倉克己・研志二人展	匝瑳市	
第４４回のさか文化祭		

第５８回八日市場文化祭（芸能） 第５８回八日市場文化祭（展示）	匝瑳市	
若潮国体写真展		
第３２回よかっぺ祭り		
収蔵品展「むかしの道具」	香取市	
夢・創造　少年自然の家まつり		
特別展　伊能忠敬関係資料～国宝への歩み～		
大原はだか祭り	いすみ市	
長者・中根十三社秋祭り		
いすみ市水彩ギャラリー		
企画展「万喜城」～城からみたいすみの戦国時代～ 企画展「失われた風景～画家静遥の描いた愛すべき風景たち」		
酒々井町史跡ウォーキング	酒々井町	
房総のむら　稲穂まつり	栄町	
房総のむら　房総座		
房総のむら企画展「豊年万作！農耕図のナゾを解け！！～房総の四季耕作図と農具絵図～」		
房総のむら　歴史の里の音楽会		
大網白里町産業文化祭「文化の部」	大網白里町	
町民体育祭	九十九里町	
秋季野球大会		
ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会記念　芝山町ウォーキング	芝山町	
一宮町制 120 周年記念事業　「上総国一宮まつり」	一宮町	
一宮町制 120 周年記念式典 一宮町制 120 周年記念事業　「一宮町農林商工祭」		
特別展「１９７３年千葉若潮国体とその時代」	睦沢町	
長生村文化祭	長生村	
白子町文化祭	白子町	
長南町町民文化祭	長南町	
企画展「武と華やぎの装い」	大多喜町	
体験教室　甲冑の試着		
合戦と武器・武具		
菱川師宣記念館（源頼朝展）	鋸南町	
城西国際大学　公開講座	県内各地	

18　デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は、次表のとおりとし、実施については、デモンストレーションとしてのスポーツ行事実施基準に基づく実施要領による。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会　場　地	会場地数
アイスホッケー	千葉市	15 市 8 町
少林寺拳法	千葉市	

ゲートボール	千葉市	
ダンススポーツ	千葉市	
スポーツチャンバラ	千葉市	
ユニバーサルホッケー	千葉市	
ウォーキング	千葉市、南房総市、香取市	
ウォークラリー	茂原市、神崎町	
ターゲット・バードゴルフ	佐倉市	
ペタンク	柏市	
グラウンド・ゴルフ	市原市、白井市	
キッズサッカー	市原市	
武術太極拳	流山市	
ヘルスバレーボール	流山市、東庄町	
インディアカ	鎌ケ谷市	
３Ｂ体操	浦安市	
ビリヤード	浦安市	
バウンドテニス	八街市	
ティーボール	印西市	
ソフトバレーボール	富里市	
オリエンテーリング	山武市	
パークゴルフ	酒々井町、御宿町	
サイクリング	栄町	
綱引	多古町	
キンボール	大多喜町	
スカッシュ	鋸南町	

19　そ の 他

（１）参加申込み及び宿泊申込みが、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた締切日までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

（２）その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第６５回国民体育大会バドミントン競技実施要項

1　期　　日　　平成 22 年 10 月 1 日（金）から 10 月 4 日（月）まで（4 日間）

種　別	10 月 1 日（金）	10 月 2 日（土）	10 月 3 日（日）	10 月 4 日（月）
成年男子	1・2 回戦	3　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
成年女子		1　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
少年男子		1　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝
少年女子	1　回　戦	2　回　戦	準々決勝・準決勝	3 位決定戦・決勝

2　会　　場　　野田市　　野田市関宿総合公園体育館　　野田市総合公園体育館

3　種別及び参加人員

種　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計(人)
成年男子	1	3	47	188	444
成年女子	1	3	16	64	
少年男子	1	3	16	64	
少年女子	1	3	32	128	

4　競技上の規程及び方法

(1)　平成 22 年度の（財）日本バドミントン協会競技規則・公認審判員規程並びに大会運営規程による。

(2)　各種別とも 1 複 2 単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち 2 試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3 位決定戦を行う。

5　予選方法

ブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。（成年男子は全都道府県が参加）

ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年女子	少年男子	少年女子
北　海　道	北海道	1	1	1
東　　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	4
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、山梨	2	2	5
北　信　越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	3
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	3
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	4
中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	3
四　　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	3
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	5
開　催　地	千葉	1	1	1
計		16	16	32

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるところによる。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

(2)　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3)　各種別の第１位から第８位までに賞状を授与する。

9　参加申込方法

(1)　所定の Web ページ(国民体育大会参加申込受付窓口)へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成 22 年９月１日（水）までに申込手続きを完了すること。

(2)　締切期限以降は所定の Web ページ(国民体育大会参加申込受付窓口)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3)　参加申込締切後の選手の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、その場合は、下記のア、イ、ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

ア　〒150-8050　東京都渋谷区神南１丁目１番１号　　岸記念体育会館内
（財）日本バドミントン協会
TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

イ　〒260-0013　千葉県千葉市中央区中央４丁目 13 番 28 号
ゆめ半島千葉国体実行委員会事務局
TEL 043-223-2233　FAX 043-224-7440

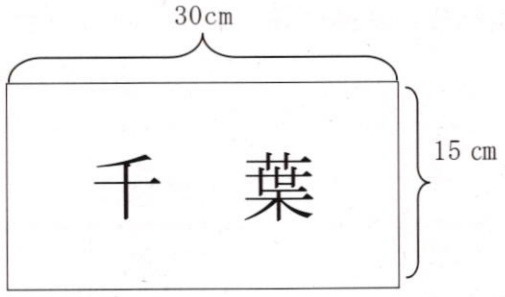
ウ　〒278-8550　千葉県野田市鶴奉７番地の１
ゆめ半島千葉国体野田市実行委員会事務局
TEL 04-7120-1577　FAX 04-7120-1578

※なお、(財)日本体育協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦 15cm、横 30cm の範囲内に都道府県名を明示すること。
文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

（例）



11　その他

(1)　組合せ抽選会

日　時　　平成 22 年 9 月 6 日（月）　午後 1 時

場　所　　岸記念体育会館　会議室

〒150-8050　東京都渋谷区神南 1 丁目 1 番 1 号

TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

(2)　審判会議

日　時　　平成 22 年 9 月 30 日（木）　午後 1 時

場　所　　野田市役所 8 階大会議室

〒278-8550　千葉県野田市鶴奉 7 番地の 1

TEL 04-7125-1111　FAX 04-7120-1578

(3)　監督会議

日　時　　平成 22 年 9 月 30 日（木）　午後 2 時 30 分

場　所　　野田市役所 8 階大会議室

〒278-8550　千葉県野田市鶴奉 7 番地の 1

TEL 04-7125-1111　FAX 04-7120-1578

(4)　表彰式

日　時　　平成 22 年 10 月 4 日（月）　全競技終了後（午後 2 時頃）

場　所　　野田市関宿総合公園体育館

〒270-0225　千葉県野田市平井 401 番地

TEL 04-7198-8500　FAX 04-7198-6789

表 彰 式 次 第



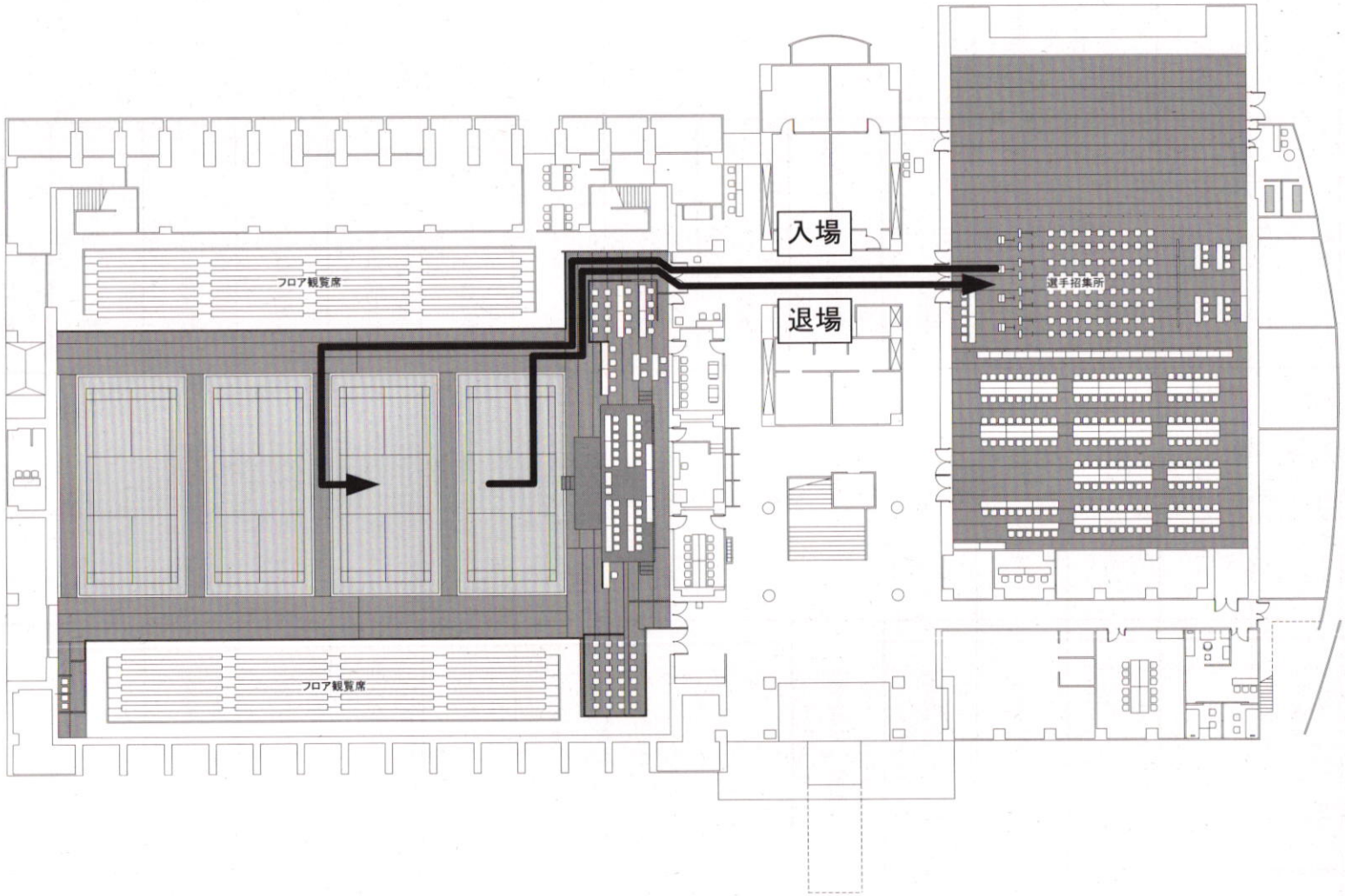
1　日時　　平成２２年１０月４日（月）　午後２時

2　場所　　野田市関宿総合公園体育館　メインアリーナ

3　式次第

順序	次　　第	予定時刻	備考
	競技(決勝戦)終了予定	13:00	
	表彰式会場へレイアウト変更	13:10	
	選手団集合・関係役員整列完了	13:50	※選手団招集放送　13:40
1	開式通告	14:00	放送により通告
2	選手団入場	14:01	
3	成績発表	14:06	総合成績計算委員長
4	表彰	14:09	競技会副会長ほか
5	競技会会長のあいさつ	14:39	競技会会長
6	歓送のことば	14:42	競技会名誉会長
7	国旗儀礼	14:45	
8	大会旗・協会旗・県旗・市旗儀礼	14:48	
9	競技会終了宣言	14:50	競技会委員長
10	閉式通告	14:51	放送により通告
11	選手団退場	14:52	
	関係役員解散	14:57	
	会場撤去	15:02	

表彰式選手団入退場行進図



競　技　日　程

審　判　会　議	9月30日（木）	13時00分	野田市役所8階大会議室
監　督　会　議	9月30日（木）	14時30分	野田市役所8階大会議室

		10月1日（金）	10月2日（土）	10月3日（日）	10月4日（月）
野田市	野田市関宿総合公園体育館	成年男子（M） 1回戦（4試合） 9:30～	少年男子（B） 1回戦（4試合） 9:30～	少年男子（B） 準々決勝（2試合） 9:30～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 3位決定戦　9:30～
		成年男子（M） 1回戦（3試合） 11:00～	成年女子（W） 1回戦（4試合） 11:00～	成年女子（W） 準々決勝（2試合） 9:30～	
		少年女子（G） 1回戦（4試合） 12:30～	少年女子（G） 2回戦（4試合） 12:30～	成年男子（M） 準々決勝（2試合） 11:30～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 決勝戦　11:00～
		少年女子（G） 1回戦（4試合） 14:00～	成年男子（M） 3回戦（4試合） 14:00～	少年女子（G） 準々決勝（2試合） 11:30～	
		成年男子（M） 2回戦（4試合） 15:30～		少年男子（B） 準決勝（1試合） 13:30～	
		成年男子（M） 2回戦（4試合） 17:00～		成年女子（W） 準決勝（1試合） 13:30～	
				成年男子（M） 準決勝（1試合） 15:30～	
				少年女子（G） 準決勝（1試合） 15:30～	
	野田市総合公園体育館	成年男子（M） 1回戦（4試合） 9:30～	少年男子（B） 1回戦（4試合） 9:30～	少年男子（B） 準々決勝（2試合） 9:30～	
		成年男子（M） 1回戦（4試合） 11:00～	成年女子（W） 1回戦（4試合） 11:00～	成年女子（W） 準々決勝（2試合） 9:30～	
		少年女子（G） 1回戦（4試合） 12:30～	少年女子（G） 2回戦（4試合） 12:30～	成年男子（M） 準々決勝（2試合） 11:30～	
		少年女子（G） 1回戦（4試合） 14:00～	成年男子（M） 3回戦（4試合） 14:00～	少年女子（G） 準々決勝（2試合） 11:30～	
		成年男子（M） 2回戦（4試合） 15:30～		少年男子（B） 準決勝（1試合） 13:30～	
		成年男子（M） 2回戦（4試合） 17:00～		成年女子（W） 準決勝（1試合） 13:30～	
				成年男子（M） 準決勝（1試合） 15:30～	
				少年女子（G） 準決勝（1試合） 15:30～	

表　彰　式	10月4日（月）	14時00分	野田市関宿総合公園体育館

タイムテーブル

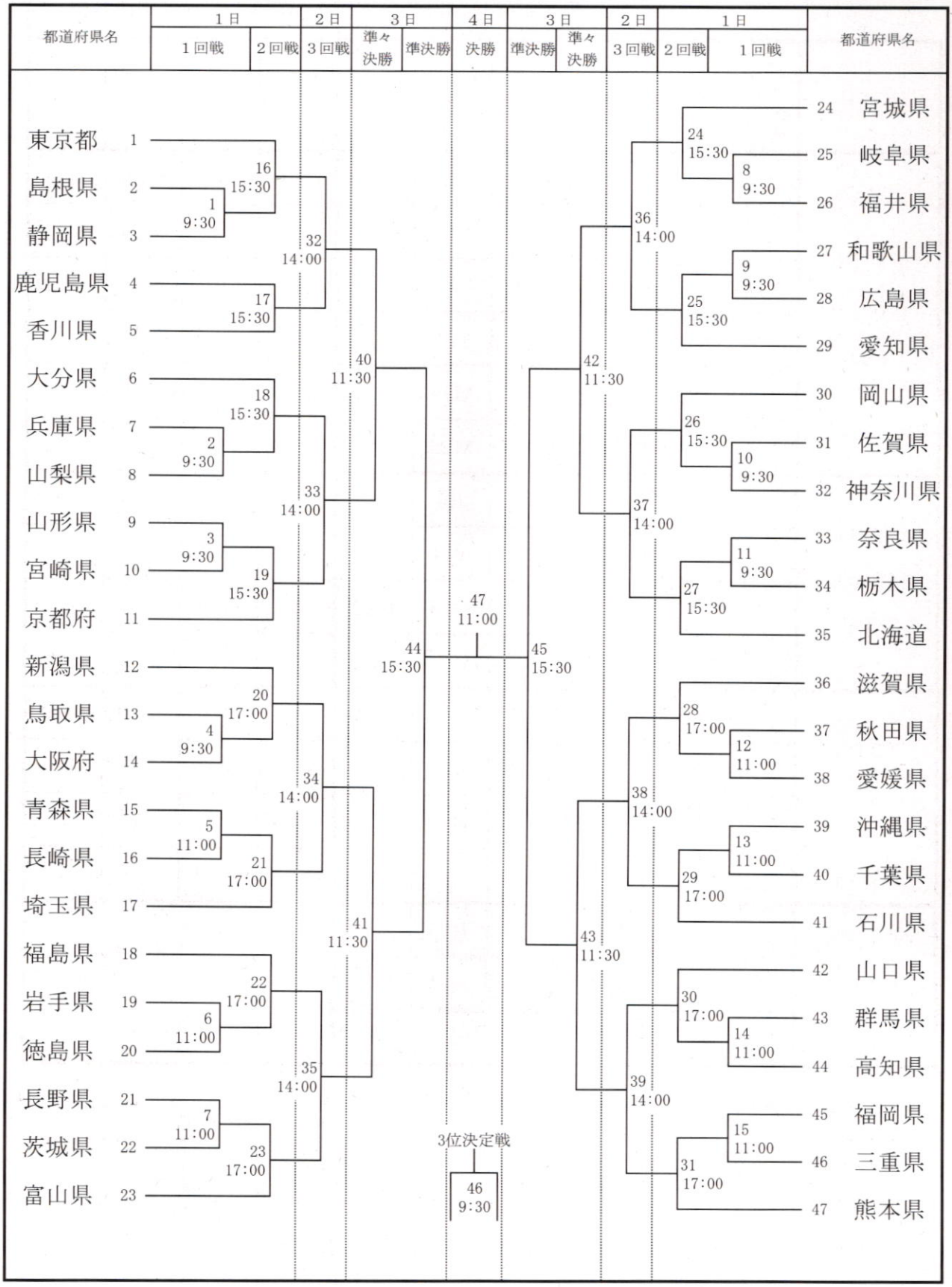
月　日	コート番号 / 開始時間	野田市関宿総合公園体育館				野田市総合公園体育館			
		1	2	3	4	1	2	3	4
第１日目 10月１日 （金）	9:30	M1	M2	M3	M4	M8	M9	M10	M11
	11:00	M5	M6	M7		M12	M13	M14	M15
	12:30	G1	G2	G3	G4	G9	G10	G11	G12
	14:00	G5	G6	G7	G8	G13	G14	G15	G16
	15:30	M16	M17	M18	M19	M24	M25	M26	M27
	17:00	M20	M21	M22	M23	M28	M29	M30	M31
第２日目 10月２日 （土）	9:30	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8
	11:00	W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8
	12:30	G17	G18	G19	G20	G21	G22	G23	G24
	14:00	M32	M33	M34	M35	M36	M37	M38	M39
第３日目 10月３日 （日）	9:30	B11	B12	W11	W12	B9	B10	W9	W10
	11:30	M42	M43	G27	G28	M40	M41	G25	G26
	13:30	B14		W14		B13		W13	
	15:30		M45		G30		M44		G29
第４日目 10月４日 （月）	9:30	M46	G31	B15	W15				
	11:00	M47	G32	B16	W16				
	14:00	表　　彰　　式							

※　Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

※　□　は決勝戦、＿＿＿　は３位決定戦

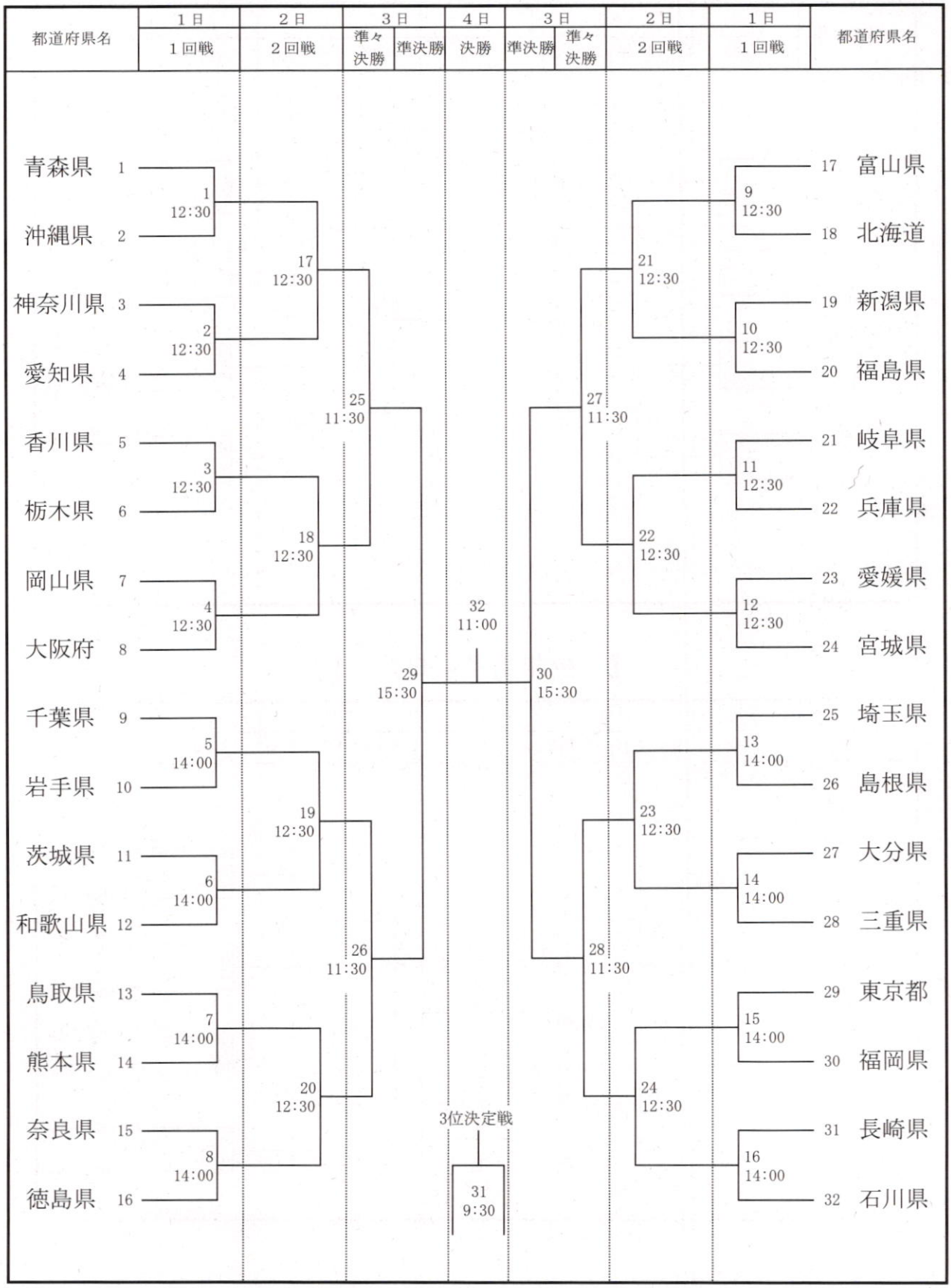
組　合　せ　表

【　成年男子（M）　】


都道府県名
1日
1回戦
2回戦
2日
3回戦
3日
準々決勝
準決勝
4日
決勝
3日
準決勝
準々決勝
2日
3回戦
1日
2回戦
1回戦
都道府県名
東京都 1
島根県 2
静岡県 3
鹿児島県 4
香川県 5
大分県 6
兵庫県 7
山梨県 8
山形県 9
宮崎県 10
京都府 11
新潟県 12
鳥取県 13
大阪府 14
青森県 15
長崎県 16
埼玉県 17
福島県 18
岩手県 19
徳島県 20
長野県 21
茨城県 22
富山県 23
宮城県 24
岐阜県 25
福井県 26
和歌山県 27
広島県 28
愛知県 29
岡山県 30
佐賀県 31
神奈川県 32
奈良県 33
栃木県 34
北海道 35
滋賀県 36
秋田県 37
愛媛県 38
沖縄県 39
千葉県 40
石川県 41
山口県 42
群馬県 43
高知県 44
福岡県 45
三重県 46
熊本県 47
1 9:30
2 9:30
3 9:30
4 9:30
5 11:00
6 11:00
7 11:00
8 9:30
9 9:30
10 9:30
11 9:30
12 11:00
13 11:00
14 11:00
15 11:00
16 15:30
17 15:30
18 15:30
19 15:30
20 17:00
21 17:00
22 17:00
23 17:00
24 15:30
25 15:30
26 15:30
27 15:30
28 17:00
29 17:00
30 17:00
31 17:00
32 14:00
33 14:00
34 14:00
35 14:00
36 14:00
37 14:00
38 14:00
39 14:00
40 11:30
41 11:30
42 11:30
43 11:30
44 15:30
45 15:30
47 11:00
3位決定戦
46 9:30

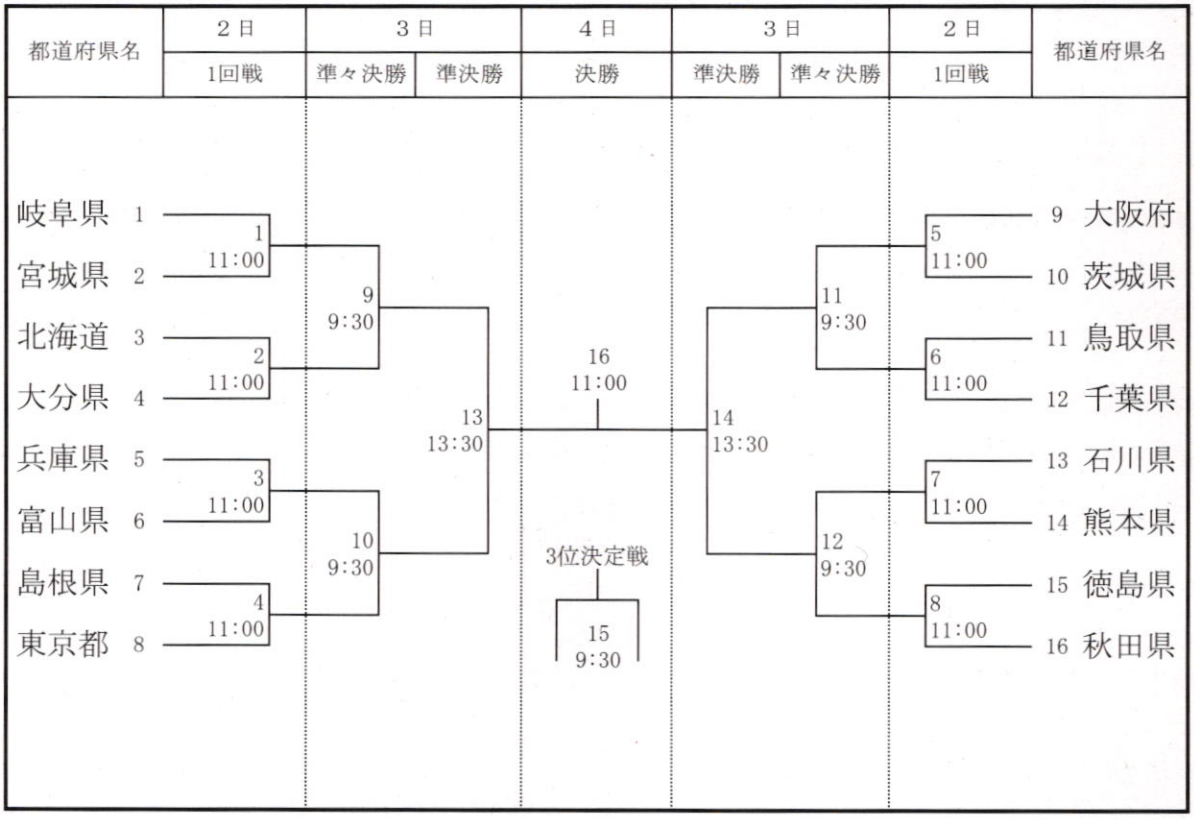
組　合　せ　表

【　少年女子（G）　】

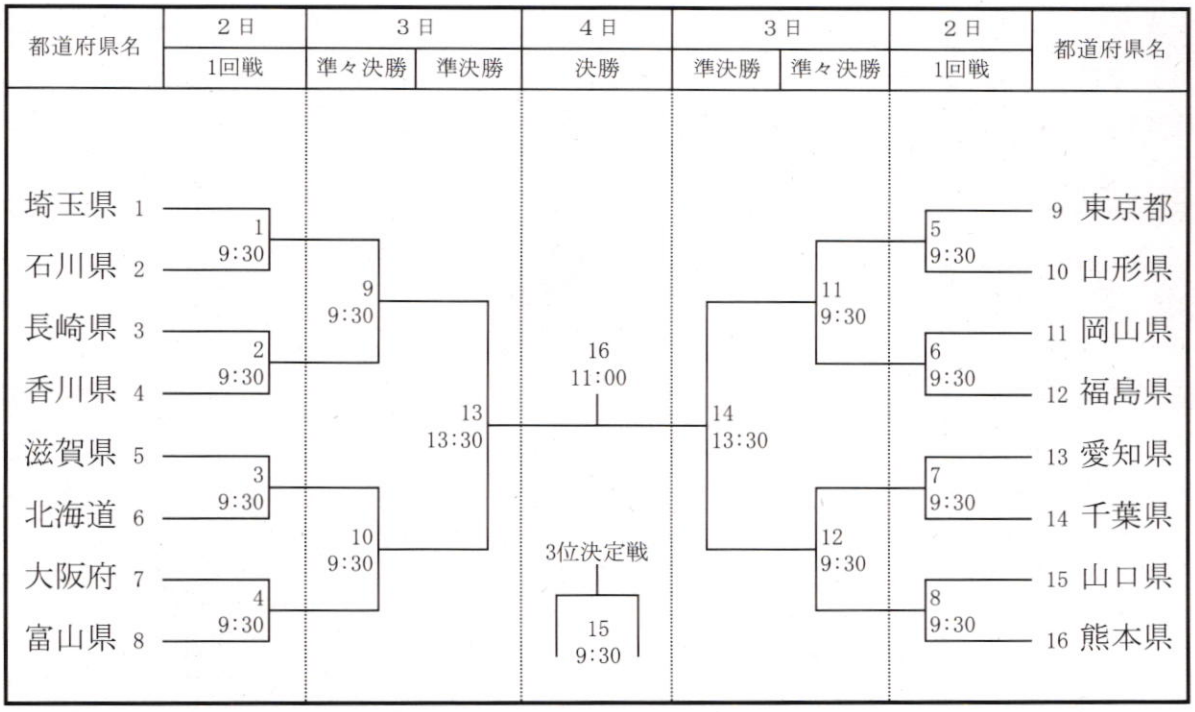

都道府県名
1日
1回戦
2日
2回戦
3日
準々決勝
準決勝
4日
決勝
3日
準決勝
準々決勝
2日
2回戦
1日
1回戦
都道府県名
青森県 1
沖縄県 2
神奈川県 3
愛知県 4
香川県 5
栃木県 6
岡山県 7
大阪府 8
千葉県 9
岩手県 10
茨城県 11
和歌山県 12
鳥取県 13
熊本県 14
奈良県 15
徳島県 16
1 12:30
2 12:30
3 12:30
4 12:30
5 14:00
6 14:00
7 14:00
8 14:00
17 12:30
18 12:30
19 12:30
20 12:30
25 11:30
26 11:30
29 15:30
32 11:00
3位決定戦
31 9:30
30 15:30
27 11:30
28 11:30
21 12:30
22 12:30
23 12:30
24 12:30
9 12:30
10 12:30
11 12:30
12 12:30
13 14:00
14 14:00
15 14:00
16 14:00
17 富山県
18 北海道
19 新潟県
20 福島県
21 岐阜県
22 兵庫県
23 愛媛県
24 宮城県
25 埼玉県
26 島根県
27 大分県
28 三重県
29 東京都
30 福岡県
31 長崎県
32 石川県

組　合　せ　表

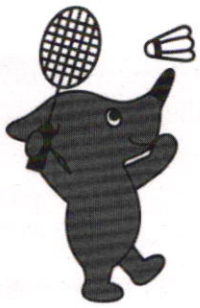
【　成年女子（W）　】



【　少年男子（B）　】



バドミントンを楽しく見るために



－ バドミントンQ&A －

Q　バドミントンのルーツは?

A　バドミントンの誕生のもとになった羽根つき遊びは、古くから世界中で楽しまれていました。近世になって、こうした遊びはバトルドアー・アンド・シャトルコックと呼ばれるようになりました。（バトルドアーとはラケットのことです。）バドミントンの名の由来となったボーフォート公爵の居城バドミントン・ハウスにおいてもバトルドアー・アンド・シャトルコックが盛んに行われていました。

１８６０年頃になって、ある玩具業者が、ラケットとシャトル、それにネットを加えてワンセットにし、バドミントン・ハウスの名を借りて、「バドミントン・バトルドアー」と名付けて売り出しました。この遊びの名前が省略されて「バドミントン」と呼ばれるようになったと考えられます。

その後、イギリスの植民地などにさまざまなルールで普及していきました。そこで、ルールを統一しようという動きが生まれて、１８９３年にバドミントン協会が設立され、アソシエーション・バドミントンが誕生したのです。

これが今日、私たちがバドミントンと呼ぶところのものです。

（日本教職員バドミントン連盟１００問集より抜粋）

Q　バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A①　ネットを挟んでラケットで羽根（シャトル）を打ち合うものです。コートの外に落ちたり、コートの内や外であっても床に落ちる前に身体やラケットにシャトルがタッチすれば失点（フォルト）になります。

②　試合には、相対する１人が行うシングルスと２人が行うダブルスがあります。

③　ダブルスには、男同士、女同士でペアを組むものと、男女でペアを組むもの（ミックスダブルス）があります。

Q　バドミントンの羽根（シャトル）はどんなものですか？

A　コルクの台に、ガチョウ、またはアヒルの羽根を１６枚取り付けます。重さは5ｇ程しかありません。

Q　ラケットの長さや重さはどれ位ですか？

A　規定ではフレームの全長が６８ｃｍ以内、幅２３ｃｍ以内と決められています。重さは８０～８６ｇが主流となっています。（カーボン、チタン等）

Q　打たれた時のシャトルコックのスピードはどれ位ですか？

A　下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は３００㎞ を超えます。その速度は瞬間的には新幹線より速いのです。

なお、世界記録はなんと４２１㎞になります。【2010年２月26日ギネス世界記録認定】

Q　新幹線より速いスピードのものをどうして打ち返すことができるのですか？

A　ラケットから離れる時の速度は速いのですが、ネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツです。

また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q　どうすれば、得点（ポイント）になりますか？

A　２００６年に開催されました兵庫国体までは、サービス権をもっているサイドがラリーに勝った時だけ得点になりましたが、翌年の秋田国体からはサービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝った時にポイントになるラリーポイント制に変わりました。

Q　試合の得点は何点で勝敗が決まるのですか？

A　全ての種目で、１ゲームは２１点で行います。試合は、３ゲームで行い、２ゲームを先取した方が勝ちです。

しかし、スコアが２０点オールになった時は、その後最初に２点リードした方が勝ちとなります。ただし、スコアが２９点オールになった時は、３０点目を得た方が、そのゲームの勝者となります。

≪国体バドミントン競技について≫

Q　種別はどのようなものがありますか？

A　成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別があります。

Q　参加都道府県はどのように決めるのですか？

A　「第６５回国民体育大会　ゆめ半島千葉国体」では、成年男子は４７都道府県が、成年女子、少年男子、少年女子は全国を９ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が参加します。成年女子と少年男子は開催県（千葉県）を含む１６チーム、少年女子は開催県（千葉県）を含む３２チームの参加となります。

１チームは、監督１人・選手３人の４人で編成します。

Q　試合はどのようにして行いますか。

A　８コートを使って、すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

試合は、①ダブルス②シングルス③シングルスの順で行い、先に２勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q　天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A　得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに１位２４点、２位２１点、３位１８点、４位１５点、５位（４チーム）７．５点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に１０点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えられません。この競技得点と参加得点の合計が総合得点になります。

天皇杯の対象種別は、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子で、皇后杯の対象種別は、成年女子と少年女子です。



都道府県別参加人員一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16
東北	青森県	2	3			3	8
	岩手県	2	3			3	8
	宮城県	3	3	3		3	12
	秋田県	2	3	3			8
	山形県	2	3		3		8
	福島県	3	3		3	3	12
関東	茨城県	3	3	3		3	12
	栃木県	2	3			3	8
	群馬県	1	3				4
	埼玉県	3	3		3	3	12
	千葉県	4	3	3	3	3	16
	東京都	4	3	3	3	3	16
	神奈川県	2	3			3	8
	山梨県	1	3				4
北信越	新潟県	2	3			3	8
	長野県	1	3				4
	富山県	4	3	3	3	3	16
	石川県	4	3	3	3	3	16
	福井県	1	3				4
東海	静岡県	1	3				4
	愛知県	3	3		3	3	12
	三重県	2	3			3	8
	岐阜県	3	3	3		3	12
近畿	滋賀県	2	3		3		8
	京都府	1	3				4
	大阪府	4	3	3	3	3	16
	兵庫県	3	3	3		3	12
	奈良県	2	3			3	8
	和歌山県	2	3			3	8
中国	鳥取県	3	3	3		3	12
	島根県	3	3	3		3	12
	岡山県	3	3		3	3	12
	広島県	1	3				4
	山口県	2	3		3		8
四国	香川県	3	3		3	3	12
	徳島県	3	3	3		3	12
	愛媛県	2	3			3	8
	高知県	1	3				4
九州	福岡県	2	3			3	8
	佐賀県	1	3				4
	長崎県	3	3		3	3	12
	熊本県	4	3	3	3	3	16
	大分県	3	3	3		3	12
	宮崎県	1	3				4
	鹿児島県	1	3				4
	沖縄県	2	3			3	8
総計		111	141	48	48	96	444

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監　督　小倉　隆司	北海道旅客鉄道株式会社	
	選　手　竹村　純	北海道旅客鉄道株式会社	
	選　手　早坂　幸平	北海道旅客鉄道株式会社	
	選　手　関野　有起	北海道旅客鉄道株式会社	
青森県	監　督　戸祭　潤	青森山田高等学校	
	選　手　西村　昭彦	ＺＥＳＴ	
	選　手　工藤　敏裕	日本体育大学	
	選　手　吉田　尚弘	中央大学	
岩手県	監　督　鈴木　広志	富士通岩手工場	
	選　手　松浦　翔	ジェイテクト	
	選　手　石川　貴寛	日本体育大学	
	選　手　鈴木　秀治	日本体育大学	
宮城県	監　督　草井　篤	株式会社NTTファシリティーズ東北支店	
	選　手　菊田　健一	ＮＴＴ－ＭＥ株式会社東北事業所	
	選　手　木戸　道治	日本体育大学	
	選　手　佐藤　黎	日本体育大学	
秋田県	監　督　小笠原　政彦	株式会社北都銀行	
	選　手　平山　政史	株式会社北都銀行	
	選　手　菅野　俊助	株式会社北都銀行	
	選　手　廣岡　翔	株式会社北都銀行	
山形県	監　督　遠藤　保樹	社団法人鶴岡市シルバー人材センター	
	選　手　伊藤　大	財団法人山形市体育協会	
	選　手　五十嵐　健	埼玉大学	
	選　手　佐藤　祐樹	敬和学園大学	
福島県	監　督　二瓶　良	帝京安積高等学校	
	選　手　菅澤　伸哉	日本大学	
	選　手　大森　康平	日本大学	
	選　手　吉田　佑平	神奈川大学	
茨城県	監　督　大橋　雅道	阿見町役場	
	選　手　小松﨑　佑也	ＮＴＴ東日本	
	選　手　野口　勝利	日本大学	
	選　手　岡本　拓磨	日本体育大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
栃木県	監督　遠井　努	栃木県立宇都宮南高等学校	
	選手　笠井　孝太	日産自動車株式会社栃木工場	
	選手　中里　好貴	南那須精工株式会社	
	選手　福田　春樹	南那須精工株式会社	
群馬県	監督　原田　優樹	群馬県立太田工業高等学校	
	選手　丸尾　亮太郎	早稲田大学	
	選手　金子　陽次	株式会社柴田レジテック	
	選手　松島　圭祐	神奈川大学	
埼玉県	監督　中條　彪	日本ユニシス株式会社	
	選手　遠藤　大由	日本ユニシス株式会社	
	選手　山田　和司	日本ユニシス株式会社	
	選手　上田　拓馬	早稲田大学	
千葉県	監督　野村　和弘	千葉県庁生活協同組合	
	選手　佐藤　翔治	ＮＴＴ東日本	
	選手　山口　公洋	ＮＴＴ東日本	
	選手　川内　崇士	ＮＴＴ東日本	
東京都	監督　坂本　修一	日本ユニシス株式会社	
	選手　廣部　好輝	日本ユニシス株式会社	
	選手　池田　雄一	日本ユニシス株式会社	
	選手　佐伯　祐行	日本ユニシス株式会社	
神奈川県	監督　鰐川　朗	日立情報通信エンジニアリング株式会社	
	選手　早崎　修平	日立情報通信エンジニアリング株式会社	
	選手　大嶋　一彰	日立情報通信エンジニアリング株式会社	
	選手　三橋　智希	日立情報通信エンジニアリング株式会社	
山梨県	監督　滝川　修	甲府市立甲府商業高等学校	
	選手　前島　智	株式会社サンクレックス	
	選手　伊東　雅俊	ＴＨＫ株式会社	
	選手　加藤　夕弥	帝京大学	
新潟県	監督　大月　実	新潟麦酒株式会社	
	選手　堀川　善生	ＮＴＴ東日本	
	選手　武下　利一	敬和学園大学	
	選手　米田　健司	近畿大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
長野県	監督　阿部　直樹	リード塾東進衛生予備校佐久野沢校	
	選手　小山　智之	大町北高等学校	
	選手　藤巻　嵩寛	日本体育大学	
	選手　柳澤　尚	関西大学	
富山県	監督　荒木　純	トナミ運輸株式会社	
	選手　古財　和輝	トナミ運輸株式会社	
	選手　橋本　博且	トナミ運輸株式会社	
	選手　黒瀬　尊敏	トナミ運輸株式会社	
石川県	監督　長谷川　進	有限会社ハセガワスポーツ	
	選手　青山　天将	金沢学院大学	
	選手　伊東　克範	ヨネックス株式会社	
	選手　坂井　一将	株式会社スポーツプランニング	
福井県	監督　芦井　隆俊	福井県立武生工業高等学校	
	選手　大岡　兄昌	セーレン株式会社	
	選手　松川　直弘	日本大学	
	選手　千京　尚将	日本体育大学	
静岡県	監督　山下　豪	ジヤトコ株式会社	
	選手　佐野　智久	キャノン株式会社	
	選手　尾崎　弘一	尾崎住宅販売	
	選手　古谷　勇人	株式会社啓電工業所	
愛知県	監督　馬場　直樹	東海興業株式会社	
	選手　酒井　宏治	株式会社ジェイテクト	
	選手　有田　裕佑	東海興業株式会社	
	選手　田村　潤	東海興業株式会社	
三重県	監督　平田　欽也	三重県立久居高等学校	
	選手　松本　徹	ＮＴＴコムウエア株式会社	
	選手　岩脇　峰生	庭工房	
	選手　駒田　直也	法政大学	
岐阜県	監督　戸﨑　守雄	株式会社丸杉	
	選手　吉田　昇	株式会社丸杉	
	選手　中野　智貴	株式会社丸杉	
	選手　黒田　俊明	株式会社丸杉	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
滋賀県	監　督　酒井　良之	株式会社近江兄弟社	
	選　手　早川　賢一	日本ユニシス株式会社	
	選　手　西澤　潤	早稲田大学	
	選　手　伊佐　俊彦	同志社大学	
京都府	監　督　高木　孝一郎	三菱自動車工業	
	選　手　喜多　勝人	三菱自動車工業	
	選　手　川下　剛士	立命館大学	
	選　手　樋口　龍太	立命館大学	
大阪府	監　督　平井　達也	西日本電信電話株式会社	
	選　手　古川　裕輔	常翔啓光学園高等学校	
	選　手　巽　太志	近畿大学	
	選　手　銭谷　翔	中央大学	
兵庫県	監　督　細川　泰大	神戸村野工業高等学校	
	選　手　柳川　智	新日本製鐵株式会社広畑製鐵所	
	選　手　庄　旭明	大和製衡株式会社	
	選　手　河田　尚也	中央大学	
奈良県	監　督　村山　友二	ＮＴＴ西日本	
	選　手　川前　直樹	ＮＴＴ東日本	
	選　手　浦窪　文也	金沢学院東高等学校	
	選　手　井谷　和弥	近畿大学	
和歌山県	監　督　佐々木　朝幸	岩出第二中学校	
	選　手　榎本　良永	堅山農林	
	選　手　谷口　宏紀	和歌山県立耐久高等学校	
	選　手　山東　亮太	金沢学院大学	
鳥取県	監　督　松本　源喜	フタバスポーツ	
	選　手　堂本　克樹	三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社	
	選　手　花本　大地	三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社	
	選　手　湯谷　亮介	中央大学	
島根県	監　督　稲垣　慎二	ラケットショップ　イナガキ	
	選　手　川上　大輔	まるなか建設株式会社	
	選　手　栗　祐貴	ジャトコ株式会社	
	選　手　今泉　裕輔	島根大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岡　山　県	監　督　藤原　道弘	ＪＦＥスチール株式会社西日本製鉄所	
	選　手　橋村　竜彦	株式会社ヨネックス	
	選　手　佐伯　浩一	東日本電信電話株式会社	
	選　手　三宅　達也	岡山県バドミントン協会	
広　島　県	監　督　川田　輝夫	輝スポーツ	
	選　手　新宅　地塩	トヨタ自動車九州株式会社	
	選　手　妹尾　雄介	トヨタ自動車九州株式会社	
	選　手　平山　涼介	帝京大学	
山　口　県	監　督　大束　真也	山口県立宇部総合支援学校	
	選　手　山平　直輝	宇部興産株式会社	
	選　手　松尾　光平	宇部興産株式会社	
	選　手　米元　優樹	宇部興産株式会社	
香　川　県	監　督　中村　亨	株式会社タダノ	
	選　手　竹川　慶二	株式会社タダノ	
	選　手　天野　真一	株式会社タダノ	
	選　手　福田　真也	トリッキーパンダース	
徳　島　県	監　督　杉内　邦弘	ＮＴＴ西日本	
	選　手　谷　耕平	徳島健祥会福祉専門学校	
	選　手　福家　康記	同志社大学	
	選　手　金森　優太	法政大学	
愛　媛　県	監　督　高橋　徹	松山市役所	
	選　手　濵中　裕太	愛媛大学	
	選　手　山崎　祐介	セキ株式会社	
	選　手　村上　真次郎	京都産業大学	
高　知　県	監　督　坂上　雅彦	ワールドスポーツ株式会社	
	選　手　吉本　尚弘	株式会社タダノ	
	選　手　松田　壮平	京都産業大学	
	選　手　永野　翔太	京都産業大学	
福　岡　県	監　督　武田　信一郎	ＳＳＳ	
	選　手　山浦　尚仁	トヨタ自動車九州株式会社	
	選　手　小澤　薫	トヨタ自動車九州株式会社	
	選　手　原田　和憲	早稲田大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
佐賀県	監督　山下　大介	Y・B・S	
	選手　森田　広貴	B・S・M	
	選手　吉村　典嗣	唐津南高校	
	選手　嘉村　昌俊	早稲田大学	
長崎県	監督　永田　圭太	ｃｏｌｏｒｓ	
	選手　吉村　諒	龍谷大学	
	選手　長嶋　一輝	法政大学	
	選手　中村　陽祐	広島大学院	
熊本県	監督　井上　哲章	県立翔陽高等学校	
	選手　山中　陽典	肥後銀行	
	選手　嘉村　健士	早稲田大学	
	選手　今給黎　将之	日本体育大学	
大分県	監督　小俣　功	由布市役所	
	選手　左村　正和	日田市役所	
	選手　松田　卓也	日田市役所	
	選手　衛藤　翔平	日本体育大学	
宮崎県	監督　若松　宏治	宮崎大学附属中学校	
	選手　井手　大	コモリスポーツ	
	選手　渡邊　達哉	日本体育大学	
	選手　定宗　隆一郎	筑波大学	
鹿児島県	監督　草ノ瀬　公一郎	グッドウェーブ	
	選手　末永　隆丸	グッドウェーブ	
	選手　堀之内　真	鹿児島県トラック協会	
	選手　坂中　賢太	近畿大学	
沖縄県	監督　藤岡　徹	沖縄県立浦添高等学校	
	選手　石垣　裕貴	株式会社装備	
	選手　野原　大輔	日本体育大学	
	選手　具志堅　興平	金沢学院大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　松本　章	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　永野　陽子	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　幡谷　若奈	北翔大学	
	選手　工藤　亜紀	北海道旅客鉄道株式会社	
宮城県	監督　山並　正人	ラケットショップ広瀬	
	選手　平山　愛	七十七銀行	
	選手　今井　杏莉	七十七銀行	
	選手　大森　舞	七十七銀行	
秋田県	監督　原田　利雄	株式会社北都銀行	
	選手　三好　奈緒	株式会社北都銀行	
	選手　小森　美希	株式会社北都銀行	
	選手　楠瀬　由佳	株式会社北都銀行	
茨城県	監督　大山　宏司	日立化成工業株式会社	
	選手　綿引　悠貴	日立化成工業株式会社	
	選手　土田　茉実	日立化成工業株式会社	
	選手　名田　瑞希	日立化成工業株式会社	
千葉県	監督　浜野　一男	千葉市役所	
	選手　橋本　由衣	ＮＴＴ東日本	
	選手　三谷　美菜津	ＮＴＴ東日本	
	選手　新玉　美郷	ＮＴＴ東日本	
東京都	監督　清水　文武	日本ユニシス株式会社	
	選手　今別府　靖代	ヨネックス株式会社	
	選手　佐々木　彩	ヨネックス株式会社	
	選手　江淵　愛美	日本ユニシス株式会社	
富山県	監督　安村　康介	トナミ運輸株式会社	
	選手　今井　幸代	ルネサス セミコンダクタ九州・山口株式会社	
	選手　奥井　智菜美	筑波大学	
	選手　片山　佳菜	早稲田大学	
石川県	監督　和田　修	医王山スポーツセンター	
	選手　田井　美幸	ＮＴＴ東日本	
	選手　樽野　恵	ＮＴＴ東日本	
	選手　伊東　可奈	ＮＥＣ　ＳＫＹ	

都道府県別出場監督・選手一覧表

成年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岐阜県	監督　山田　青子	岐阜トリッキーズパンダース	
	選手　後藤　愛	東日本電信電話株式会社	
	選手　脇田　侑	株式会社文溪堂	
	選手　江藤　理恵	丸栄コンクリート工業株式会社	
大阪府	監督　森　かおり	三洋電機株式会社	
	選手　多谷　郁恵	三洋電機株式会社	
	選手　村松　瑞穂	三洋電機株式会社	
	選手　今別府　香里	三洋電機株式会社	
兵庫県	監督　酒井　将之	三菱電機株式会社	
	選手　木村　早紀	三菱電機株式会社	
	選手　小椋　しのぶ	三菱電機株式会社	
	選手　大迫　晴加	三菱電機株式会社	
鳥取県	監督　山本　明良	三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社	
	選手　日野　由希江	鳥取県教育委員会事務局スポーツ健康教育課	
	選手　宮崎　優花	三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社	
	選手　藤原　由衣	三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社	
島根県	監督　田部　実智代	山陰合同銀行	
	選手　丸岡　智子	嶋本医院	
	選手　新藤　綾	山陰合同銀行	
	選手　山本　ゆかり	山陰合同銀行	
徳島県	監督　吉岡　努	大塚化学株式会社	
	選手　大阪　あや	関西学院大学	
	選手　小川　静香	株式会社竹中工務店	
	選手　若田　美沙	関西学院大学	
熊本県	監督　吉富　桂子	ルネサスセミコンダクタ九州・山口	
	選手　幡谷　好美	ルネサスセミコンダクタ九州・山口	
	選手　岡　ひとみ	ルネサスセミコンダクタ九州・山口	
	選手　久後　あすみ	ルネサスセミコンダクタ九州・山口	
大分県	監督　吉田　信之	昭和学園高等学校	
	選手　赤尾　美代	ヨネックス株式会社	
	選手　三上　亜希	千葉県協会	
	選手　田村　千秋	専修大学	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　下苧坪　英雄	旭川実業高等学校	
	選手　山本　皓策	札幌第一高等学校	
	選手　高田　憲	旭川実業高等学校	
	選手　渡部　大	旭川実業高等学校	
山形県	監督　神保　一寿	米沢養護学校	
	選手　大山　琢也	山形県立山形南高校	
	選手　菊地　瞭良	山形県立長井工業高校	
	選手　塚本　昌志	山形県立長井工業高校	
福島県	監督　大堀　均	富岡高等学校	
	選手　桃田　賢斗	富岡高等学校	
	選手　松居　圭一郎	富岡高等学校	
	選手　小森　洋佑	富岡高等学校	
埼玉県	監督　大屋　貴司	埼玉栄高等学校	
	選手　和田　治久	埼玉栄高等学校	
	選手　竹内　宏気	埼玉栄高等学校	
	選手　竹内　義憲	埼玉栄高等学校	
千葉県	監督　堀　大孝	中央学院高校	
	選手　高島　祥太	中央学院高校	
	選手　石山　優介	中央学院高校	
	選手　村井　里樹	中央学院高校	
東京都	監督　小林　重徳	関東第一高等学校	
	選手　広瀬　功樹	関東第一高等学校	
	選手　佐々木　崇	関東第一高等学校	
	選手　関口　直挙	関東第一高等学校	
富山県	監督　中田　真琴	高岡第一高等学校	
	選手　村上　慎道	高岡第一高等学校	
	選手　山口　容正	高岡第一高等学校	
	選手　松本　アキラ	高岡第一高等学校	
石川県	監督　水内　浩	金沢市立工業高校	
	選手　吉森　司	金沢市立工業高校	
	選手　南　淳也	金沢市立工業高校	
	選手　荒木　隆宏	金沢市立工業高校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年男子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
愛知県	監督　中根　寿彦	岡崎城西高等学校	
	選手　藤田　康史	岡崎城西高等学校	
	選手　浅井　豪太	岡崎城西高等学校	
	選手　林　昂宏	岡崎城西高等学校	
滋賀県	監督　仲尾　修一	比叡山高等学校	
	選手　三浦　昂	比叡山高等学校	
	選手　藤田　遼	比叡山高等学校	
	選手　河崎　駿輔	比叡山高等学校	
大阪府	監督　有田　圭一	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　相和　勇輝	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　小高　拓也	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　佐野　拓磨	東大阪大学柏原高等学校	
岡山県	監督　松川　大記	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　山下　昂大	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　怒田　裕也	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　渡邊　尊之	岡山県立水島工業高等学校	
山口県	監督　松原　康則	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　保木　紳吾	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　飛高　健太郎	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　瀬島　史也	国立徳山工業高等専門学校	
香川県	監督　林　義隆	高松第一高等学校	
	選手　鎮田　頼宣	高松第一高等学校	
	選手　木村　健太朗	高松第一高等学校	
	選手　山中　一浩	高松第一高等学校	
長崎県	監督　林　貴昭	長崎県立西陵高等学校	
	選手　山口　凌司	長崎県立西陵高等学校	
	選手　髙城　一輝	長崎県立西陵高等学校	
	選手　松村　健太	長崎県立西陵高等学校	
熊本県	監督　権藤　浩二	県立八代東高等学校	
	選手　染木　俊寛	県立八代東高等学校	
	選手　佐々木　豪史	県立八代東高等学校	
	選手　弘中　雅己	県立八代東高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
北海道	監督　横山　匠	札幌静修高等学校	
	選手　庄山　栞	札幌静修高等学校	
	選手　渡辺　梨沙	札幌静修高等学校	
	選手　鈴木　萌	とわの森三愛高等学校	
青森県	監督　藤田　真人	青森山田高等学校	
	選手　田中　志穂	青森山田高等学校	
	選手　市丸　美里	青森山田高等学校	
	選手　福島　由紀	青森山田高等学校	
岩手県	監督　渡邉　清一	花北青雲高等学校	
	選手　上野　美咲	前沢高等学校	
	選手　石畠　由美	花北青雲高等学校	
	選手　田鎖　沙耶	前沢高等学校	
宮城県	監督　田所　光男	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　脇野　利奈	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　今野　あゆみ	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　末松　美聡	聖ウルスラ学院英智高等学校	
福島県	監督　竹俣　洋平	尚志高等学校	
	選手　浦谷　夏未	尚志高等学校	
	選手　髙木　美季	富岡高等学校	
	選手　斎藤　麻彩	尚志高等学校	
茨城県	監督　磯部　和弘	常総学院高等学校	
	選手　水谷　愛美	石岡第一高等学校	
	選手　酒井　愛	常総学院高等学校	
	選手　宮本　万由	常総学院高等学校	
栃木県	監督　遠藤　敦史	作新学院高等学校	
	選手　谷口　友希	作新学院高等学校	
	選手　白井　千都	作新学院高等学校	
	選手　小林　美紀	作新学院高等学校	
埼玉県	監督　大高　史夫	埼玉県立大宮東高等学校	
	選手　中村　梨沙	埼玉栄高等学校	
	選手　小橋　霞	埼玉栄高等学校	
	選手　奥原　希望	埼玉県立大宮東高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
千葉県	監督　高瀬　秀雄	西武台千葉高校	
	選手　横尾　咲希	西武台千葉高校	
	選手　高瀬　秀穂	西武台千葉高校	
	選手　飯高　沙彩	西武台千葉高校	
東京都	監督　大石　宏	日本橋女学館高等学校	
	選手　関根　早織	日本橋女学館高等学校	
	選手　中井川　夏美	日本橋女学館高等学校	
	選手　秋山　薫理	淑徳巣鴨高等学校	
神奈川県	監督　水野　勝美	県立菅高等学校	
	選手　岡田　奏世	藤嶺学園鵠沼高等学校	
	選手　只木　美羽	藤嶺学園鵠沼高等学校	
	選手　小幡　沙希子	藤嶺学園鵠沼高等学校	
新潟県	監督　吉田　亜土夢	私立新潟青陵高等学校	
	選手　村山　果帆	私立新潟青陵高等学校	
	選手　石塚　絵利香	私立新潟青陵高等学校	
	選手　伊藤　友香	県立新発田商業高等学校	
富山県	監督　麦谷　正二	高岡西高等学校	
	選手　髙橋　沙也加	高岡西高等学校	
	選手　古西　佳那子	高岡西高等学校	
	選手　中尾　佳淑	富山商業高等学校	
石川県	監督　車　浩明	金沢向陽高校	
	選手　平野　華梨	金沢向陽高校	
	選手　芝野　真由	金沢向陽高校	
	選手　薛　倩妮	尾山台高校	
愛知県	監督　下込　貞司	岡崎城西高等学校	
	選手　峰　歩美	岡崎城西高等学校	
	選手　與猶　くるみ	岡崎城西高等学校	
	選手　城口　優里花	名古屋経済大学市邨高等学校	
三重県	監督　新門　耕一	暁高等学校	
	選手　成田　渚	暁高等学校	
	選手　平井　陽菜	暁高等学校	
	選手　羽山　未良依	三重県立久居高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
岐阜県	監督　多田隈　尚	西濃信用金庫	
	選手　中村　朱里	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　上野　亜実	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　林　望美	岐阜県立岐阜商業高等学校	
大阪府	監督　藤原　瑛佳	樟蔭東高等学校	
	選手　阪口　智郁	樟蔭東高等学校	
	選手　下田　菜都美	樟蔭東高等学校	
	選手　山崎　絢子	四天王寺高等学校	
兵庫県	監督　寺町　彰浩	園田学園高等学校	
	選手　漆﨑　真子	兵庫県立伊丹北高等学校	
	選手　秋田　楓	兵庫県立伊丹北高等学校	
	選手　杉野　文保	園田学園高等学校	
奈良県	監督　久本　拓哉	奈良県立添上高校	
	選手　山本　由里耶	奈良県立添上高校	
	選手　松岡　志帆	奈良県立添上高校	
	選手　岸田　洋子	奈良市立一条高校	
和歌山県	監督　武野　宗睦	和歌山県立有田中央高等学校	
	選手　伊藤　千明	和歌山県立海南高等学校大成校舎	
	選手　山本　真佑	和歌山県立向陽高等学校	
	選手　川口　法子	和歌山県立耐久高等学校	
鳥取県	監督　清水　隆志	学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校	
	選手　井田　詩織	学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校	
	選手　山本　理香	学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校	
	選手　須﨑　瑠佳	学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校	
島根県	監督　足立　弘健	島根県立松江商業高等学校	
	選手　奥村　綾香	松徳学院高等学校	
	選手　濱崎　真衣	松徳学院高等学校	
	選手　公受　美帆	松徳学院高等学校	
岡山県	監督　尾﨑　勝久	岡山県立倉敷中央高等学校	
	選手　大林　百恵	山陽女子高等学校	
	選手　岡﨑　美樹	岡山県立倉敷中央高等学校	
	選手　池田　美沙紀	岡山県立倉敷中央高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧表

少年女子

都道府県名	監督・選手名	勤務先・学校名	備　考
香川県	監督　岡野　佳浩	香川県立香川中央高等学校	
	選手　柴村　真希	香川県立香川中央高等学校	
	選手　伊澤　紫織	香川県立香川中央高等学校	
	選手　大井　紫伊那	香川県立香川中央高等学校	
徳島県	監督　岡佐古　拓也	城東高等学校	
	選手　前里　愛子	城東高等学校	
	選手　山本　杏子	城東高等学校	
	選手　樫山　実穂	徳島商業高等学校	
愛媛県	監督　出井　康隆	新田高等学校	
	選手　大條　祐佳李	新田高等学校	
	選手　合田　ひかる	新田高等学校	
	選手　矢部　由貴	新田高等学校	
福岡県	監督　目野　俊昭	福岡常葉高等学校	
	選手　俣村　鈴	福岡常葉高等学校	
	選手　広瀬　敦美	九州国際大学付属高等学校	
	選手　近藤　佐希子	福岡常葉高等学校	
長崎県	監督　西山　勝也	長崎県立諫早商業高等学校	
	選手　小森　愛美	長崎女子高等学校	
	選手　田上　菜美子	長崎女子高等学校	
	選手　吉村　裕那	長崎女子高等学校	
熊本県	監督　井村　勝英	八代白百合学園高等学校	
	選手　永田　奈智加	八代白百合学園高等学校	
	選手　深川　碧姫	八代白百合学園高等学校	
	選手　山本　明希歩	熊本中央高等学校	
大分県	監督　吉田　太郎	昭和学園高等学校	
	選手　野口　絵美	昭和学園高等学校	
	選手　福永　彩	昭和学園高等学校	
	選手　森川　聖良	昭和学園高等学校	
沖縄県	監督　真喜屋　篤	沖縄県立糸満高等学校	
	選手　砂川　侑里美	沖縄県立コザ高等学校	
	選手　花城　里奈	沖縄県立コザ高等学校	
	選手　阿次富　晴香	沖縄県立コザ高等学校	

競技成績決定方法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子		
成　年　女　子	成　年　女　子	各種別とも1位２４点、2位２1点、3位1８点、4位１５
少　年　男　子	少　年　女　子	点、5位（4チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。
少　年　女　子		

2　参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に１０点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績(天皇杯)				女子総合成績(皇后杯)				備考
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位	
1	北海道																	
2	青森																	
3	岩手																	
4	宮城																	
5	秋田																	
6	山形																	
7	福島																	
8	茨城																	
9	栃木																	
10	群馬																	
11	埼玉																	
12	千葉																	
13	東京																	
14	神奈川																	
15	山梨																	
16	新潟																	
17	長野																	
18	富山																	
19	石川																	
20	福井																	
21	静岡																	
22	愛知																	
23	三重																	
24	岐阜																	
25	滋賀																	
26	京都																	
27	大阪																	
28	兵庫																	
29	奈良																	
30	和歌山																	
31	鳥取																	
32	島根																	
33	岡山																	
34	広島																	
35	山口																	
36	香川																	
37	徳島																	
38	愛媛																	
39	高知																	
40	福岡																	
41	佐賀																	
42	長崎																	
43	熊本																	
44	大分																	
45	宮崎																	
46	鹿児島																	
47	沖縄																	

過去の成績一覧表

第４回　昭和２４年　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子　単	東京　広田敏秀	北海道　佐藤保	東京　藤井光男
一般男子　複	東京　広田敏秀 藤井光男	神奈川　岡淳一 相馬万吉	北海道　佐藤保 村上三郎
一般女子　単	神奈川　吉田とよ子	愛知　吉沢千里	神奈川　遠藤文子
一般女子　複	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子	神奈川　小林歌子 中村多喜	愛知　吉沢千里 後藤範子

第５回　昭和２５年　愛知県　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川　岡淳一 相馬万吉 大谷直次 松本武道	北海道　佐藤保 村上三郎 葛西英俊 若林守
一般女子	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知　水谷鈴子 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	北海道　伊藤絹代 安藤栄 佐賀信子 片岡京子
高校男子	北海道　石田裕 神山周二 大塚健一 島中貞夫	愛知　石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川　岡道明 村松弘喬 江井実 藤井昂一

第６回　昭和２６年　広島県　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京　広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜　玉越忠治 大竹健司 下野和彦	愛知　藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知　堀江綾子 保田久子 伊与田照子	石川　登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道　伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知　服部興治 野口勇 立松健市	石川　東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜　後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

第７回　昭和２７年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田 敏秀 岡 道明 藤井 昂一 吉原 秀雄	北海道	石田 裕 神山 周二 葛西 英俊 野坂 豊三郎	東京	江井 実 小宮 章敬 山崎 茂 佐藤 芳朗
一般女子	石川	貝原 まさえ 登 悦子 高田 八重子 岩倉 衣絵	東京	田中 知江子 中谷 成子 佐之瀬 教子 小野寺 京子	愛知	堀江 綾子 保田 久子 伊与田 照子 水野 美根子
高校男子	東京	望月 文雄 倉田 一彦 力石 潔 鈴木 隆治	神奈川	新倉 利男 関根 秀司 内藤 広明 伏島 光則	石川	諸江 秀一 井上 晴夫 山本 圭三 上田 稔
高校女子	兵庫	広瀬 延子 西尾 貞子 小笠原 美津子 関 一子	山形	佐藤 照子 五十嵐 弘子 斎藤 久美子 佐藤 明	神奈川	大川 良子 竜野 美代子 藤田 光子 中島 緑

第８回　昭和２８年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田 敏秀 佐治 豊 川崎 順久 杉田 博	東京	藤井 光男 諸江 秀一 相川 十一郎 萩原 誠	岐阜	大竹 健司 松岡 龍三 丹波 哲昭 林 金太郎
一般女子	神奈川	遠藤 文子 小林 歌子 荒川 とみ子 小野 智子	北海道	岡元 弘子 梅津 貴久江 阿部 悦子 荒井 重子	石川	貝原 まさえ 登 悦子 島谷 須磨子 町駒 ヤス子
高校男子	北海道	片石 兼敏 加藤 正則 長谷川 龍男 井桁 啓充	石川	江尻 桂三 辻 貞三 半田外 喜男 岡崎 健一	神奈川	越川 啓 花岡 牧夫 折井 利彦 内藤 弘明
高校女子	宮城	西堀 富美子 谷津 京子 佐藤 範子 松本 幸子	香川	大西 誉子 秋山 武子 真鍋 寿子	神奈川	大川 良子 藤田 光子 竜野 美代子 波多野 澄子

第９回　昭和２９年　北海道　札幌市　（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	岐阜	玉越 忠治 大竹 健司 松岡 龍三	愛知	野口 勇 服部 興治 稲熊 貞夫	富山	清水 正 釣谷 友一 荒木 亥久男
一般女子	宮城	西堀 富美子 佐藤 範子 谷津 京子	石川	登 悦子 貝原 まさえ 澁谷 信	愛知	保田 久子 伊与田 照子 堀江 綾子
高校男子	愛知	豊場 建 御友 昡正 伊藤 雅昭	石川	西村 嘉彦 江尻 桂三 島谷 昇	神奈川	宮沢 健一 伊豆内 宏 渡辺 潔
高校女子	福島	武田 信子 伊藤 桂子 尾形 亨子	岡山	大森 嘉美 友野 文子 三宅 基子	愛知	大沢 節子 大室 久美子 大竹 泰子

第１０回　昭和３０年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀	岐阜	大竹健司	富山	釣谷友一
		杉田博		松岡龍三		荒木亥久男
		岡道明		酒井弘		高木満
一般女子	福島	武田信子	神奈川	荒川とみ子	北海道	梅津貴久江
				小林歌子		阿部悦子
		伊藤桂子		大川良子		下山重子
高校男子	東京	永井栄一	石川	北方匡	山形	生田仁紀
		北島克英		関功		板垣隆房
		小野岡順一		米谷外喜彦		羽角至
高校女子	岡山	友野文子	宮城	佐々木功子	香川	永田豊子
		権田節子		三津節		藤田純代
		三宅基子		菅井静子		藤村怜子

第１１回　昭和３１年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	杉田博	大阪	上田益弘	岡山	毛利清志
		佐藤芳朗		増木節男		前田俊一
		佐藤昌久		武村俊平		石原利道
一般女子	宮城	西堀富美子	岡山	友野文子	兵庫	西尾貞子
		小野寺静江		権田節子		加藤洋子
		佐藤範子		光本政子		金森奎子
高校男子	神奈川	小宮好雄	北海道	四ツ柳邦夫	山形	板垣隆房
		中村智		小田桐正徳		山岸重孝
		齊藤裕之		岩本竜一		鑓水勝志
高校女子	香川	横井キヌエ	岡山	小林桂子	宮城	三浦節
		井上桂子		戸田寿子		沼倉英子
		山下衣子		根岸純		三浦与志子

第１２回　昭和３２年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗	東京	望月文雄	北海道	島中貞夫
		杉田博		力石潔		星野嘉雄
		新倉和男		鈴木峻三		神山周二
一般女子	香川	横井キヌエ	岡山	権田節子	神奈川	大川良子
		井上桂子		光本政子		小林歌子
		山下衣子		小林桂子		石川英子
高校男子	神奈川	小宮好雄	石川	酒井明夫	島根	平野隆
		中村智		村田和男		森脇英裕
		鈴木敏勝		堀知章		富田豊
高校女子	香川	田島外茂子	静岡	掛橋良子	石川	有田順子
		山下久子		西村弘子		長田悠喜子
		宮川ツヤ子		佐野禎子		松田富美子

第１３回　昭和３３年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川	横井キヌエ 山下久子 田島外茂子	神奈川	小林歌子 大川良子 二見文子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形	金森義弘 板垣義憲 小林賢	東京	鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良	森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	石川	山崎紀久子 川節子 竹多光子

第１４回　昭和３４年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川	新田正治 酒井明夫 村田和男	大阪	松王清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川	大川良子 二見文子 椎野みや子	香川	横井キヌエ 山下久子 宮川ツヤ子	富山	大坪愛子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	大阪	佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京	平田登志郎 市川和司 柳田直規
高校男子	宮城	渡部紘一 後藤忠広 甲斐昭宏	北海道	龍瀬康彦 竹中将晃 梅木聡	神奈川	山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	静岡	伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子

第１５回　昭和３５年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川	佐藤芳朗 遠藤啓治 砥石勤	富山	荒木亥久男 扇沢三徳 大野幸雄
一般女子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	秋田	脇坂チエ 木村政子 横山満子	静岡	野村志津江 伊沢利子 志村セツ子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 茂藤寛	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	秋田	宮越竜三 脇坂安隆 鈴木裕司
高校男子	神奈川	岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形	佐藤勝彦 出沢勇男 高橋清一	新潟	阿部孚 笠原淳 伊藤洋祐
高校女子	富山	橘美智子 酒井美智子 平田敦子	香川	横井文子 林信子 森久子	秋田	高橋奉子 石沢七子 長崎文子

第１６回　昭和３６年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 永井栄一 星野忠男	神奈川	佐藤芳朗 岡崎恵三 遠藤啓治	山形	板垣隆房 出沢勇男 北村任
一般女子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子	香川	宮川ツヤ子 福本和子 横井文子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 高橋弘喜
高校男子	新潟	大竹紘一 安沢武司 星野義昭	北海道	中村富光 松浦潔 松本直治	山梨	平田勲 秋山真男 早川博
高校女子	山形	佐藤弘子 小笠原詔子 矢口淳子	静岡	高木紀子 天野博江 影山昭子	秋田	伊藤美津子 横山綾子 大門モモ子

第１７回　昭和３７年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	星野忠男 富田豊 井門鎮雄	神奈川	遠藤啓治 鈴木敏勝 岡崎恵三	愛知	北島克英 小宮好雄 長谷川陽一
一般女子	香川	福本和子 横井文子 森久子	富山	橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 秋山捷彦 岡田敬三郎	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 真崎俊光
高校男子	新潟	本田務 荒川治男 阿野善紀	東京	西野一征 須田孝夫 関一誠	青森	奥谷国昭 長谷川勇 三上義明
高校女子	富山	橘妙子 室崎光子 河村和子	秋田	大塚トシ 大門サヨ子 間瀬幸子	岡山	高塚淳子 重政百代 七村泰子

第１８回　昭和３８年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 稲熊文隆	東京	井門鎮雄 宮永武司 堺栄一	島根	星野忠男 富田豊 山崎春茂
一般女子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	香川	田島外茂子 横井文子 森久子	富山	栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	大阪	大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟	星野義夫 裏田光男 樋口一春	東京	関一誠 中村安 古屋和正	北海道	福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木	前沢和子 松本昭子 小出千代子	新潟	後藤和子 茂沢純子 竹内泰子	北海道	高森幸子 高田裕子 村田泰子

第１９回　昭和３９年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川	新田正治 村田和男 松下力
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜	高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟	鈴木正浩 神田和夫 片山毅	奈良	森芳夫 橋本修 真壁年一	富山	立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木	植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田	佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮永武司 田上十六	香川	東条義昭 山口立朗 牟礼顕
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道	杉田茂良 笹森剛 中嶋弘志	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良	真壁年一 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪	近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜	高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木	上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	長谷川敏彦 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分	宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	石川	河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山	三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣 奥田良秋	宮城	我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川	西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山	湯木博江 浦口恵子 佐藤民子

第２２回　昭和４２年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川	小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京	堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川	有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜	高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山	清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	宮城	加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山	米田実 松島保 谷口寛	奈良	滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城	門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟	相沢マチ子 金子美和子 高坂薫	香川	小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木	田仲美津江 枝加代子 印波和子

第２３回　昭和４３年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川	小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京	高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本	南直治 工藤勇参 芦原健身	石川	北方匡 村西一 原栄一	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	二上敏博 草島正治 布目茂	山形	遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜	岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪	平山泰子 柴山きよ子 高崎弘子	香川	宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟	堀川栄美子 竹中礼子 大竹由里子

第２４回　昭和４４年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京	高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都	永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川	北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟	本間享 小泉司 九原正敏	群馬	内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良	菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪	柴山きよ子 高崎弘子 大場照美	岐阜	及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木	望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第２５回　昭和４５年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京	池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟	竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜	高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木	松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手	佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川	北方匡 原栄一 松本忠之	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良	巽康司 竹内真 西川繁美	石川	銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手	高橋信夫 佐藤壮 佐藤吉雄
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木	小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川	川東秀美 森清美 田所静子

第２６回　昭和４６年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜	森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟	鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川	杉田良子 味蓼とも子 秋山陽子	北海道	田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀	久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山	森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本	本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟	土田征雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山	山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良	西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島	千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山	林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第２７回　昭和４７年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京	鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京	湯木博江 竹中悦子 石崎茂子	愛知	橋本香代 池田静江 富居康子	香川	小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山	森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木	別井晃 斉藤佶 森田昇	石川	北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良	中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川	原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜	古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪	秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形	矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第２８回　昭和４８年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京 関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知 本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京 湯木博江 相沢マチ子 竹中悦子	香川 森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜 天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀 藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川 原栄一 長谷川進 和田修	山形 永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山 西村正美 梶川博之 上治雄	福島 寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良 池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪 高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉 山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形 堀田正子 清水礼子 福原友子

第２９回　昭和４９年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
一般男子	東京 池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知 松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京 石崎茂子 今田眞知子 柴山きよ子	香川 田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道 田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山 門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川 原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城 佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形 米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良 塚本良一 小倉久和 村田信博	福井 長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟 関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川 牛田真由美 片山千英子 渡辺幸子	大阪 植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第３０回　昭和５０年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位	2位	3位
成年男子	一般	神奈川 小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京 池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山 河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川 原栄一 長谷川進 和田修	群馬 今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城 渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京 湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川 川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山 石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良 吉岡伸浩 冨田章夫 田島裕司	石川 宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城 橘川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪 植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重 谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川 前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第３１回　昭和５１年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山	今泉勉 河村博之 米沢和男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京	湯木博恵 石崎茂子 今田眞知子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川	重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀	北橋進 西山博司 西堀武	香川	平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪	石川好子 平久美子 河村茂美	新潟	青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京	徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第３２回　昭和５２年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	埼玉	尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	神奈川	小島一平 笠井教行 辻敏弘
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀	西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木	角田光永 久郷俊明 関根忠	青森	丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪	平久美子 河村茂美 原口恵子	高知	浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森	葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第３３回　昭和５３年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟	棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬	今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本	工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪	谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡	桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木	沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本	本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形	桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀	保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟	月岡広美 中沢一枝 斎藤優子	栃木	上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪	合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第３４回　昭和５４年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 織本富之	神奈川	小島一平 高橋清 菅敏明	北海道	遠藤好男 木村敏男 久原正敏
成年男子	教員	石川	長谷川進 和田修 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	滋賀	藤原健二 藤上良信 脇坂重之
成年女子		栃木	日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	大阪	東海林文子 葛西明子 原口恵子	香川	平井佐代子 山田高子 前川加代子
少年男子		熊本	権藤浩二 村上英介 井上哲章	香川	岡野佳浩 小西太 竹田佳史	栃木	馬場良浩 小野口正 大島正志
少年女子		大阪	北田スミ子 植田日出子 冨田美千代	新潟	藤井直子 遠藤えり子 富岡栄子	熊本	川添安代 高峯和子 陣内貴美子

第３５回　昭和５５年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 二上敏博	石川	長谷川進 舛田吉光 堂谷内均	神奈川	小島一平 池田隆治 菅敏明
成年女子	東京	端洋護 渡辺多喜子 高岸陽子	滋賀	谷美津代 若村弥生 阪口典子	愛知	小松澄子 渡辺喜美 柳田智佳子
少年男子	滋賀	山本裕幸 竹端英夫 松浦進二	栃木	大島正志 大堀円 戸村正樹	熊本	井上哲章 伊東幸男 福田和幸
少年女子	熊本	高峯和子 陣内貴美子 森山弘美	大阪	松田全代 新木千織 尾崎升美	新潟	野上満子 山内美子 山田登美子

第３６回　昭和５６年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 林加永	青森	佐藤光伸 須藤茂 村元英美	群馬	今井勇司 秋庭克行 鏑木智博
成年女子	東京	湯木博恵 高岸陽子 月岡広美	滋賀	谷美津代 西村美千代 磯野恵理子	大阪	河村茂美 平久美子 葛西明子
少年男子	滋賀	松浦進二 片岡泰 辻田泰昌	山梨	松野修二 宮健次 宮康二	石川	羽田義仁 村松博 宮本照啓
少年女子	熊本	陣内貴美子 高峯尚子 森山弘美	香川	山内佳子 佃貴子 永井明美	新潟	山内美子 石崎咲知子 本田佳代子

第３７回　昭和５７年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	群馬 今井勇司 鏑木智博 秋庭克行	富山 今泉勉 米沢和男 米正隆	北海道 遠藤好男 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	岡山 河本小織 高田幹子 小寺裕美	大阪 河村茂美 平久美子 国奥美智子	静岡 山本美津子 川島直子 原田純子
少年男子	滋賀 西川勉 辻田泰昌 杉本吉男	石川 山尾克則 岡島浩一 羽田憲治	埼玉 長内征美 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	大阪 松田太嘉子 石井香澄 鴻原春美	熊本 森山弘美 高峯尚子 青木きよみ	栃木 三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗

第３８回　昭和５８年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	新潟 鈴木裕 山下圭一 飯塚芳英	静岡 後藤和之 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	岡山 河本小織 高田幹子 中原裕美	静岡 川島直子 白松千加子 原田純子	東京 枝美代子 月岡広美 高峯尚子
少年男子	熊本 川本英明 林謙一 三次英昭	兵庫 佐藤浩 松本泰典 村山喜洋	奈良 見市昌弘 小野満哲 村山友二
少年女子	大阪 鴻原春美 新木貴子 宮崎正美	熊本 上村美香 平井真由美 青木きよみ	新潟 原田真理恵 本田みどり 川野名智美

第３９回　昭和５９年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 工士恭司 江藤正治 権藤浩二	群馬 今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	奈良 辻敏弘 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	大阪 葛西明子 星和枝 平山美恵子	石川 伊東ひとみ 小野順子 小路和代	東京 枝美代子 森山弘美 三田知佳子
少年男子	滋賀 江藤裕樹 中川健 中川康	富山 平井保光 中嶋正男 室田繁行	埼玉 松元功一 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	大阪 新木貴子 今村薫 山田陽子	新潟 若井郁子 小池由扶子 青戸香織	青森 徳光由美子 谷地春子 西田美知子

第４０回　昭和６０年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	工士恭司 熊本 権藤浩二 堺圭一	今井勇司 群馬 栗原恒夫 竹内康夫	坂本宏志 愛知 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	月岡広美 新潟 野上満子 山内美子	高峯和子 大阪 星和枝 平山美恵子	東海林文子 山形 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	生井沢勝美 埼玉 菊地修 石橋隆	気谷篤人 石川 山本明彦 中川守	浜北和彦 熊本 中村徳祐 小本義久
少年女子	田島志乃 熊本 田代美智世 松尾知美	小池由扶子 新潟 青戸香織 棒匡子	横手智江美 青森 平間由紀 乳井智秋

第４１回　昭和６１年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	山本裕幸 山梨 松野修二 宮健次	森下一夫 大阪 谷田尚嗣 保科正浩	工士恭司 熊本 権藤浩二 堺圭一
成年女子	月岡広美 新潟 野上満子 山内美子	今川真理子 富山 大谷鶴美 田向和子	高田幹子 山梨 野口英代 清藤和
少年男子	久住猛 熊本 畑野宏幸 本山秀昭	内田高史 山梨 輿石努 岩佐延寿	吉田直樹 富山 越田芳成 城木夢高
少年女子	田村富士美 福岡 田島由美 間庭由美	松尾知美 熊本 毛利千秋 渡辺喜美子	秋元美佐緒 埼玉 太田悦子 清水由紀子

第４２回　昭和６２年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	蘭和真 岐阜 木内広史 横尾宣幸	栗原恒夫 群馬 竹内康夫 片桐哲也	工士恭司 熊本 権藤浩二 堺圭一
成年女子	今川真理子 富山 大谷鶴美 伏喜由美子	宮本美津子 愛知 大屋幸恵 松本清美	彼島佳子 石川 小路和代 水本幸代
少年男子	鈴木草麻生 滋賀 平井肇 小河原崇	本山秀昭 熊本 高村誠也 廣龍宗美	関根英勝 埼玉 石井隆 鈴木秀二
少年女子	中原敬子 熊本 甲斐美和 宮村愛子	南里高子 大阪 岩田良子 水井妃佐子	棒匡子 新潟 高橋朱美 加賀ゆかり

第４３回　昭和６３年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男	群馬 鏑木智博 竹内康夫 片桐哲也
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	大阪 今村薫 田代美智世 磯崎照枝	愛知 大屋幸恵 丑田明子 佐々恵理
少年男子	埼玉 大谷知昌 内村剛 須賀隆弘	北海道 工藤忠和 藤本謙治 村井秀樹	滋賀 平井肇 小河原崇 中橋一晃
少年女子	大阪 岩田良子 水井妃佐子 新木美志子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	宮城 立花久枝 矢野直子 伏見亜古

第４４回　平成元年　はまなす国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	北海道 伊藤雅弘 山尾克則 角谷淳一	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男
成年女子	群馬 野口英代 中島真美 藤岡美智子	大阪 今村薫 奥山保子 秋元美佐緒	東京 都木弘美 毛利千秋 星野実智代
少年男子	北海道 佐藤嘉伸 郷路一郎 古川英樹	埼玉 片山卓哉 久保田雄三 関根靖則	熊本 田上厚志 本田和裕 霜上和宏
少年女子	熊本 宮村愛子 松田治子 阪本雅子	大阪 水井妃佐子 利川三貴 坂田美佐	佐賀 庄島由美子 寺尾美紀 篠原久子

第４５回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	三重 福田実 中川健 常山兼二	大阪 辻田泰昌 奥野勉 早戸敬雄	福岡 荒木秀文 中村正巳 石井正行
成年女子	福岡 清水尚美 田村富士美 田頭美奈子	静岡 金丸陽子 横手智江美 山田美紀	大阪 今村薫 奥山保子 三ツ川貴子
少年男子	大阪 岸田明宏 上瀧賢二 片岡詔市郎	熊本 本田和裕 岡部英朗 前田尚文	埼玉 関根靖則 高橋真 増田直樹
少年女子	埼玉 井田貴子 青木由美子 浜崎忍	大阪 松田洋子 杉田暢子 大田貴子	佐賀 寺尾美紀 篠原久子 鬼塚知美

第４６回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	三重	中川　健 常山兼二 山内一志	大阪	辻田泰昌 奥野　勉 早戸敬雄	石川	毛利達彦 羽田義仁 崎田健一
成年女子	東京	田児よし子 都木弘美 立花久枝	神奈川	青戸香織 森　真由美 加賀ゆかり	石川	小泉陽子 上浜陽子 中尾仁美
少年男子	千葉	太田慎二 石橋秀法 佐藤裕二	埼玉	増田直樹 高橋　真 加賀谷　洋	石川	青木　康 竹鼻拓也 石本明男
少年女子	宮城	橋本淳子 山田裕美 貴田　泉	群馬	高野八重 丹野恭子 田部井美奈	石川	津田藍子 安田香奈 丸山実支子

第４７回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	大阪	辻田泰昌 今井彰宏 鈴木草麻生	山形	西山博司 渡辺清一 寺島剛志	北海道	角谷淳一 工藤忠和 古川英樹
成年女子	富山	大堀麻紀 佐々木　忍 野々村美春	熊本	林　美希 田畑美香 上田純子	東京	田児よし子 岡山登紀子 立花久枝
少年男子	群馬	高橋幸治 横山秀之 坂入秀貴	茨城	成島瑞穂 樋渡順也 矢部正博	熊本	片岡直茂 花田政文 野田亮介
少年女子	大阪	大田貴子 水井泰子 川口桐香	埼玉	小室恭子 伊藤さおり 浅井康代	熊本	宮村亜貴子 村上直美 伊藤真由美

第４８回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	高橋英治 峯岸康史 須賀隆弘	大阪	谷田尚嗣 植村昭彦 常山兼二	三重	中川　健 磯部昌弘 吉田義利
成年女子	大阪	西田美由紀 村上直美 大田貴子	熊本	林　美希 田畑美香 上田純子	香川	中尾仁美 川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	茨城	樋渡順也 矢部正博 大橋雅道	千葉	田中肇一 池田哲徳 小倉伸彦	北海道	井野嘉久 一宮孝一 馬木智一
少年女子	大阪	水井泰子 川口桐香 鬼池めぐみ	北海道	増茂孝枝 中山智香子 田村裕美	富山	山田潤子 進藤範子 山田青子

第４９回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	須賀隆弘 東京　片山卓哉 久保田雄三	辻田泰昌 大阪　今井彰宏 植村昭彦	気谷篤人 富山　岩渕公一 本山秀昭
成年女子	松尾知美 東京　道上彰子 阪本雅子	佐々木忍 富山　渡辺真由美 高野八重	竹野景子 新潟　遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	酒井将之 滋賀　諏訪良人 松本徹	一宮孝一 北海道　馬木智一 今西隆浩	津田光一郎 石川　奥森正志 舛田圭太
少年女子	福島由佳 大阪　鬼池めぐみ 市橋美紀	長谷部裕子 福岡　吉富明子 吉武由加里	中麻依子 群馬　岡田真紀 亀山貴代

第５０回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	柳谷辰哉 福島　大堀均 平野泰宏	気谷篤人 富山　本山秀昭 本田和裕	常山兼二 大阪　渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	棒匡子 福島　大堀麻紀 寺尾美紀	中山智香子 大阪　増茂孝枝 田中美保	佐々木忍 富山　松田治子 高野八重
少年男子	松本徹 滋賀　向裕樹 川口馨士	渡部訓生 福島　沈逸文 竹俣洋平	徳坂渉 石川　栄代正男 舛田圭太
少年女子	中島珠美 石川　片糸由希子 堀哲子	山田青子 富山　石橋陽子 加藤真知子	吉富明子 福岡　大石瞳 稗田華子

第５１回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	今井彰宏 富山　谷内貴昭 本田和裕	霜上和宏 熊本　花田政文 福田茂	村井秀樹 北海道　佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	河口奈緒美 富山　明石由美 市橋理恵	竹野景子 新潟　斎藤かおり 住矢直美	福井奈美 広島　吉川愛 渡辺夕子
少年男子	舛田圭太 石川　車浩明 酒井忠相	小吹公彦 埼玉　中西洋介 長嶺宙	大束忠司 熊本　木下伸介 二瓶良
少年女子	井川里美 埼玉　岩脇史 李荔	杉浦美幸 熊本　永峰弘子 橋本純子	吉岡知香 大阪　鄭有琁 安城美華

第５２回　平成９年　なみはや国体　大阪府　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	兒嶋　昇 町田文彦 須賀隆弘 久保田雄三	大阪	松井峰生 常山兼二 植村昭彦 岸田明宏	福岡	森　裁美 清水文武 棟居秀行 五十嵐一智
成年女子	大阪	宮崎克巳 井田貴子 中山智香子 増茂孝枝	奈良	谷口　章 水井妃佐子 水井泰子 渡辺未奈子	富山	河合昭博 高野八重 河口奈緒美 市橋美紀
少年男子	大阪	和田泰寛 仲尾修一 永谷和也 福川和也	熊本	権藤浩二 瓶　良 大束真也 中村寿史	石川	彼島重範 車　浩明 酒井忠相 茶谷徳靖
少年女子	福岡	樽野智子 森　かおり 中内景子 三好奈緒	石川	和田　修 田井美幸 舛田　恵 田村恵理	大阪	西上正一美 福永麻美華 安城美華子 速水永子

第５３回　平成１０年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ体育会館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 鈴木草麻生 今井紀夫 大山宏司	東京	兒嶋　昇 町田文彦 須賀隆弘 渡辺清一	大阪	松井峰生 岸田明宏 松井　充 川口馨士
成年女子	奈良	谷口　章 水井泰子 松田治子 市橋理恵	茨城	磯部和弘 米倉加奈子 大坂千尋 岩松絵理子	富山	河合昭博 高野八重 河口奈緒美 明石由美
少年男子	熊本	権藤浩二 大束真也 中村寿史 茂見祥平	埼玉	関根務 橋村竜彦 平山政史 川崎和宗	石川	彼島重範 酒井忠相 茶谷徳靖 山下淳
少年女子	福岡	樽野智子 中内景子 藤本乃恵 松尾美穂子	大分	吉田信之 末綱聡子 赤尾美代 赤尾亜希	埼玉	加藤　勝 大熊倫子 山口絵美 謝　婷婷

第５４回　平成１１年　くまもと未来国体　熊本県　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	石黒之武久 霜上和宏 花田政文 大束忠司	富山	今泉　勉 今井紀夫 大山宏司 吉川大助	神奈川	石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	大阪	宮崎克巳 鬼池めぐみ 森　かおり 関本祥子	茨城	大塚三佳 米倉加奈子 中島暁子 大坂千尋	富山	河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京	渋谷　実 安村康介 佐藤翔治 佐々木　翔	熊本	権藤浩二 茂見祥平 池田礼緒奈 土田真義	香川	岡野佳浩敬 二宮和丈博 前田丈博 木場喬
少年女子	福岡	明神憲一 松尾美穂子 藤本乃恵 脇坂　郁	熊本	伊東幸雄 田上千晴 松本舞子 野口理加	埼玉	中島正敏 陳　暁娜 大下詩織 広岡まり香

第５５回　平成１２年　２０００年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 谷内貴昭 大山宏司	熊本 村中陽介 花田政文 田上良治 古井博高	神奈川 石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城 下鳥洋樹 米倉加奈子 長縄美佳子 岩松絵理子	大阪 喜多努 関本祥子 田上千晴 西宏予	富山 河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京 渋谷実 佐藤翔治 佐々木翔 池田雄一	富山 山形英明 川口佳介 米隆夫 劉志遠	北海道 井口一司 早坂幸平 石田圭大 竹村純
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 楊藹琳	富山 麦谷正二 田村美幸 今井幸代 劉晶	長崎 春野良三 松田友美 西山真鯉子 宇津早也香

第５６回　平成１３年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 吉川大助太 舛田圭太 大東忠司	熊本 村中陽介 古井博高文 花田政文 田上良治	埼玉 中條彪 中村憲尚 福井剛士 加賀谷洋
成年女子	千葉 中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	茨城 小島一夫 松浦裕子 正木真澄 梅津知恵	富山 河合昭博子 山田潤幸 田村美佳 佐伯知佳
少年男子	東京 渋谷実 山浦尚仁一士 池田雄慎 新開慎	埼玉 大屋貴司伸 斉藤元史 堤敦也 井上知	青森 戸祭潤生 岩脇峰博 長原克平 鈕佳
少年女子	青森 髙屋仁 楊藹琳 廣瀬栄理子 今別府靖代	富山 中田庄二 佐伯美沙都 劉晶 今井幸代	大分 吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻衣子

第５７回　平成１４年　よさこい高知国体　高知県　南国市立ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 今井紀夫 舛田圭太 大東忠司	北海道 古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪 渡辺哲義 川口馨士 一宮孝一 谷内貴昭
成年女子	千葉 中村新一 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	東京 落合久夫 岩田良子 米倉加奈子 田井美幸
少年男子	東京 渋谷実 池田雄一士 新開慎 高木洋平	埼玉 大屋貴司 井上山駿 秋知也祐 新井克巳	滋賀 藤上良信 山口公洋 数野健太 早川賢一
少年女子	青森 髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 小柳知子	岐阜 尾藤伸治 脇田侑 後藤舞佳 林裕	宮城 常田貴裕 田嶋朝美 平山優 松村咲希

第５８回　平成１５年　ＮＥＷ!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 兒嶋　昇 久保田雄三 片山卓哉 清水　裕	岡山 藤原道弘 松川大記 尾崎勝久 佐伯浩一	宮城 原田利雄 草井　篤 山下洋平 鈴木知道
成年女子	千葉 中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	熊本 今井彰宏 末綱聡子 中内景子 今井幸代
少年男子	滋賀 藤上良信 数野健太 早川賢一 早崎修平	東京 小林重徳 高木洋平 堀川善生 林　森	埼玉 大屋貴司 中尾祐介 黒田俊明 宗形俊克
少年女子	宮城 常田貴裕 平山　優 松村咲希 麻植まさよ	青森 髙屋　仁 小柳知子 藤澤美佑紀 今別府香里	熊本 工藤勇参 吉村征美 前田美順 岡　ひとみ

第５９回　平成１６年　彩の国まごころ国体　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉 中條　彪 山田英孝士 福井剛士 中西洋介	北海道 小倉隆司 松本　章 竹村純博 長原正博
成年女子	熊本 今井彰宏 末綱聡子 幡谷好美 前田美順	宮城 山並正人 小川尚子 長縄美佳子 平山　優	東京 岩田良子 田井美幸 媚山映里 今別府靖代
少年男子	東京 渋谷　実生 藤田真生 堀川善生 高階知也	埼玉 帰山好和 遠藤大由 山田和司 小松谷　輝	滋賀 藤上良信 早川賢一 早崎修平 川下剛士
少年女子	青森 髙屋　仁 今別府香里 本間ちさと 藤井瑞希	埼玉 名倉康弘 高橋沙織 井上春奈 李　舒静	宮城 常田貴裕 松村咲希 麻植まさよ 大阪あや

第６０回　平成１７年　晴れの国おかやま国体　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 荒木　純 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉 中條　彪 山田英孝士 福井剛士 中西洋介	東京 町田文彦 松本　徹 川口馨士 清水　裕
成年女子	岐阜 尾藤伸治 後藤　愛侑 脇田吉村征美	熊本 今井彰宏 末綱聡子 今井幸代 前田美順	大阪 谷内貴昭 脇坂　郁 多谷郁恵 今別府香里
少年男子	埼玉 大屋貴司 林　純司 三橋智希 上田拓馬	岡山 西崎文貴 佐伯祐行 三宅達也 米元優樹	滋賀 藤上良信 早崎修平 田中昭太 川下剛士
少年女子	青森 髙屋　仁 本間ちさと 藤井瑞希 垣岩令佳	埼玉 田部井秀郎 井上春奈 富永翔子 作山智美	石川 車　浩明 浜中麻亜子 樽野　恵 南出なつき

第６１回　平成１８年　のじぎく兵庫国体　兵庫県　宝塚市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 今泉　勉 舛田　圭太 大東　忠司 劉　志遠	埼玉 中條　彪 仲尾　修一 井上　知也 山田　和司	秋田 鈴木　理之 佐々木　翔 西浦　和広 鈕　佳平
成年女子	埼玉 小室　恭子 岩脇　史子 大熊　倫香 広岡　まり	熊本 今井　彰宏 幡谷　好美 今井　幸代 岡　ひとみ	岐阜 尾藤　伸治 後藤　愛侑 脇田　侑美 吉村　征美
少年男子	埼玉 大屋　貴司 上田　拓馬 田児　賢一 佐々木　啓	福井 木戸口　元 松川　直弘 笹木　里司 川村　勝平	熊本 権藤　浩二 武山　修三 嘉村　健士 園田　啓悟
少年女子	石川 車　浩明 樽野　恵菜 木村　唯き 南出　さ	青森 藤田　真人 藤井　瑞希 佐々木　理恵 垣岩　令佳	埼玉 田部井　秀郎 大森　舞 三木　佑里子 中森　理紗

第６２回　平成１９年　秋田わか杉国体　秋田県　美郷総合体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	秋田 鈴木　理之 佐々木　翔 菅野　俊助 鈕　佳平	富山 今泉　勉 平田　典靖 劉　志遠 菊田　健一	滋賀 酒井　良之 数野　健太 早川　賢一 早崎　修平
成年女子	石川 和田　修幸 田井　美知恵 梅津　恵 樽野	秋田 鈴木　康修 三好　奈緒子 金上　路 下﨑　彩	神奈川 鶴見　和彦 坂田　雅美 伊東　可奈 内藤　真実
少年男子	埼玉 大屋　貴司 松丸　輝一 田児　賢一 和田　周	熊本 権藤　浩二 嘉村　健士 園田　啓悟 今給黎　将之	福井 木戸口　元輝 松浦　正将 千京　尚将 坂井　哲也
少年女子	青森 藤田　真人 垣岩　令佳 内井　快枝 橋本　由衣	石川 車　浩明 桜井　みどり 村上　彩 三谷　美菜津	福岡 明神　憲一 栗原　文音 植田　悠 古賀　さやみ

第６３回　平成２０年　チャレンジ！おおいた国体　大分県　日田市総合体育館
（総合優勝　東京都・熊本県・富山県・青森県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	富山 荒木　純 平田　典靖 劉　志遠 古財　和輝	東京 笹林　義春 早坂　幸平 廣部　好輝 岩脇　峰生	埼玉 中西　洋介 井上　知也 上田　拓馬 松丸　一輝
成年女子	熊本 今井　彰宏 幡谷　好美 藤井　瑞希 垣岩　令佳	秋田 原田　利雄 三好　奈緒子 金上　路子 楠瀬　由佳	東京 栂野尾　昌一 今別府　靖代 伊東　可奈 野尻野　匡世
少年男子	福岡 北島　義浩 末松　純二 北野　拓 原田　和憲	滋賀 藤上　良信 矢部　拓也 村上　俊 宇野　賢人	青森 戸祭　潤 北島　翼 吉田　尚弘 櫻庭　弘貴
少年女子	宮城 田所　光男 高橋　礼華 佐藤　冴香 松友　美佐紀	青森 藤田　真人 橋本　由衣 米元　小春 佐藤　楓	大阪 谷田　尚嗣 西　友理 久後　あすみ 福万　尚子

第６４回　平成２１年　トキめき新潟国体　新潟県　五泉市総合会館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	東京 笹林義春 廣部好輝 岩脇峰生 山田和司	熊本 村中陽介 武山修三 園田啓悟 嘉村健士	宮城 草井篤 菊田健一 佐藤黎 木戸道治
成年女子	岐阜 山田青子 後藤愛 脇田侑 江藤理恵	秋田 原田利雄 金上路子 三好奈緒 楠瀬由佳	大阪 谷内貴昭 森かおり 今別府香里 関谷真由
少年男子	埼玉 大屋貴司 星野翔平 小林晃 長谷川達也	熊本 権藤浩二 嘉村昌俊 坂中賢太 平山涼介	東京 小林重徳 間瀬俊介 高岡透平 鄭圭介
少年女子	青森 藤田真人 佐藤楓 田中志穂 市丸美里	石川 車浩明 三谷美菜津 平野華梨 三納英莉佳	富山 麦谷正二 古西佳那子 髙橋沙也加 中尾佳淑

第６５回　平成２２年　ゆめ半島千葉国体　千葉県　野田市関宿総合公園体育館、野田市総合公園体育館（総合優勝　　）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

競　技　記　録

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

——D——

——S——

（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）……
（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）
（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

——D——

——S——

（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）……
（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）
（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）

種　　別＿＿＿＿＿＿

試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）

——D——

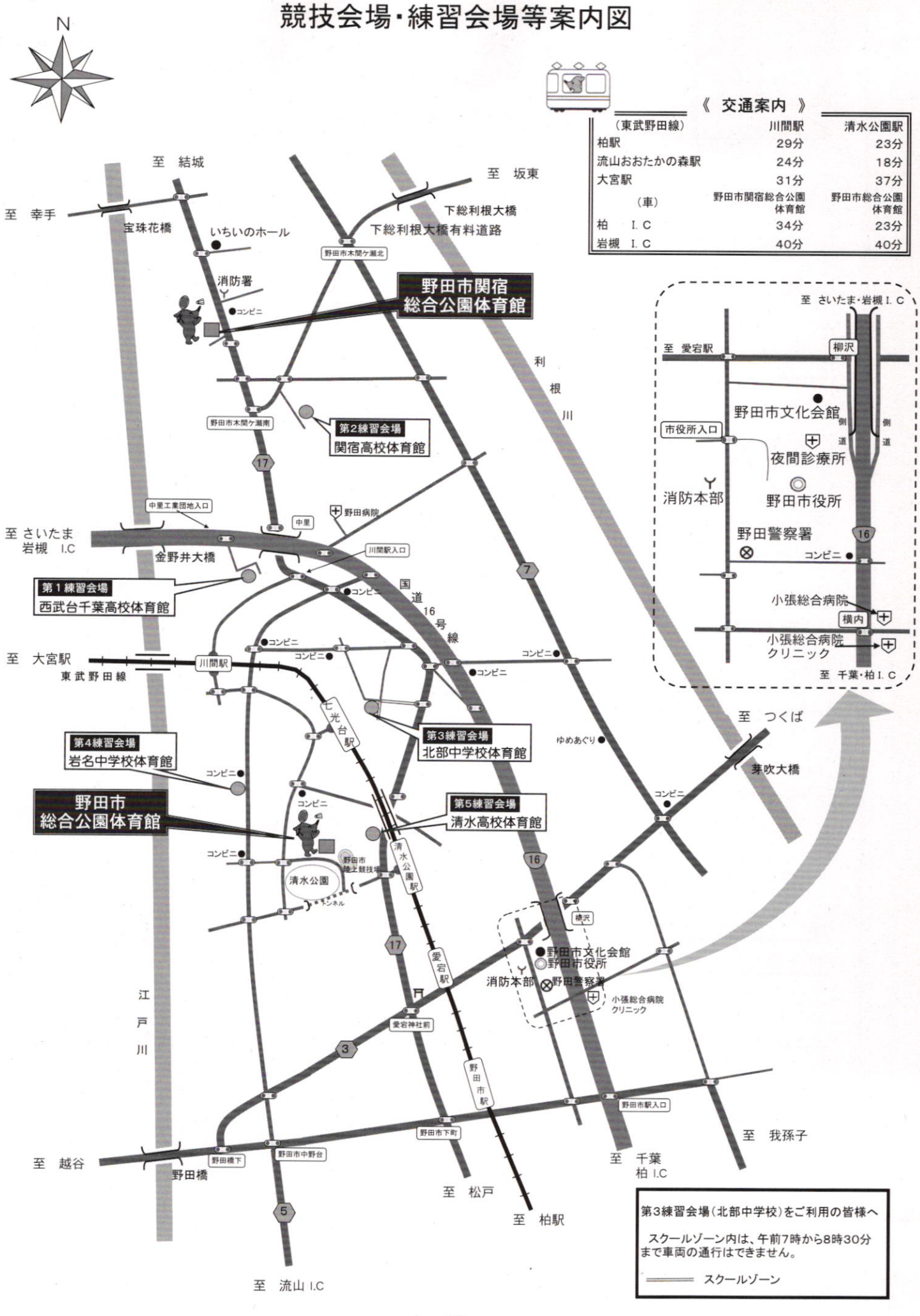
——S——

（　　）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

……（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）……
（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）
（　　）	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿	（　　）

競技会場・練習会場等案内図



第3練習会場（北部中学校）をご利用の皆様へ

スクールゾーン内は、午前7時から8時30分まで車両の通行はできません。

スクールゾーン

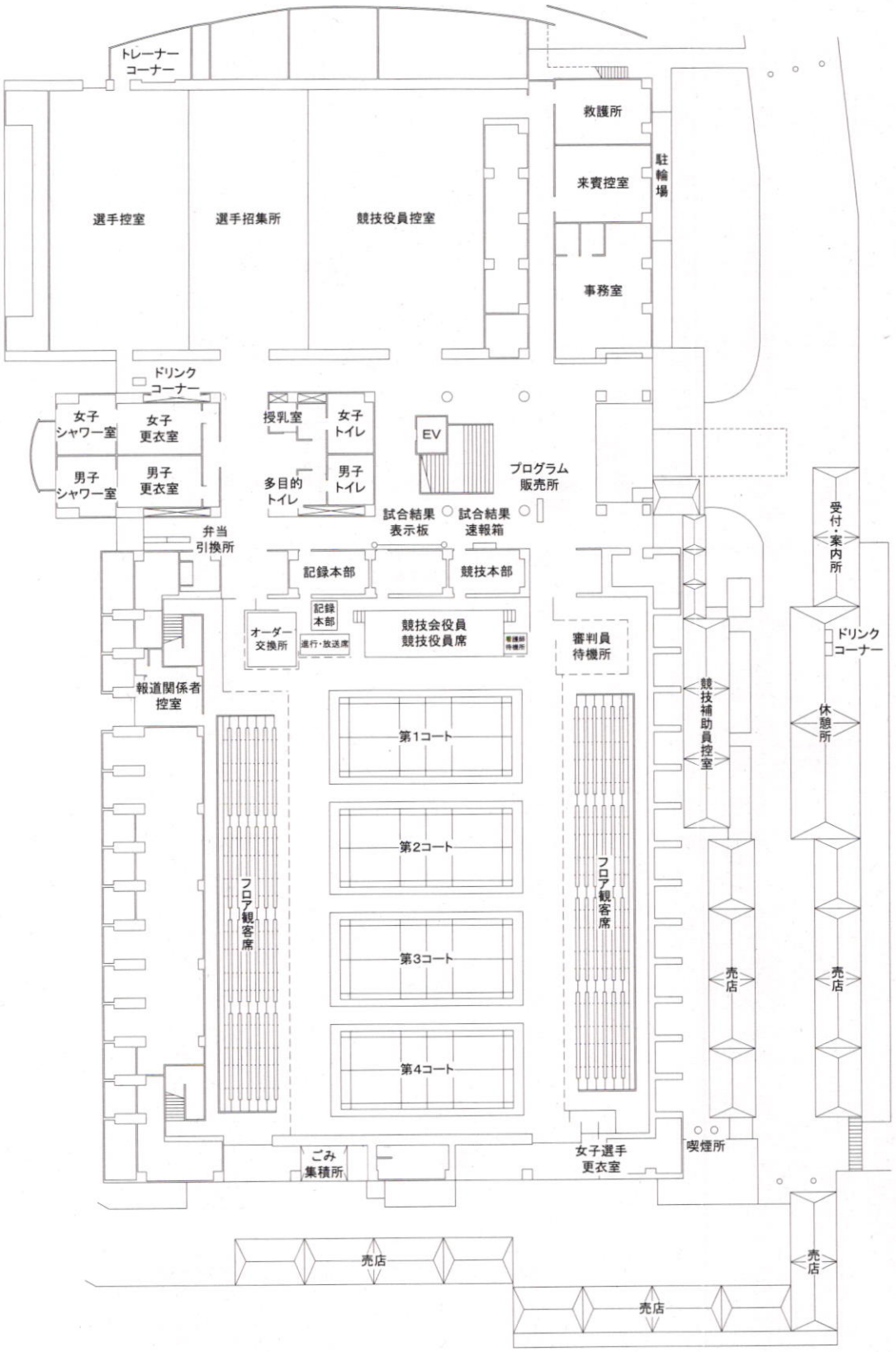
競技会場周辺配置図（野田市関宿総合公園体育館）



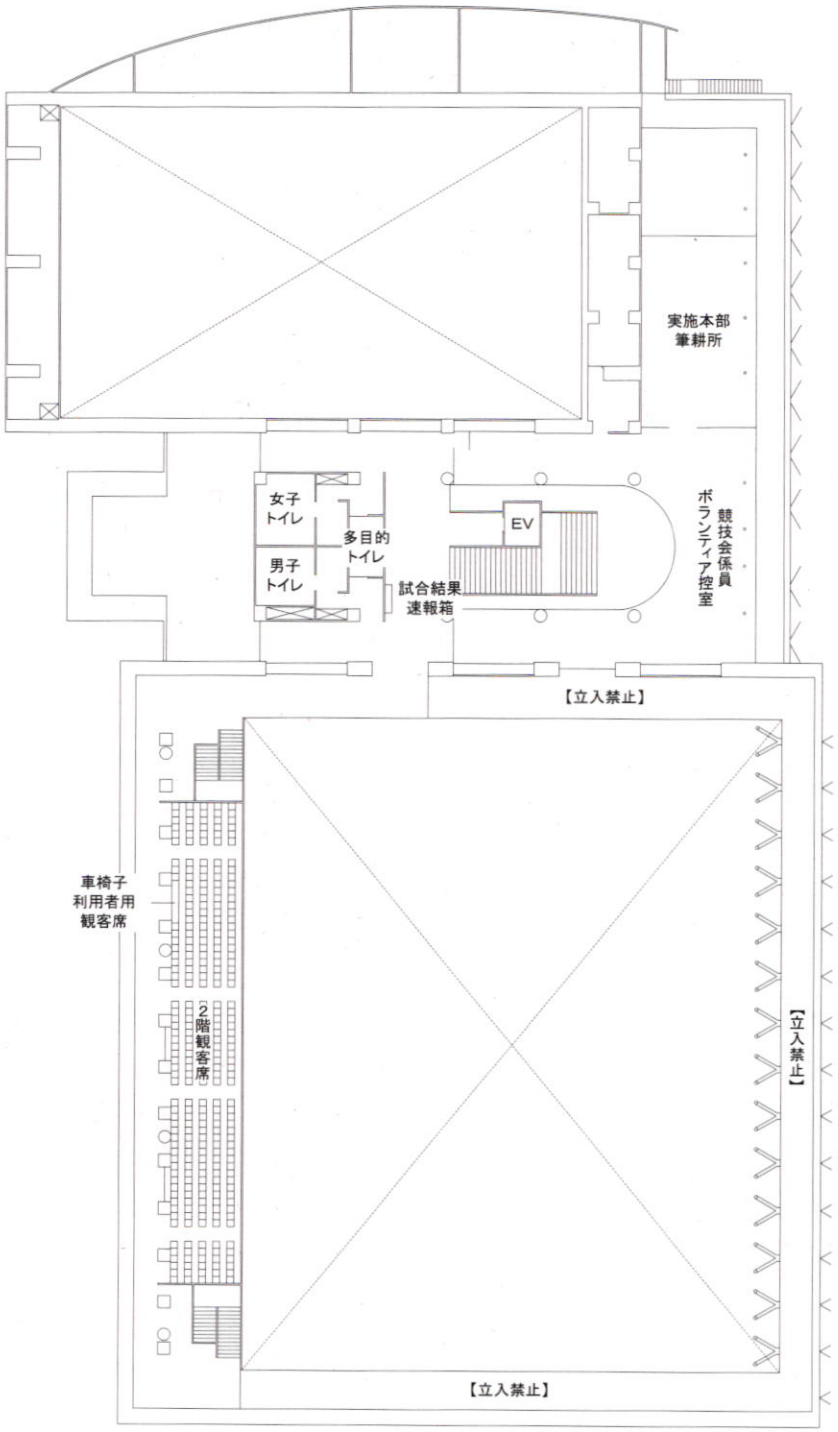
競技会場周辺配置図（野田市総合公園体育館）



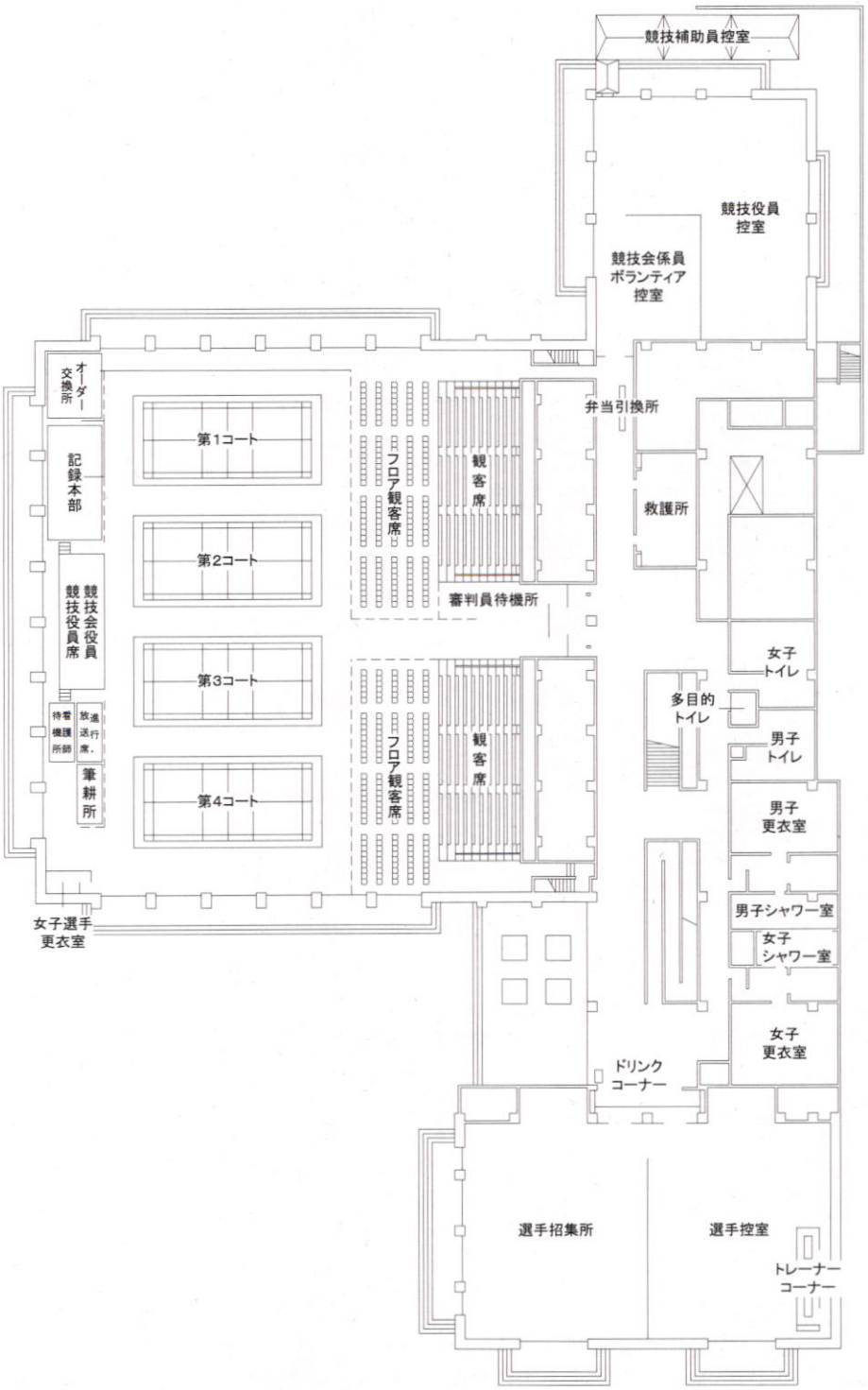
競技会場配置図（野田市関宿総合公園体育館1階）



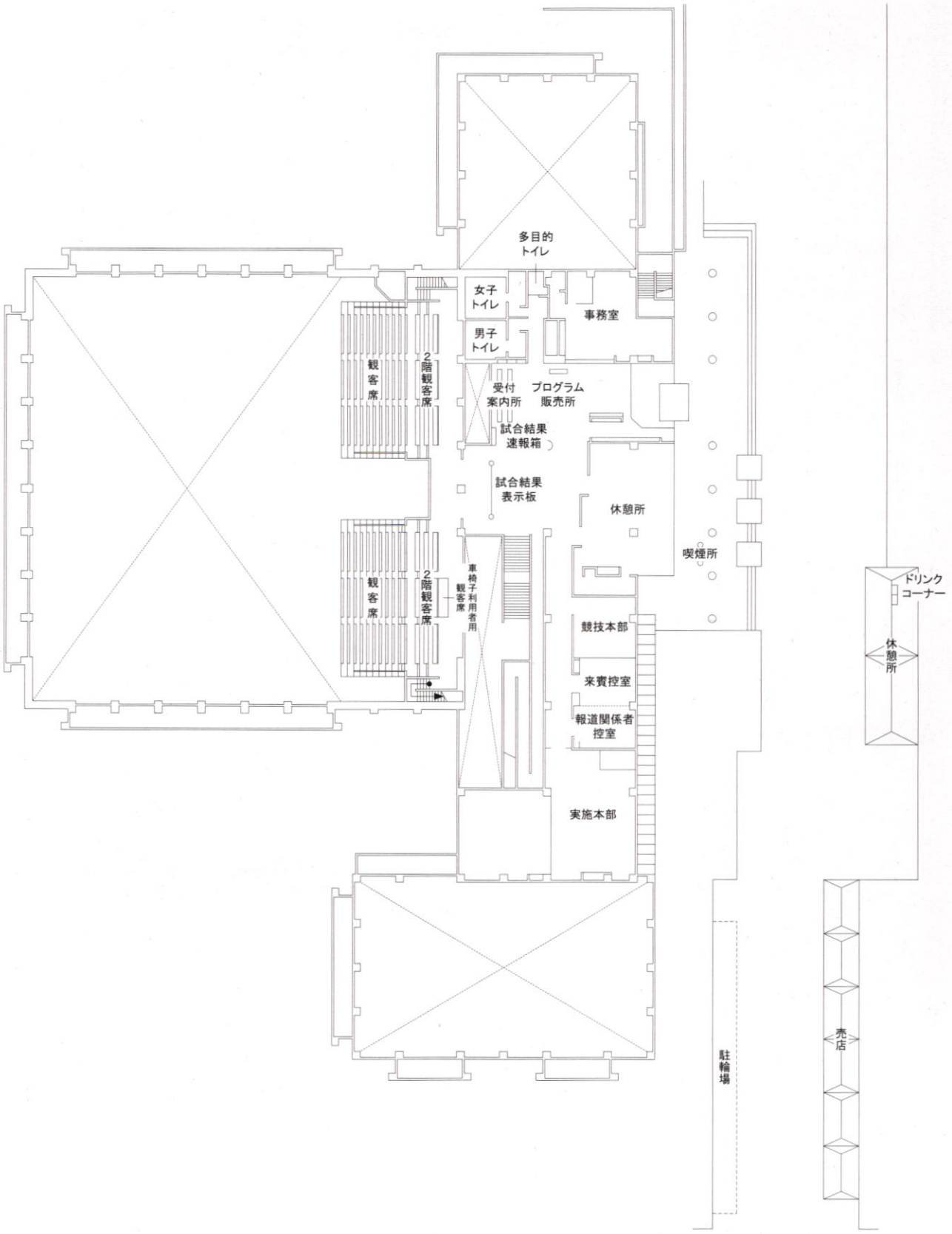
競技会場配置図（野田市関宿総合公園体育館2階）



競技会場配置図（野田市総合公園体育館1階）



競技会場配置図（野田市総合公園体育館2階）



練習会場の使用について

1　練習会場

会場番号	練習会場名	コート数
第１練習会場	西武台千葉高等学校第１体育館	8
	西武台千葉高等学校第２体育館	6
第２練習会場	千葉県立関宿高等学校体育館	6
第３練習会場	野田市立北部中学校体育館	4
第４練習会場	野田市立岩名中学校体育館	4
第５練習会場	千葉県立清水高等学校体育館	6

2　練習会場の使用方法

（１）各練習会場には受付を設けております。受付で使用申込みをしてから、係員の指示に従い練習を行ってください。なお、**電話等による練習会場使用の事前予約は受け付けていません。**必ず、練習会場に行き受付をしてください。

（２）各都道府県代表チームであることが判別できる服装でご来場ください。

（３）貴重品ほか個人及びチームの所有物は、各自及びチームで責任を持って保管してください。また、下足も各自で保管するようにお願いします。

（４）ゴミは各自でお持ち帰りください。

（５）全練習会場は**バス等の大型車両の乗り入れはできません**。大型車両で移動される場合、最寄りの競技会場に車両を駐車し、市内タクシー会社（競技会関係機関電話番号一覧参照）に連絡の上、ご利用ください。ただし、一部利用できない区間がありますので、タクシー乗車券を確認のうえご利用ください。

3　練習会場開設期間における各日の使用について

（１）割り当て練習を除き練習時間は原則として１チーム１コート１時間とします。
ただし、空きコート待ちのチームがない場合は、練習終了後、再受付により引き続き使用できます。

（２）練習会場の開設日時、割り当て練習、ブロック指定等の詳細は、「練習会場使用日程表」でご確認ください。

4　各練習会場の使用上の注意点について

（１）　第１練習会場（ 西武台千葉高等学校第１体育館、 第２体育館 ）

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないようにしてください。

②　車両で移動する場合、指定された車両駐車区域に駐車するようにし、車両駐車禁止区域には絶対に駐車しないでください。

また、**マイクロバス（中型自動車）で乗り入れる場合は、第２体育館側の駐車スペースに駐車してください。**

③　体育館及び体育館への連絡通路以外の建物への立入りは禁止です。あらかじめ概要図を確認し、立入禁止区域には絶対に立ち入らないでください。

また、体育館内のトイレ、更衣室以外の各部屋は立入禁止です。立入禁止の張り紙があるところには立ち入らないでください。

④　体育館内での食事は禁止です。

（2）　第2練習会場（ 千葉県立関宿高等学校体育館）

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないようにしてください。

②　学校敷地内へのタクシー及び乗用車の乗入れについては、９月２９日（水）～１０月１日（金）は多数の生徒がいるので、乗り入れについては十分気をつけてください。

また、車両で移動する場合、指定された車両駐車区域に駐車するようにし、車両駐車禁止区域には絶対に駐車しないでください。

③　体育館及び体育館への連絡通路以外の建物への出入りは禁止です。あらかじめ概要図を確認し、立入禁止区域には絶対に立ち入らないでください。

また、体育館内のトイレ、更衣室以外の各部屋は立入禁止です。立入禁止の張り紙があるところには立ち入らないでください。

④　９月２９日（水）～１０月１日（金）は通常授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館内での食事は禁止です。また、校内の自動販売機の利用も禁止です。

（3）　第3練習会場（ 野田市立北部中学校体育館）

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないようにしてください。

②　学校敷地内へのタクシー及び乗用車の乗入れについては、１０月１日（金）の登校時（７時～７時３０分）は多数の生徒がいるので、乗り入れについては十分気をつけてください。

また、車両で移動する場合、指定された車両駐車区域に駐車するようにし、車両駐車禁止区域には絶対に駐車しないでください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。あらかじめ概要図を確認し、立入禁止区域には、絶対に立ち入らないでください。

また、体育館内のトイレ、更衣室以外の各部屋は立入禁止です。立入禁止の張り紙があるところには立ち入らないでください。

④　９月２９日（水）～１０月１日（金）は通常授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　会場付近にスクールゾーンがあります。（競技会場・練習会場等案内図参照）７時から８時３０分までスクールゾーンにおける車の通行はできませんので、あらかじめ確認してください。

（4）　第4練習会場（ 野田市立岩名中学校体育館）

① 学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないようにしてください。

② 車両で移動する場合、指定された車両駐車区域に駐車するようにし、車両駐車禁止区域には絶対に駐車しないでください。

また、<u>マイクロバス（中型自動車）の乗り入れはできません</u>。マイクロバスで行かれる場合は、競技会場（野田市総合公園体育館）に車両を駐車し、市内タクシー会社に連絡の上、タクシーをご利用ください。

③ 体育館以外の建物への出入りは禁止です。あらかじめ概要図を確認し、立入禁止区域には絶対に立ち入らないでください。

また、体育館内のトイレ、更衣室以外の各部屋は立入禁止です。立入禁止の張り紙があるところには立ち入らないでください。

④ ９月２９日（水）～１０月１日（金）は通常授業を行っており、学校（通学路）には多数の生徒がいます。車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤ 体育館内での食事は禁止です。

（5）　第5練習会場（千葉県立清水高等学校体育館）

① 学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は学校敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないようにしてください。

② 車両で移動する場合、指定された車両駐車区域に駐車するようにし、車両駐車禁止区域には絶対に駐車しないでください。

また、<u>マイクロバス（中型自動車）の乗り入れはできません</u>。マイクロバスで行かれる場合は、競技会場（野田市総合公園体育館）に車両を駐車し、徒歩で移動してください。

③ 学校敷地内へのタクシー及び乗用車の乗入れについては、９月２９日（水）～１０月１日（金）の登下校時（８時～９時、１５時３０分～１６時）は多数の生徒がいるので、乗り入れについては十分気をつけてください。

④ 体育館以外の建物への出入りは、指定されたトイレ以外は立入禁止です。あらかじめ概要図を確認し、立入禁止区域には絶対に立ち入らないでください。

また、体育館内については更衣室以外の各部屋は立入禁止です。立入禁止の張り紙があるところには立ち入らないでください。

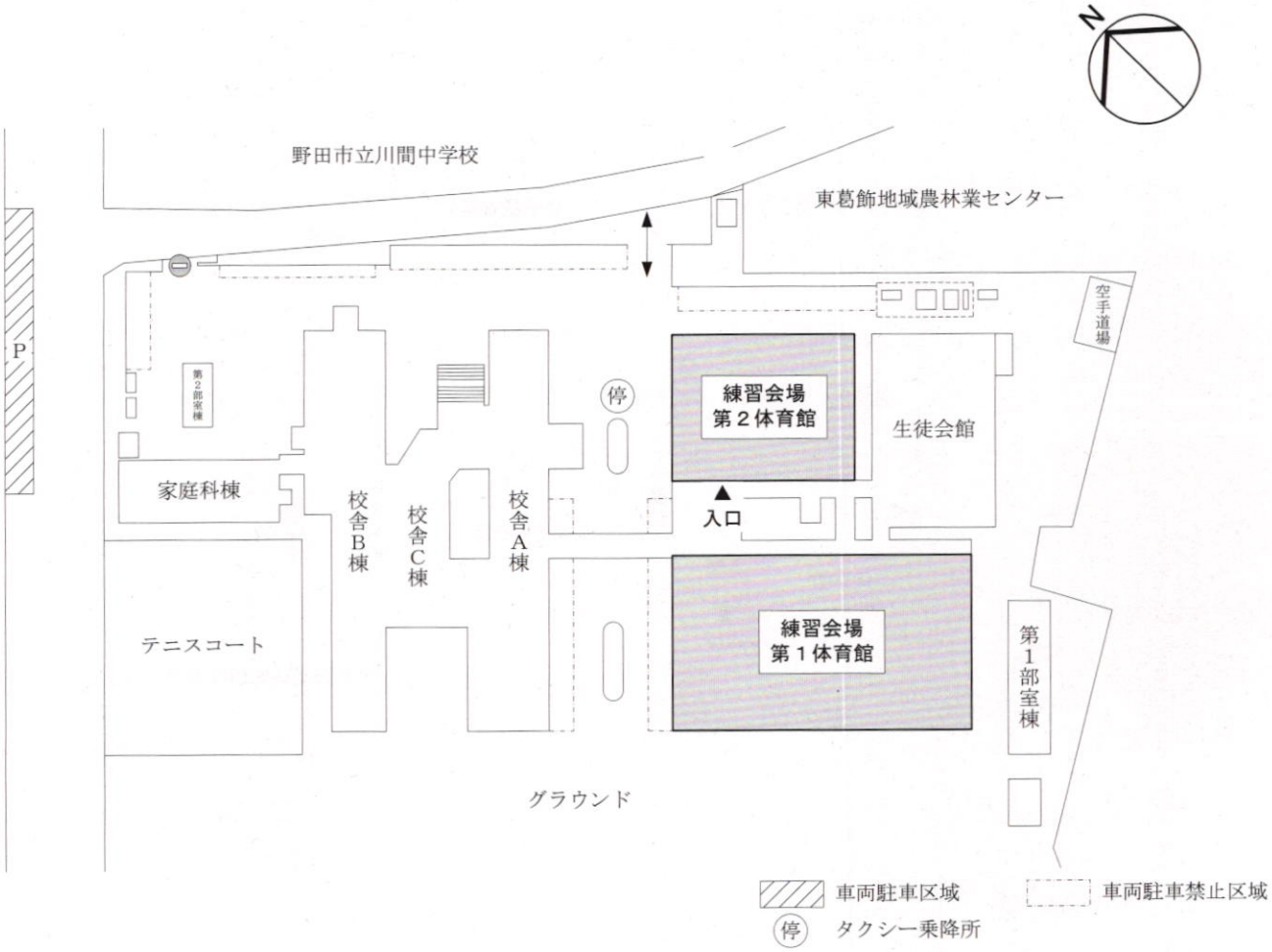
⑤ ９月２９日（水）～１０月１日（金）は通常授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑥ 体育館内での食事は禁止です。

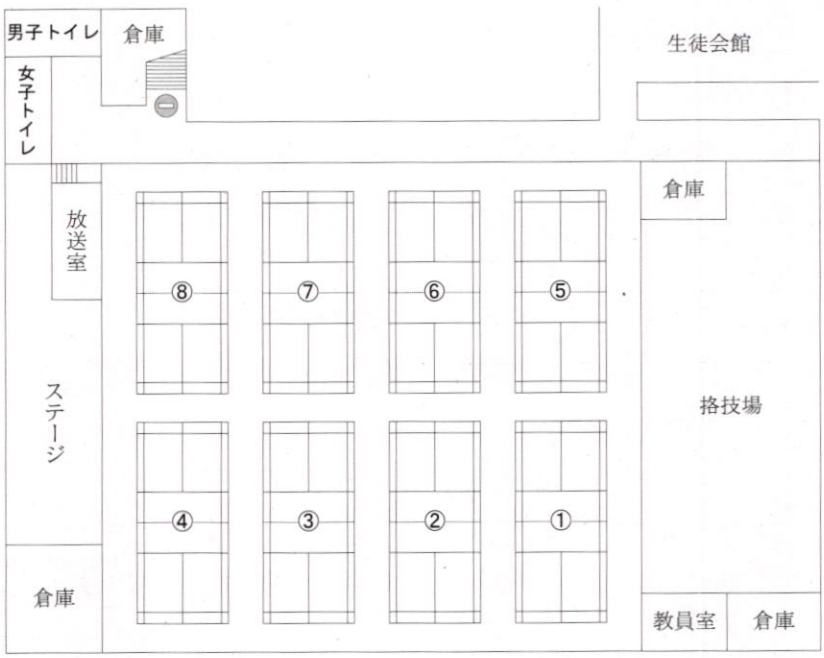
練習会場使用日程表

期日・時間 ＼ 会場名		第1練習会場														第2練習会場						第3練習会場				第4練習会場				第5練習会場					
		西武台千葉高校第1体育館								西武台千葉高校第2体育館						関宿高校体育館						北部中学校体育館				岩名中学校体育館				清水高校体育館					
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
9月29日（水）	9:00～17:00	東北・東海・近畿・四国ブロック(46)														関東ブロック(20)						北信越ブロック(12)				中国ブロック(12)				北海道・九州ブロック(21)					
9月30日（木）	9:00～13:30	東北・東海・近畿・四国ブロック(46)														関東ブロック(20)						北信越ブロック(12)				中国ブロック(12)				北海道・九州ブロック(21)					
10月1日（金）	7:00～ 8:00	M1	M1	M2	M2	M3	M3	M4	M4	使用時間　7:00～17:00 北海道 関東 北信越 ブロック (36)						使用時間　7:00～17:00 東北 東海 近畿 ブロック (37)						M8	M8	M9	M9	M10	M10	M11	M11	使用時間　7:00～17:00 中国 四国 九州 ブロック (38)					
	8:00～ 9:30	M5	M5	M6	M6	M7	M7															M12	M12	M13	M13	M14	M14	M15	M15						
	9:30～11:00	G1	G1	G2	G2	G3	G3	G4	G4													G9	G9	G10	G10	G11	G11	G12	G12						
	11:00～12:30	G5	G5	G6	G6	G7	G7	G8	G8													G13	G13	G14	G14	G15	G15	G16	G16						
	12:30～14:00	M16	M16	M17	M17	M18	M18	M19	M19													M24	M24	M25	M25	M26	M26	M27	M27						
	14:00～15:30	M20	M20	M21	M21	M22	M22	M23	M23													M28	M28	M29	M29	M30	M30	M31	M31						
	15:30～17:00	自由練習																				自由練習				自由練習									
10月2日（土）	7:00～ 8:00	B1	B1	B2	B2	B3	B3	B4	B4	使用時間　7:00～17:00 自由練習						使用時間　7:00～17:00 自由練習						B5	B5	B6	B6	B7	B7	B8	B8	使用時間　7:00～17:00 自由練習					
	8:00～ 9:30	W1	W1	W2	W2	W3	W3	W4	W4													W5	W5	W6	W6	W7	W7	W8	W8						
	9:30～11:00	G17	G17	G18	G18	G19	G19	G20	G20													G21	G21	G22	G22	G23	G23	G24	G24						
	11:00～12:30	M32	M32	M33	M33	M34	M34	M35	M35													M36	M36	M37	M37	M38	M38	M39	M39						
	12:30～17:00	自由練習																				自由練習				自由練習									
10月3日（日）	7:00～ 8:00	B11	B11	B12	B12	W11	W11	W12	W12	使用時間　7:00～17:00 自由練習						閉鎖						B9	B9	B10	B10	W9	W9	W10	W10	閉鎖					
	8:00～10:00	M42	M42	M43	M43	G27	G27	G28	G28													M40	M40	M41	M41	G25	G25	G26	G26						
	10:00～12:00	B14		B14		W14		W14														B13	B13	W13	W13	自由練習									
	12:00～14:00	M45		M45		G30		G30														M44	M44	G29	G29										
	14:00～17:00	自由練習																				自由練習													
10月4日（月）	7:00～ 8:00	M46	M46	G31	G31	B15	B15	W15	W15	閉鎖						閉鎖						閉鎖				閉鎖				閉鎖					
	8:00～ 9:30	M47	M47	G32	G32	B16	B16	W16	W16																										

第1練習会場（西武台千葉高校）概要図・配置図

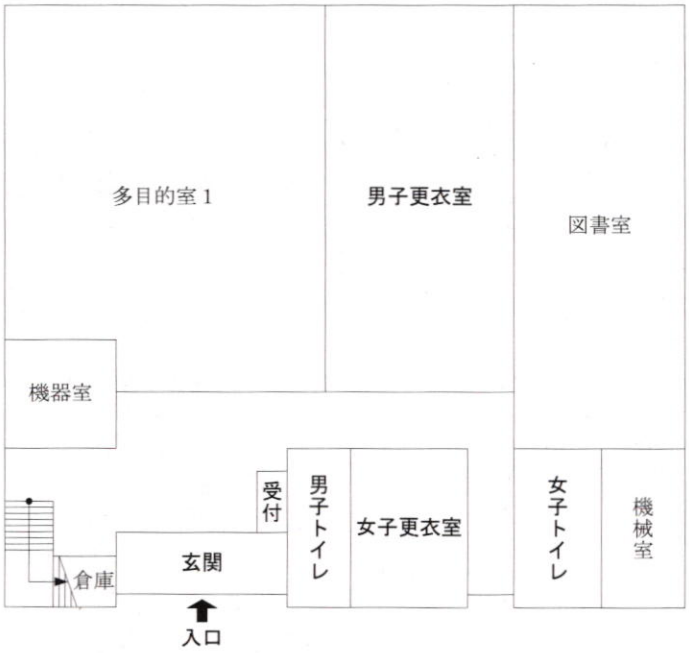


第１体育館



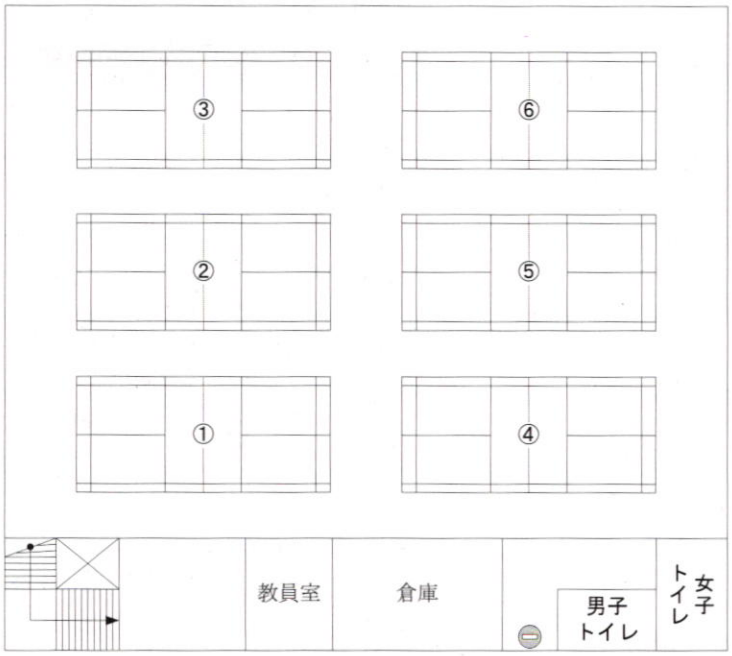
※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

第２体育館１階



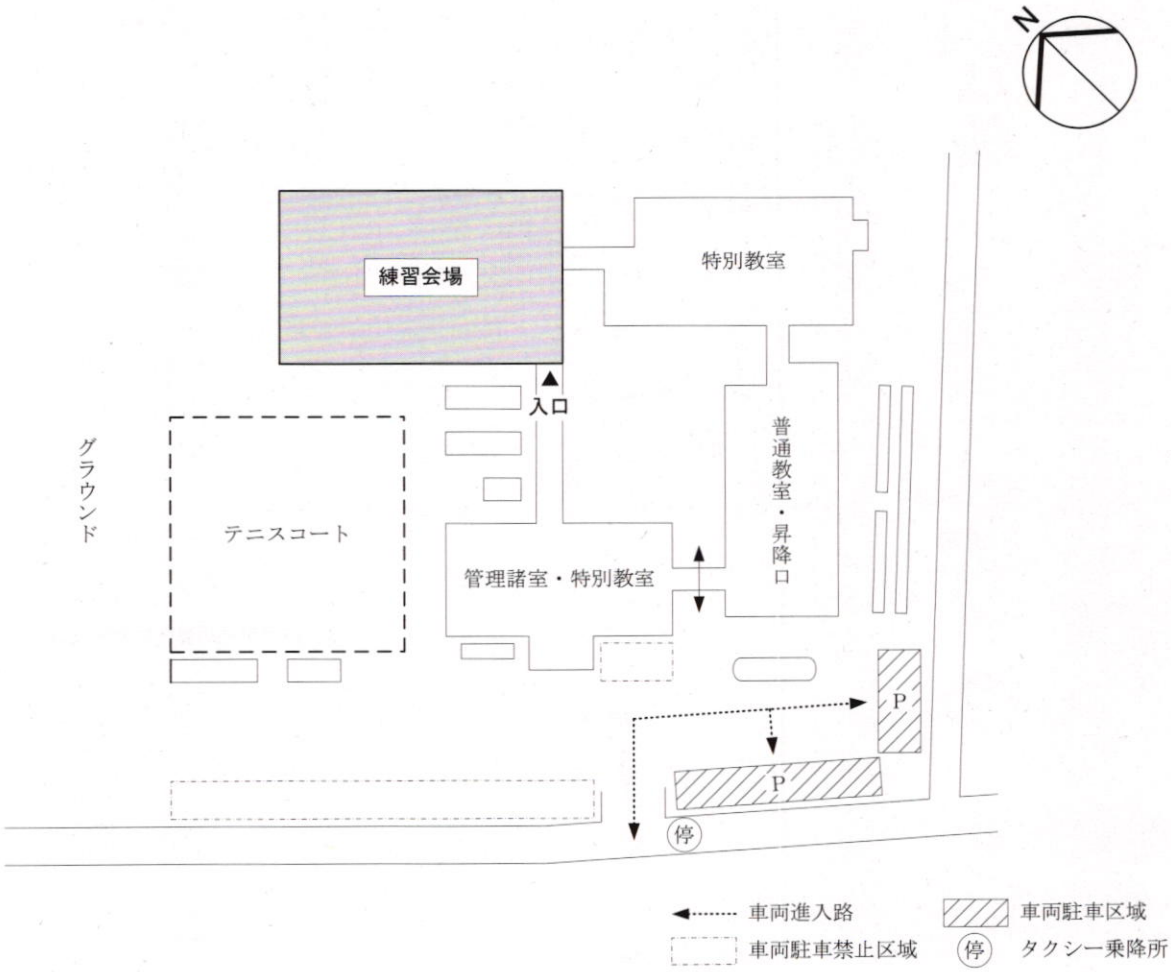
※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

第２体育館３階

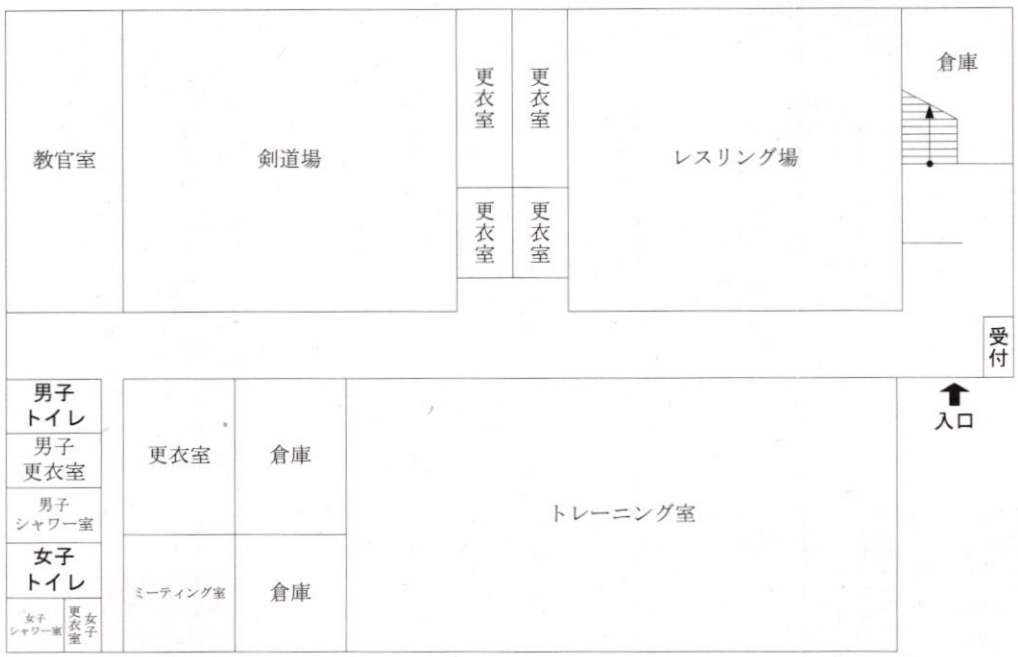


※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

第2練習会場（千葉県立関宿高等学校）概要図・配置図

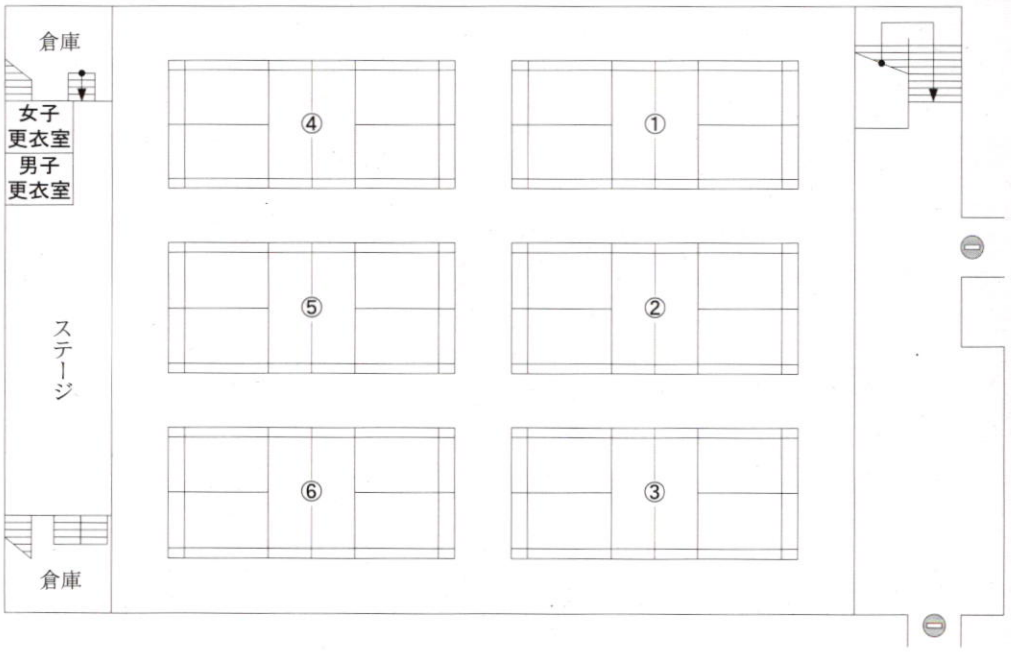


1階



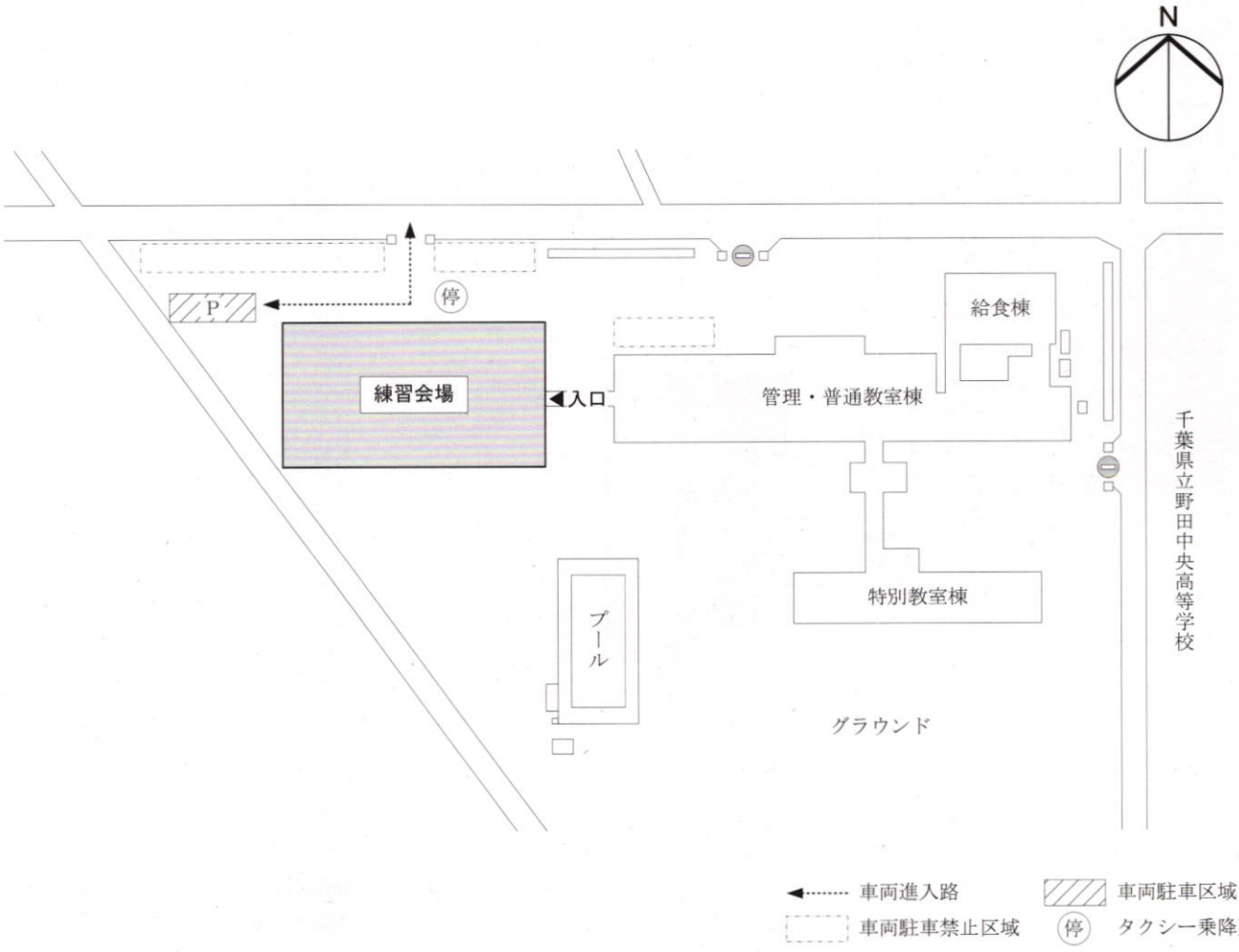
※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

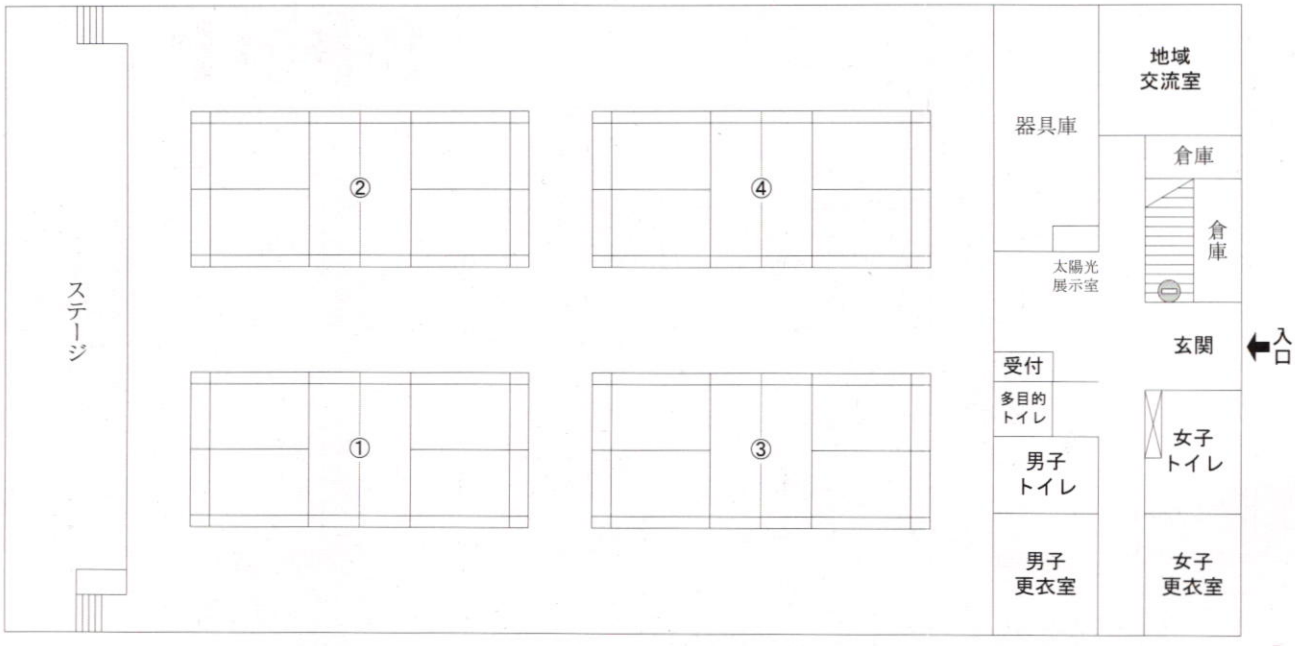
2階



※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

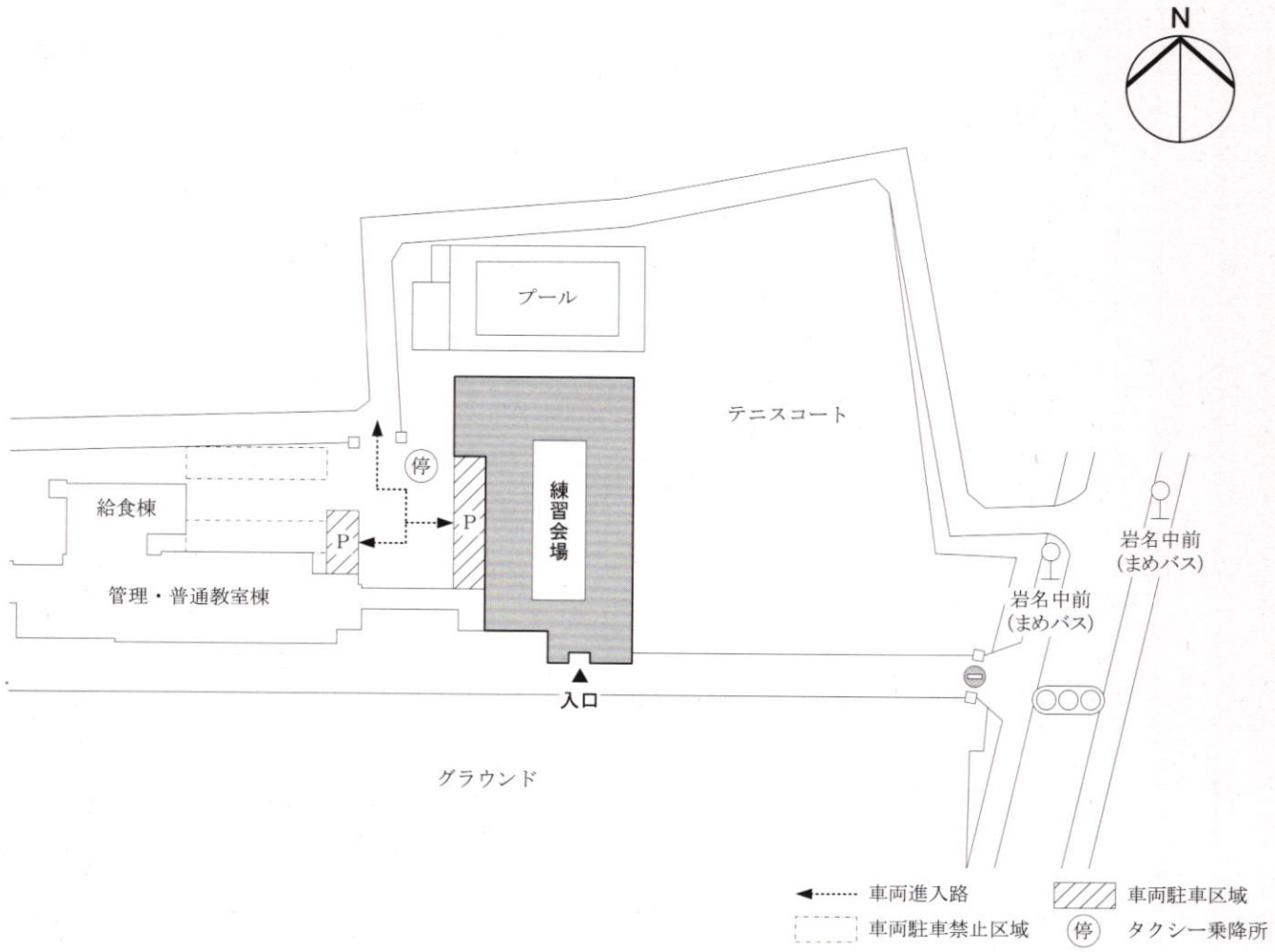
第3練習会場（野田市立北部中学校）概要図・配置図

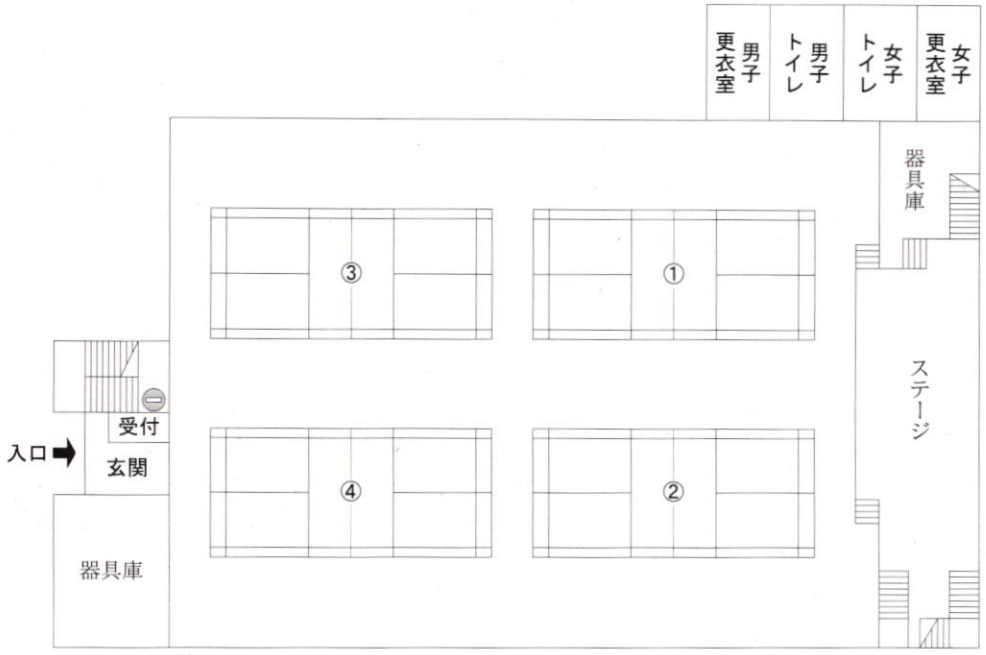




※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

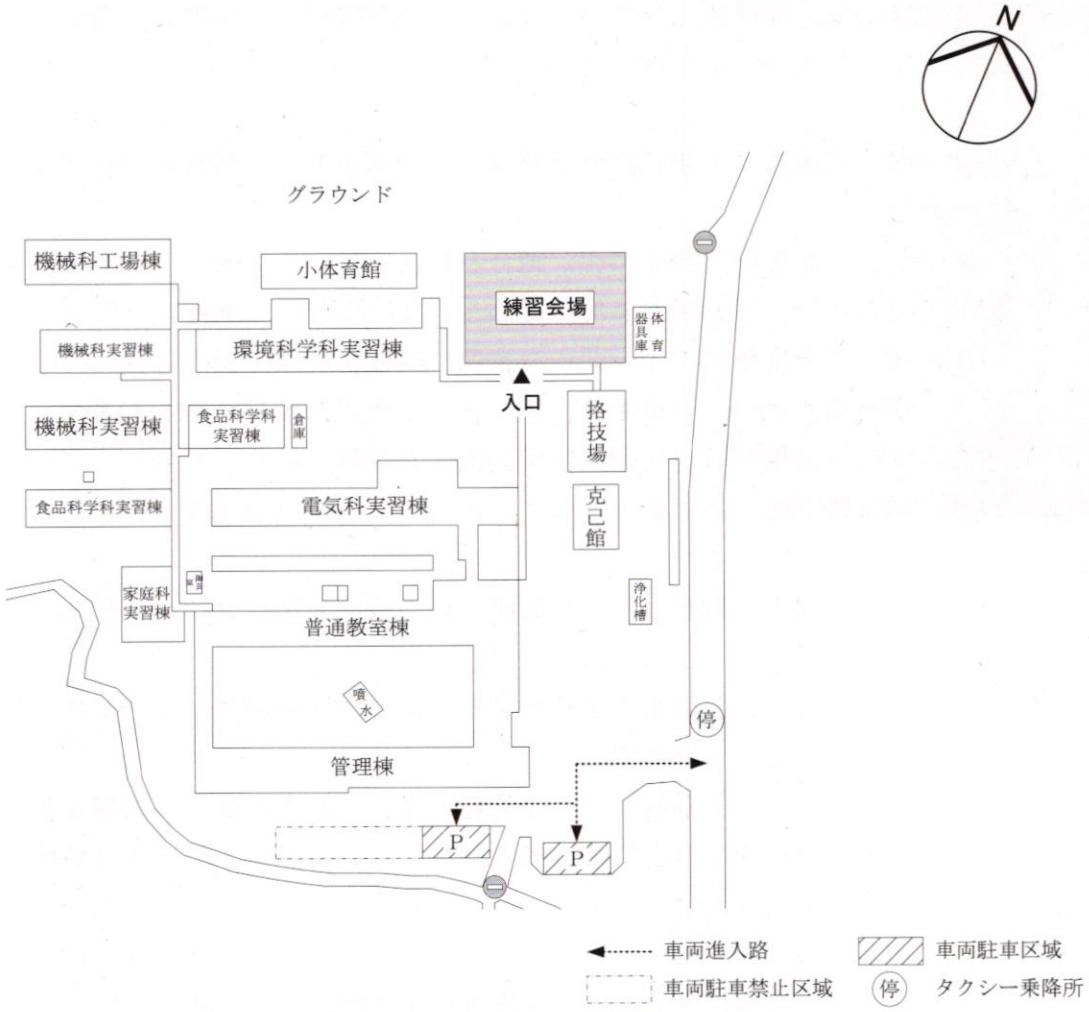
第4練習会場（野田市立岩名中学校）概要図・配置図

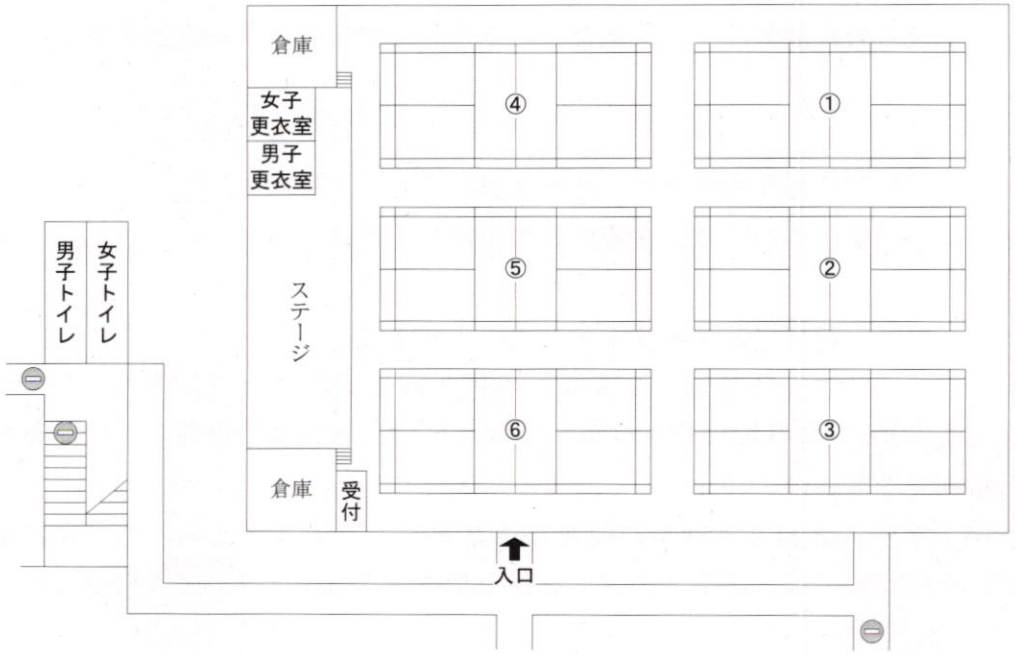




※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

第5練習会場（千葉県立清水高等学校）概要図・配置図





※　使用可能の箇所は太字（ゴシック体）で表記

競　技　上　の　注　意

1　本競技会は、財団法人日本バドミントン協会平成２２年度競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程により行います。

2　オーダー用紙は、当該試合開始時刻４５分前までに、監督がオーダー交換所へ提出してください。

しかし、４５分前の時点で現に試合が継続している場合は、試合終了後すみやかに提出してください。指定時刻までに提出されない場合は「棄権」とみなします。

（１）オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長立ち合いのもと行います。

※予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。

（２）オーダー用紙は、初回試合用を監督会議時に配布します。

（３）試合終了後、勝利者チームに次のオーダー用紙を主審から配布します。

3　勝敗は、２点先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は行いません。

4　監督・選手は、試合開始予定時刻２０分前に選手招集所に集合して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。

ただし、現に試合を継続している監督・選手は試合が終了次第選手招集所に集合して、招集委員の確認を受け指示に従ってください。この場合、前の試合が終了して１５分後に次の試合を開始します。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入場後の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームからとし、時間は３分間とします。

7　シャトルは試打してありますので、選択は認めません。

※シャトルの交換については、主審の許可を得てください。

8　インターバルは、競技規則第１６条第２項によります。

インターバル中、コートに入ってもよいのは当該選手の外、ベンチ入りしている２人までとしますが、「２０秒」のコールがなされたら、当該選手以外の方は速やかにコートから離れてください。

なお、第１ゲームと第２ゲームの間及び第２ゲームと第３ゲームの間並びに第３ゲームのインターバルでは、選手がエンドを替えた後に入るようにしてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみ認めますが、その場合は必ず主審に申し出てください。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。

※第２シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して１０分後に開始します。

11　試合進行の都合により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、競技役員長または競技審判部長が必要と認める医療役員・競技役員に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央に必ず都道府県名のみを明示（文字は、上衣の色と明確に区別できる文字色の漢字）してください。
また、試合前の練習を含め、ベンチに控えている際にも都道府県名の分かるジャージまたは、ウエアを着用してください。

14　水分の補給について、主審の指示に従ってください。
（１）蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（２）ベンチ内の給水ボトルは必ずバック等に保管しておいてください。
※クーラーボックスの持ち込みはご遠慮ください。また、氷のうの使用はインターバル中のみ認めます。使用後は必ずバッグ等に保管してください。

15　各試合（ダブルスまたはシングルス）終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心がけてください。

16　競技場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。

17　その他、競技実施要項を遵守してください。

審　判　上　の　注　意

1　審判員は、財団法人日本バドミントン協会平成２２年度競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程にのっとり厳正に競技を運営する。

2　競技規則の第９条（サービス）、第１３条（フォルト）、第１６条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定する。

3　すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが１１点になったとき、６０秒を超えないインターバルを認める。また、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に１２０秒を超えないインターバルを認める。［競技規則第１６条第２項］

4　プレーヤーは、どんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。〔競技規則第１６条第４項〕

ラケットの破損、ストリングスの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め変える場合などは、主審の許可を得て指示に従わなければならない。

5　プレーヤーがマッチ（試合）中にアドバイスを受けることができるのは、シャトルがインプレーでない場合に限る。〔競技規則第１６条第５項（１）〕

監督・選手などが、インプレー中に選手（プレーヤー）に対して、助言・指導することは認められない。

6　プレーヤーは、競技規則第１６条第２項のインターバルを除き、マッチ（試合）が終了するまで、主審の許可なしにコートを離れてはならない。〔競技規則第１６条第５項（２）〕

マッチ（試合）中、プレーヤーが汗拭きやそれに伴う水分補給などのため、プレーが中断しない範囲内でコートを離れる場合でも、主審の許可を得なければならない。

7　競技の品位を保つため、色付着衣を使用する場合は、財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。〔大会運営規程第２２条〕

8　プレーヤーが競技規則第１６条第４・５・６項に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに警告し、一度警告を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドにフォルトを宣言する。一つのサイドによる二度目のフォルトは執拗な違反と見なす。目に余る不品行な振舞い、執拗な違反、第１６条第２項の違反には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長に報告する。

9　主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には、線審の判定を変更することができる。［競技規則第１７条第５項］

10 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することができる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。
［大会運営規程第３５条］

昼食弁当斡旋のご案内

「第６５回国民体育大会バドミントン競技会」に参加される選手・監督、視察員・報道員の皆様の昼食弁当を斡旋します。ご希望の際は指定の期日までにお申込み願います。

１　斡旋期間

平成２２年１０月１日（金）～１０月４日（月）まで

２　弁当料金

１個　９４５円（お茶付、消費税込み）

３　申込方法

《競技２日以降（１０月２日～１０月４日分）の弁当申込みをされる場合》

競技会場弁当引換所で、所定の申込書に必要事項を記入の上、代金を添え弁当必要日の前日の午前１１時～午後３時までにお申込みください。

なお、１０月１日分と１０月２日分の弁当の申込みは別途斡旋済みです。

（１０月２日分は、事前申込、会場申込どちらでも申込ができます。）

４　弁当の引換方法

①競技会場の弁当引換所にて、弁当引換券と引き換えに弁当を受け取ってください。

なお、申込みをされた引換日・引換所以外での引き換えはできません。

②弁当引換時間は、**午前１１時～午後１時**までです。

５　お願い

①競技会場が２箇所ですので、引き換える会場を間違えないようにお申し込みください。（申込はどちらの会場でもできます。）

②お弁当は引換後お早目にお召し上がりください。

③弁当の持ち帰りはしないでください。

④弁当容器は必ず午後３時までに弁当引換所へご返却ください。

⑤弁当引換券及び弁当代金領収書の再発行はいたしません。

⑥宿舎でのお弁当の申込みは取り扱っておりませんのでご注意ください。

医療救護のご案内

1　傷病者が発生したとき

（1）競技会場で傷病又は発病したとき

ア　競技会場には、『救護所』を設置し、医師、看護師、係員が対応いたします。

イ　救護所は、「看板」等により、所在を示してあります。

（2）練習会場で傷病又は発病したとき

練習会場には、簡易な救護薬品を備えておりますので、傷病者が発生した場合には、練習会場係員に申し出てください。

（3）宿舎で傷病又は発病したとき

直接宿舎に申し出て、医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急車の手配を依頼してください。なお、医療機関に移送する場合、チーム関係者が必ず同行してください。

2　治療の受け方

（1）救護所では、応急処置及び簡易な手当てを行います。また、傷病者を医療機関に移送する必要がある場合は救急車等の手配を行います。移送の場合は、チーム関係者が必ず同行してください。なお、受診の際は、救護所で交付する「診療依頼書兼処置記録」及び「健康保険証」を医療機関に提示してください。

（2）宿舎において傷病又は発病をし、医療機関で治療を受ける場合は、チーム関係者が同行のうえ「健康保険証」を提示してください。

（3）診療が終了しましたら、処置結果等その後の状況を速やかに、競技会場内実施本部にご連絡ください。なお、夜間は実施本部との連絡が取れない場合がありますので、その場合は翌日にご連絡ください。

3　医療費の負担

（1）救護所で行う応急処置及び簡易な手当て並びに救急車の利用に要する費用は無料です。

（2）医療機関で治療を受けた費用は受診者の負担となりますので、必ず「健康保険証」を持参してください。「健康保険証」を提示しないで受診した場合は、医療費の全額が受診者負担となります。

また、医療機関までタクシー等を利用した場合の費用も、自己負担となります。

輸送のご案内

大会期間中の選手、監督の輸送については、タクシー、シャトルバス、徒歩等による方法となっています。

輸送方法

○ タクシー

９月２９日（水）～１０月４日（月）に、東武野田線川間駅、東武野田線清水公園駅・練習会場・競技会場の間で利用できます。（ただし、東武野田線清水公園駅、野田市総合公園体育館、千葉県立清水高等学校の間は徒歩での移動となります。）

乗車には「タクシー乗車券」が必要です。「タクシー乗車券」はチームに対して配付します。

野田市関宿総合公園体育館と野田市総合公園体育館の間はシャトルバスをご利用ください。

○ シャトルバス

１０月１日（金）～１０月３日（日）に、野田市関宿総合公園体育館と野田市総合公園体育館を結ぶバスを運行します。運賃は無料です。

運行時刻は、輸送本部等に掲示している時刻表で確認してください。

タクシー乗車券の発行及び予約方法

タクシー乗車券は、第１回戦分までは発行済です。

第２回戦以降の分は、試合があるチームに限り競技会場実施本部総務係で発行します。

タクシー乗車券に記載してあるタクシー会社に直接予約してください。

輸送に関するお問い合わせ

大会開催期間中のお問い合わせは、競技会場輸送本部にお問い合わせください。

競技会関係電話番号一覧表

【競技会場及び現地実施本部】

名　　称	所　　在　　地	電話番号・ＦＡＸ		ＨＰ
野田市関宿総合公園体育館	野田市平井４０１	ＴＥＬ	04－7198－8500	○
		ＦＡＸ	04－7198－6789	
関宿総合公園体育館実施本部 （野田市現地本部）	野田市平井４０１	ＴＥＬ	04－7197－0886	
		ＦＡＸ	－	
関宿総合公園体育館競技・記録本部 （千葉県バドミントン協会現地本部）	野田市平井４０１	ＴＥＬ	090－2794－0150	
		ＦＡＸ	04－7197－0887	
野田市総合公園体育館	野田市清水９５８	ＴＥＬ	04－7125－1155	○
		ＦＡＸ	04－7124－7930	
総合公園体育館実施本部 （野田市現地本部）	野田市清水９５８	ＴＥＬ	04－7121－3056	
		ＦＡＸ	－	
総合公園体育館競技・記録本部 （千葉県バドミントン協会現地本部）	野田市清水９５８	ＴＥＬ	090－2794－2170	
		ＦＡＸ	04－7121－3057	

※　野田市総合公園体育館のホームページは、野田市のホームページからアクセスしてください。

【ゆめ半島千葉国体野田市実行委員会】

名　　称	所　　在　　地	電話番号・ＦＡＸ		ＨＰ
ゆめ半島千葉国体 野田市実行委員会	野田市鶴奉７－１	ＴＥＬ	04－7120－1577	○
		ＦＡＸ	04－7120－1578	

※　実行委員会のホームページにつきましては、野田市のホームページからアクセスしてください

【監督会議・審判会議会場】

名　　称	所　　在　　地	電　話　番　号	ＨＰ
野田市役所　８階大会議室	野田市鶴奉７－１	04－7125－1111	○

【練習会場】

名　　称	所　　在　　地	電　話　番　号		ＨＰ
第１練習会場 西武台千葉高等学校	野田市尾崎２２４１－２	係員携帯	080－2808－3583	○
第２練習会場 千葉県立関宿高等学校	野田市木間ケ瀬４３７６	係員携帯	080－2809－4071	○
第３練習会場 野田市立北部中学校	野田市谷津６７３	係員携帯	090－2798－5942	
第４練習会場 野田市立岩名中学校	野田市岩名１７００	係員携帯	090－2799－0591	
第５練習会場 千葉県立清水高等学校	野田市清水４８２	係員携帯	090－2798－3914	○

【関係機関】

名　　称	所　　在　　地	電　話　番　号	ＨＰ
野田警察署	野田市宮崎１４７－４	04－7125－0110	○
野田消防署	野田市宮崎１２６－２	04－7124－0119	○
千葉県野田健康福祉センター（野田保健所）	野田市柳沢２４	04－7124－8155	○
東武野田線　川間駅	野田市尾崎８３２	04－7129－1560	○
東武野田線　清水公園駅	野田市清水公園東１－３２－２	04－7122－2414	○
朝日自動車境営業所【バス】	茨城県猿島郡境町大字長井戸字南前２７６－１	0280－87－0780	○
ゆめ半島千葉国体合同配宿本部	千葉市中央区市場町１－２	043－202－4011	○

※　野田消防署は野田市役所ホームページから、千葉県野田健康福祉センターは千葉県庁ホームページから川間駅、清水公園駅は東武鉄道のホームページからそれぞれアクセスしてください。

【救急・夜間協力病院】

医　療　機　関　名	所　　在　　地	電　話　番　号	ＨＰ
小張総合病院・小張総合クリニック	野田市横内２９－１	04－7124－6666	○
野田病院	野田市中里１５５４－１	04－7127－3200	○
野田市急病センター	野田市鶴奉７－４	04－7125－1188	○

※　野田市急病センターは野田市役所ホームページからアクセスしてください。

【タクシー会社】

会　　社　　名	所　　在　　地	電　話　番　号
朝日自動車株式会社	野田市上花輪１２９５－３	04－7124－2216
関宿交通有限会社	野田市東宝珠花５１－２	04－7198－0015
帝都あたごタクシー株式会社	野田市野田５６０	04－7122－1831
ひばり交通株式会社	野田市中野台１４１－３	04－7122－2161
丸川タクシー有限会社	野田市中里７６４	04－7129－4039
三葉恒産株式会社	野田市瀬戸７２４	04－7138－0221

(財)日本体育協会・文部科学省・都道府県本部宿舎一覧

(本大会期間中)

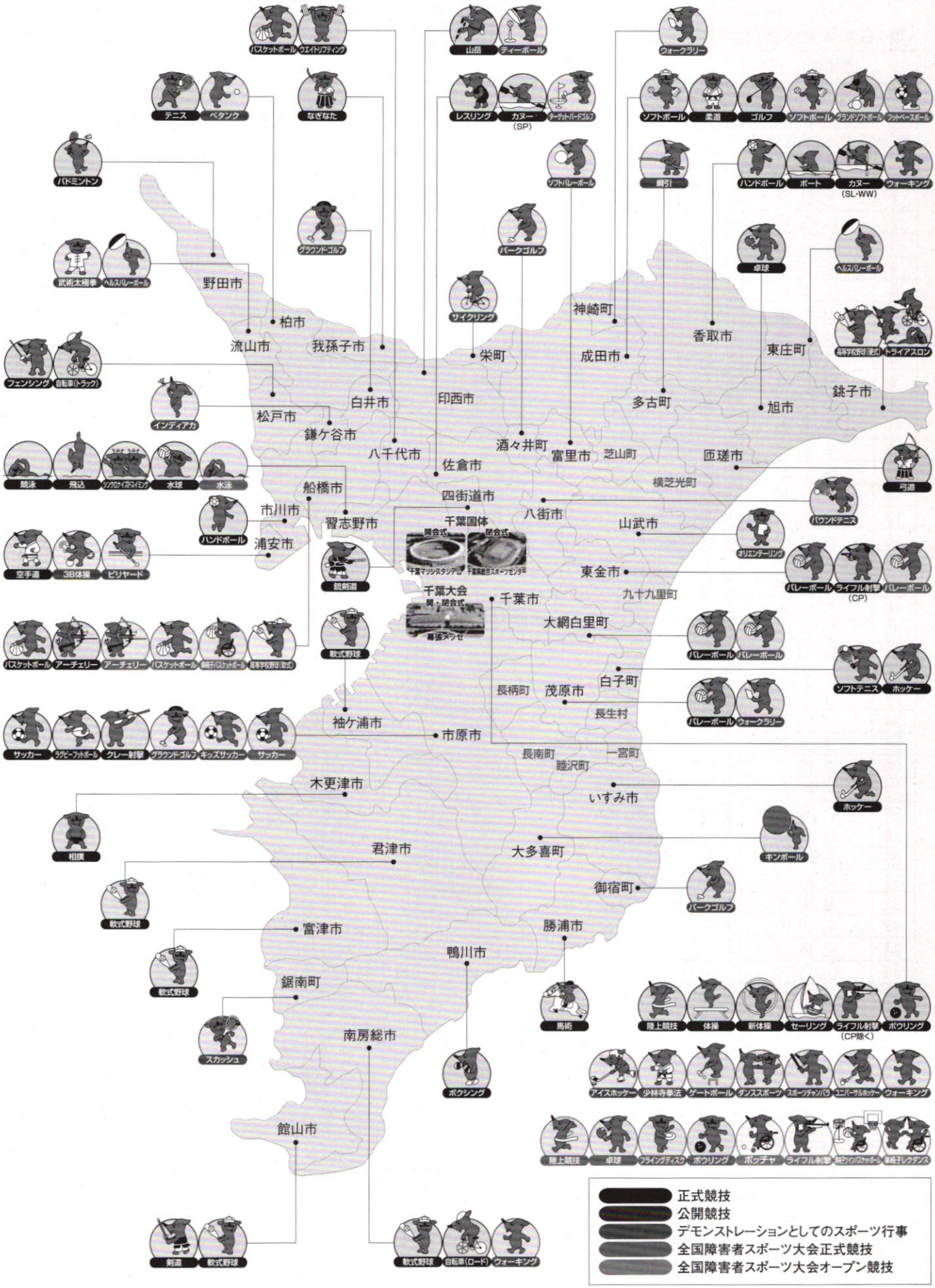
(財)日本体育協会・文部科学省宿舎

団体名.	宿舎名	所在地	電話番号
(財)日本体育協会	ホテルザ・マンハッタン	千葉市美浜区ひび野2-10-1	043-275-1111
文部科学省	ホテルニューオータニ幕張	千葉市美浜区ひび野2-2	043-297-7777

都道府県本部宿舎

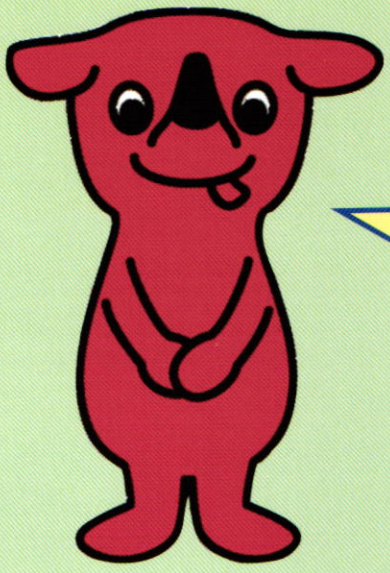
No.	都道府県名	宿舎名	所在地	電話番号
1	北海道	ホテルグリーンタワー幕張	千葉市美浜区ひび野2-10-3	043-296-1122
2	青森県	成田ポートホテル	成田市大山658	0476-35-5511
3	岩手県	リッチモンドホテル成田	成田市花崎町970	0476-24-6660
4	宮城県	リッチモンドホテル成田	成田市花崎町970	0476-24-6660
5	秋田県	リッチモンドホテル成田	成田市花崎町970	0476-24-6660
6	山形県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555
7	福島県	ホテル日航成田	成田市取香500	0476-32-0032
8	茨城県	アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張	千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
9	栃木県	アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張	千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
10	群馬県	アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張	千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
11	埼玉県	アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張	千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
12	千葉県	ホテルプラザ菜の花	千葉市中央区長洲1-8-1	043-222-8271
13	東京都	アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張	千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
14	神奈川県	ホテルメッツ津田沼	習志野市津田沼1-1-1	0474-73-0007
15	山梨県	アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張	千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
16	新潟県	成田エクセルホテル東急	成田市大山31	0476-33-0109
17	長野県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
18	富山県	成田U-シティホテル	成田市囲護台1-1-2	0476-24-0101
19	石川県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555
20	福井県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
21	静岡県	ホテル日航成田	成田市取香500	0476-32-0032
22	愛知県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555
23	三重県	ホテル日航成田	成田市取香500	0476-32-0032
24	岐阜県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555
25	滋賀県	成田エクセルホテル東急	成田市大山31	0476-33-0109
26	京都府	ホテルグリーンタワー幕張	千葉市美浜区ひび野2-10-3	043-296-1122
27	大阪府	ホテルグリーンタワー幕張	千葉市美浜区ひび野2-10-3	043-296-1122
28	兵庫県	東横イン千葉みなと	千葉市中央区中央港1-23-1	043-301-1045
29	奈良県	成田ポートホテル	成田市大山658	0476-35-5511
30	和歌山県	ホテル　フランクス	千葉市美浜区ひび野2-10-2	043-296-2111
31	鳥取県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555
32	島根県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
33	岡山県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
34	広島県	メルキュールホテル成田	成田市花崎町818-1	0476-23-7000
35	山口県	マロウドインターナショナルホテル成田	成田市駒井野763-1	0476-30-2222
36	徳島県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
37	香川県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
38	愛媛県	マロウドインターナショナルホテル成田	成田市駒井野763-1	0476-30-2222
39	高知県	マロウドインターナショナルホテル成田	成田市駒井野763-1	0476-30-2222
40	福岡県	バーディーホテル千葉	千葉市中央区新千葉1-6-5	043-248-5551
41	佐賀県	ホテルグリーンタワー幕張	千葉市美浜区ひび野2-10-3	043-296-1122
42	長崎県	アパホテル京成成田駅前	成田市花崎町906	0476-20-3111
43	熊本県	ホテルザ・マンハッタン	千葉市美浜区ひび野2-10-1	043-275-1111
44	大分県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555
45	宮崎県	成田エクセルホテル東急	成田市大山31	0476-33-0109
46	鹿児島県	成田エクセルホテル東急	成田市大山31	0476-33-0109
47	沖縄県	ファミーINN幕張	千葉市花見川区幕張本郷1-33-3	043-271-5555

会場地マップ


バスケットボール
ウエイトリフティング
山岳
ティーボール
ウォークラリー
テニス
ペタンク
なぎなた
レスリング
カヌー (SP)
ターゲットバードゴルフ
ソフトボール
柔道
ゴルフ
ソフトボール
グランドソフトボール
フットベースボール
バドミントン
ソフトバレーボール
綱引
ハンドボール
ボート
カヌー (SL・WW)
ウォーキング
グラウンド・ゴルフ
パークゴルフ
武術太極拳
ヘルスバレーボール
卓球
ヘルスバレーボール
サイクリング
高等学校野球(硬式)
トライアスロン
フェンシング
自転車(トラック)
インディアカ
競泳
飛込
シンクロナイズドスイミング
水球
水泳
ハンドボール
空手道
3B体操
ビリヤード
銃剣道
バスケットボール
アーチェリー
アーチェリー
バスケットボール
綱引バスケットボール
高等学校野球(軟式)
軟式野球
サッカー
ラグビーフットボール
クレー射撃
グラウンド・ゴルフ
キッズサッカー
サッカー
相撲
軟式野球
軟式野球
スカッシュ
剣道
軟式野球
野田市
柏市
流山市
我孫子市
白井市
松戸市
鎌ケ谷市
八千代市
印西市
栄町
神崎町
成田市
香取市
東庄町
多古町
旭市
銚子市
酒々井町
富里市
芝山町
匝瑳市
佐倉市
横芝光町
船橋市
四街道市
八街市
市川市
習志野市
千葉国体
開会式
閉会式
千葉マリンスタジアム
千葉県総合スポーツセンター
山武市
浦安市
東金市
千葉大会
開・閉会式
幕張メッセ
千葉市
九十九里町
大網白里町
長柄町
茂原市
白子町
長生村
袖ケ浦市
市原市
長南町
一宮町
睦沢町
木更津市
いすみ市
君津市
大多喜町
御宿町
富津市
勝浦市
鴨川市
鋸南町
南房総市
館山市
ボクシング
馬術
陸上競技
体操
新体操
セーリング
ライフル射撃 (CP除く)
ボウリング
アイスホッケー
少林寺拳法
ゲートボール
ダンススポーツ
スポーツチャンバラ
ユニバーサルホッケー
ウォーキング
陸上競技
卓球
フライングディスク
ボウリング
ボッチャ
ライフル射撃
車いすラグビー
車椅子レクダンス
バレーボール
バレーボール
バレーボール
ライフル射撃 (CP)
バレーボール
ウォークラリー
ソフトテニス
ホッケー
ホッケー
キンボール
パークゴルフ
バウンドテニス
オリエンテーリング
弓道
正式競技
公開競技
デモンストレーションとしてのスポーツ行事
全国障害者スポーツ大会正式競技
全国障害者スポーツ大会オープン競技

環境にやさしい大会の実現に向けて!

★★みなさまのご協力お願いいたします★★



本大会実行委員会では、環境にやさしい大会運営をめざしています。
環境にやさしい取り組みは、ちょっとした配慮から始まります。
全ての大会関係者が一体となり「環境にやさしい大会運営」を進めていきましょう。



ゴミのポイ捨て禁止

ゴミは持ち帰るか会場内に設置しているゴミ箱に捨てるようにしましょう。



ゴミの分別

会場内のゴミ箱は5分別となっています。
ゴミは分別してゴミ箱に捨てるようにしましょう。
～分別方法～
1. 可燃ゴミ　2. 不燃ゴミ　3. ペットボトル　4. ビン　5. 缶



自家用車の乗り合い

自家用車で来場される場合は、できるだけ乗り合いで来場されるようお願いいたします。



アイドリングストップ

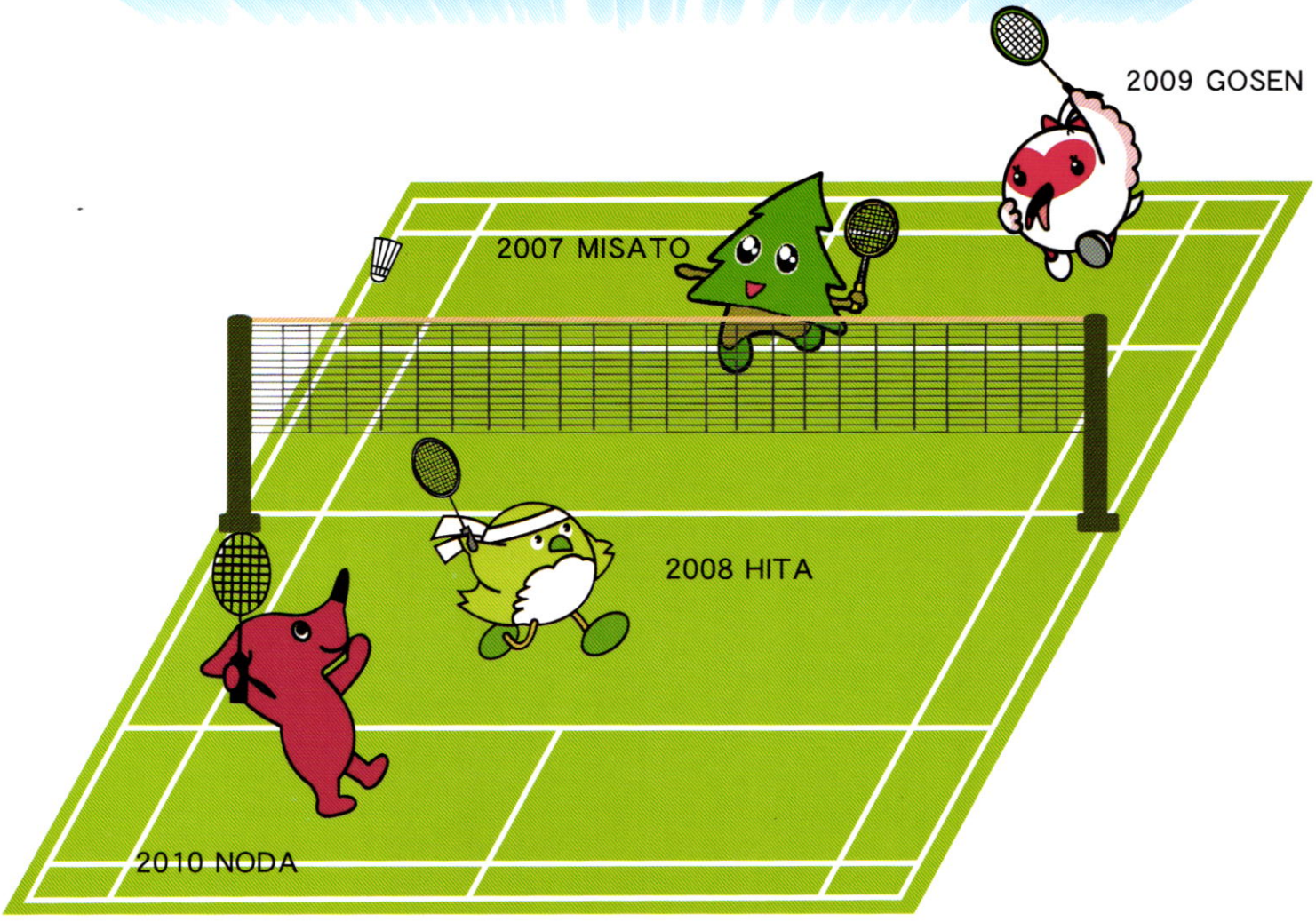
二酸化炭素の排出量削減と騒音防止のため、アイドリングストップにご協力ください。



指定の場所で喫煙を

競技会場（館内）は、全面禁煙となっています。
喫煙される方は、指定の喫煙所で喫煙くださいますようご協力お願いいたします。

The 65th National Sports Festival in Chiba



来年は**山口県光市**でお会いしましょう



おいでませ！山口国体

君の一生けんめいに会いたい



＜競技記録速報＞
全競技・全試合の結果を速報します。平成22年9月8日（水）～10月31日（日）
（インターネット）http://www.kirokukensaku.com/chiba2010/
（携帯サイト）http://www.keitai.kyogikekka.com/chiba2010/
携帯電話のバーコードリーダーで読み取ると携帯サイトに簡単にアクセスできます。
（未対応の機種があります。）

＜競技記録電話案内＞
県記録本部　総務・情報案内係
電話番号：【会期前実施競技】043－223－3510（競技開催日）
【本　大　会】043－290－5922（総合開会式から総合閉会式までの期間）
受付期間：【会期前実施競技】
水　泳　平成22年9月8日（水）・10日（金）～12日（日）・14日（火）～17日（金）
ゴルフ　平成22年9月22日（水）～23日（木）
【本　大　会】平成22年9月25日（土）～10月5日（火）
受付時間：9:00～20:00
（ただし、9月17日及び23日、10月5日は17:00まで）